

2 特別選考

特別選考の種類	特別選考の実施															
	特別選考の実施状況	特別免許状の活用	英語の資格による特別選考		スポーツ・芸術での技能や実績による特別選考		社会人特別選考（民間企業等経験による特別選考）		教職経験による特別選考		国際貢献活動経験による特別選考		いわゆる「教師養成塾」生を対象とした特別選考		その他	
			168ページ参照	特免	177ページ参照	特免	195ページ参照	特免	218ページ参照	特免	248ページ参照	特免	257ページ参照	特免	262ページ参照	
1 北海道	○	○			○		○	○								
2 青森県	○	○	○	○	○		○	○								
3 岩手県	○	○			○	○	○	○							特別選考 特定教科	*
4 宮城県	○								○							
5 秋田県	○	○			○	○	○	○								
6 山形県	○	○*			○*		○	○*	○						教職大学院修了見込者特別選考	
7 福島県	○								○							
8 茨城県	○	○*			○		○*	○*	○							
9 栃木県	○	○	○		○	○*	○	○	○						若手人材を対象とする一部試験を免除した選考 特別支援学級担当特別選考	
10 群馬県	○	○	○				○	○	○							
11 埼玉県	○	○	○		○		○	○	○		○		○		特別支援学級担当特別選考 大学推薦特別選考	
12 千葉県	○	○					○	○								
13 東京都	○				○								○			
14 神奈川県	○	○	○		○		○	○	○		○		○			
15 新潟県	○				○											
16 富山県	○		○		○		○		○		○				特別選考 特定資格	
17 石川県	○		○						○							
18 福井県	○				○										平成27年度大学院修士課程修了時特別選考	
19 山梨県	○		○		○				○							
20 長野県	○	○													発達障がい児童生徒特別支援のための選考 博士号取得者を対象とした選考 小学校・中学校大学推薦選考	○
21 岐阜県	○		○		○										多文化共生特別選考 理工系特別選考	
22 静岡県	○	○							○		○				ポルトガル語・スペイン語が堪能な者を対象とした選考 博士号を取得した者を対象とした選考	○
23 愛知県	○	○	○		○		○	○	○		○				外国語（ポルトガル語、スペイン語、中国語）堪能者選考 昨年度の補欠者に対する特別選考 大学院進学による採用辞退者に対する特別選考 介護理由退職者特別選考 大学推薦特別選考 教職大学院修了見込者特別選考 特別支援教育に関する特別選考	
24 三重県	○	○			○		○	○	○							
25 滋賀県	○*				○*											
26 京都府	○	○	○*	○*	○	○	○	○			○*		○		大学推薦特別選考	
27 大阪府	○	○	○				○	○	○		○		○		社会人経験者対象の選考 イ特別免許状の授与を前提とする者 理科教育推進の選考 大学等推薦者対象の選考 特別支援教育推進の選考	
28 兵庫県	○	○					○	○								
29 奈良県	○	○	○*				○	○	○							
30 和歌山県	○	○			○	○										

		特別選考の実施														
特別選考の種類	特別選考の実施状況	特別免許状の活用	英語の資格による特別選考		スポーツ・芸術での技能や実績による特別選考		社会人特別選考（民間企業等経験による特別選考）		教職経験による特別選考		国際貢献活動経験による特別選考		いわゆる「教師養成塾」生を対象とした特別選考		その他	
			168ページ参照		177ページ参照		195ページ参照		218ページ参照		248ページ参照		257ページ参照		262ページ参照	
			特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免		
31 鳥取県	○	○*			○		○*	○*	○							
32 島根県																
33 岡山県	○	○	○	○	○		○	○	○				○			特別選考C[講師経験者を対象とした特別選考] 特別選考G[「理数系教員養成拠点構築プログラム」修了者を対象とした特別選考]
34 広島県	○	○					○	○	○							グローバル人材を対象とした特別選考
35 山口県	○	○			○		○	○			○*					博士号取得者特別選考
36 徳島県	○	○			○		○	○	○							
37 香川県	○	○					○	○	○							
38 愛媛県	○				○				○							
39 高知県	○	○					○	○								
40 福岡県	○															教職大学院修了予定者特別選考
41 佐賀県	○		○*		○		○									
42 長崎県	○				○		○									
43 熊本県	○		*				○									高等学校教諭等(福祉)特別選考
44 大分県	○	○			○		○	○								
45 宮崎県	○	○*			○		○	○*								
46 鹿児島県	○				○											優秀教員特別選考
47 沖縄県																
48 札幌市	○	○			○		○	○								
49 仙台市	○								○							
50 さいたま市	○						○		○		○					臨任教員勤務実績特別選考 小学校音楽専科特別選考 特別支援教育特別選考 小学校大学推薦特別選考
51 千葉市	○	○					○	○								
52 横浜市	○				○		○		○		○		○			大学推薦特別選考
53 川崎市	○		○*				○		○		○					特別選考(有資格者)
54 相模原市	○		○		○		○		○		○					
55 新潟市	○		○*				○		○							前年度2次受検者特別選考
56 静岡市	○								○				○			
57 浜松市	○								○		○					バイリンガル選考 発達支援推進教員選考
58 名古屋市																
59 京都市	○	○			○	○					○					理工工志願者特別選考
60 大阪市	○						*				*					大学推薦特別選考特例 大学院進(在)学者対象選考
61 堺市	○						*		○		*					大学院進(在)学者対象の選考 大学等推薦者対象の選考
62 神戸市																
63 岡山市	○	○	○	○	○				○				○			特別選考C[講師経験者を対象とした特別選考] 特別選考G[「理数系教員養成拠点構築プログラム」修了者を対象とした特別選考]
64 広島市	○	○					○	○	○							グローバル人材を対象とした特別選考
65 北九州市	○								○							教職大学院修了者特別選考
66 福岡市	○				○		○		○		○					教職大学院修了者特別選考
67 熊本市																
68 豊能地区	○		*				○		○		*		○			大学院進(在)学者対象の選考 大学推薦者対象の選考
合計	63 (62)	34 (30)	19 (16)	4 (3)	36 (34)	6 (5)	40 (40)	29 (25)	36 (36)	0 (0)	15 (16)	0 (1)	10 (10)	0 (0)	31 (31)	5 (4)

(注) 1 *は前年度から変更のあった県市を表す。

2 ()は前年度の数値である。

(1)英語の資格による特別選考

(青森県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校 英語		特別免許状の活用		有				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	50	歳以下		
資格要件	一般選考の受験資格に加え、 ①出願時に民間企業等(私立学校教員や専門学校講師など教育に関連する事業等に従事する者を除く。)に、正職員として5年以上の勤務経験を有する者 ②出願時に実用英語技能検定試験1級、TOEIC860点以上、TOEFL PBT600点以上(CBT 250点以上、iBT100点以上)のいずれかの資格等を有する者 ③免許状を有しない場合は、上記①、②に加え、5年間以上英語に関連する業務又は英語を使用する業務の実務経験を有すること								
資格要件の確認方法	実用英語技能検定試験合格証明書、TOEICやTOEFLのスコアシートの写しを提出								
選考方法・試験内容	第一次試験:個人面接 第二次試験:面接(模擬授業・個人面接)、適性検査、小論文、実技試験								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)				1				1
	平成25年度採用者数(名)				0				0
	平成26年度受験者数(名)				2				2
	平成26年度採用者数(名)				0				0
平成27年度受験者数(名)				1				1	

(栃木県)

選考名称	英語の資格により一部試験を免除した選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校・高等学校の英語		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	44	歳以下		
資格要件	一般選考の受験資格を満たし、さらに、下記①～③のいずれかの資格を有する者。① TOEFL600点以上(CBT形式250点以上・iBT形式100点以上)取得者②TOEIC900点以上取得者③実用英語技能検定((財団)日本英語協会)1級合格者※①②については平成22年4月1日以降に資格を得た者(今年度実施試験の場合)								
資格要件の確認方法	証明する書類の写しを提出させ、書類選考を実施。								
選考方法・試験内容	対象となった者については、第1次試験の学力試験のうち英語の専門科目を免除し、一般教養と面接のみ行う。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			3	6				9
	平成25年度採用者数(名)			1	4				5
	平成26年度受験者数(名)			0	7				7
	平成26年度採用者数(名)			0	1				1
平成27年度受験者数(名)			0	7				7	

(群馬県)

選考名称	英語科教員特別選考試験		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校及び高等学校の英語受験者		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	39	歳以下	
資格要件	実用英語技能検定1級合格者、TOEFL、iBT100点以上取得者又はTOEIC900点以上取得者(ただし、TOEFL及びTOEICについては平成24年7月以降に取得している人)							
資格要件の確認方法	実用英語技能検定合格証の写し、TOEFL及びTOEIC得点証明書を提出							
選考方法・試験内容	「一般教養・教職に関する科目」のみ受験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		1	7				8
	平成25年度採用者数(名)		1	3				4
	平成26年度受験者数(名)		3	6				9
	平成26年度採用者数(名)		0	3				3
		4	3					7

(埼玉県)

選考名称	英語に関する特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学・高校 英語		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	実用英語技能検定((公財)日本英語検定協会)1級合格者、TOEFL(国際教育交換協議会)iBT100点以上取得者、TOEIC(国際ビジネスコミュニケーション協会)895点以上の取得者のいずれかに該当する者。							
資格要件の確認方法	資格の写し。							
選考方法・試験内容	第1次試験を免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			30				30
	平成25年度採用者数(名)			21				21
	平成26年度受験者数(名)			37				37
	平成26年度採用者数(名)			20				20
		11	32					43

(神奈川県)

選考名称	英語資格所有者	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	中学校・英語、高等学校・英語	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	受験する校種等・教科の教員普通免許状を所有している人又は平成27年3月31日までに取得見込みの人で、TOEIC(IPテストは除く)900点以上、TOEFL-iBT(インターネット版TOEFL)100点以上、実用英語技能検定(公益財団法人日本英語検定協会)1級のいずれか1つのスコアや級の取得者							
資格要件の確認方法	資格の原本提示							
選考方法・試験内容	第1次試験において、筆記試験のうち、教科専門試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		3	18				21
	平成25年度採用者数(名)		2	9				11
	平成26年度受験者数(名)		3	18				21
	平成26年度採用者数(名)		1	9				10
	平成27年度受験者数(名)		3	37				40

(富山県)

選考名称	特別選考 特定資格	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	受検種目・受検教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか、平成27年3月31日までに取得見込みであり、以下の受検種目ごとの資格のいずれかを出願時に有する者 全ての種目…臨床心理士、中高理科(全科目)・工業(薬業)…薬剤師、中高英語…TOEIC860点以上・TOEFL iBT100点以上またはPBT600点以上・実用英語技能検定1級、中高家庭…調理師、中高工業(建築)…1級建築士、中高情報…情報処理技術者試験合格者(詳細は実施要項参照)、中高福祉…介護福祉士・医師・看護師、特別支援学校…理学療法士、作業療法士、言語聴覚士							
資格要件の確認方法	出願時に要件を満たすことを証明する書類の写しを提出させている。							
選考方法・試験内容	1次検査…小論文、専門教科筆答検査、個人面接、集団面接 2次検査…教養、適性検査、個人面接、選択実技(小学校、特別支援(小)の受検者のみ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		7					7
	平成25年度採用者数(名)		2					2
	平成26年度受験者数(名)		10					10
	平成26年度採用者数(名)		6					6
	平成27年度受験者数(名)		8					8

(石川県)

選考名称	英語に係る資格を有する英語受験者を対象とした選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中高・英語		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	49	歳以下		
資格要件	一般選考の受験資格を全て満たす中学校教諭等及び高等学校教諭等の英語受験者のうち、平成24年4月1日以降に、次のいずれかを取得した者 ・実用英語技能検定 1級合格 ・TOEFL iBT 100点以上 ・TOEIC 900点以上								
資格要件の確認方法	出願時には自己申告書と資格証明書の写しを提出、試験初日には資格証明書の原本を提示								
選考方法・試験内容	一般選考の試験内容から、筆記試験における教科専門及び実技試験を免除								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			高に含む	2				2
	平成25年度採用者数(名)				2				2
	平成26年度受験者数(名)			高に含む	8				8
	平成26年度採用者数(名)				1	3			4
平成27年度受験者数(名)			高に含む	5				5	

(山梨県)

選考名称	英語に関して特別な資格のある人を対象とした特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校英語、高校英語		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	39	歳以下		
資格要件	TOEFL筆記テスト600点以上・インターネット方式(iBT)100点以上、TOEIC860点以上、実用英語技能検定1級合格者								
資格要件の確認方法	スコアや資格を証明する書類の写しを出願時に提出させる。また、第二次検査日には実物を提示させる。								
選考方法・試験内容	第一次検査において、英語の専門教養検査を免除する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			3	—				3
	平成25年度採用者数(名)			1	—				1
	平成26年度受験者数(名)			1	1				2
	平成26年度採用者数(名)				0	1			1
平成27年度受験者数(名)				1	0			1	

(岐阜県)

選考名称	英語特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	高等学校・英語	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限			基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)	若干名				満	59	歳以下
資格要件	高度の英語表現能力を有し、次に挙げるいずれかの検定試験で基準を満たす成績を収めた者 ①TOEIC:860点以上 ②TOEFL:600点以上(CBT:250点以上、iBT:100点以上) ③実用英語技能検定:1級							
資格要件の確認方法	出願時に成績を証明する書類の写しを提出							
選考方法・試験内容	第1次選考試験において、筆記試験をスピーチとディスカッションによる口頭試験に代える。他は一般受験者と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			11				11
	平成25年度採用者数(名)			3				3
	平成26年度受験者数(名)			13				13
	平成26年度採用者数(名)			3				3
	平成27年度受験者数(名)			8				8

(愛知県)

選考名称	英語有資格者特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	中学校、高等学校、特別支援学校・英語	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限			基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)					満	59	歳以下
資格要件	次のいずれかの要件を満たす人 ア TOEFL(国際教育交換協議会)において、PBT580点以上又はiBT92点以上(平成24年7月以降の得点に限る)を取得した人 イ TOEIC((財)国際ビジネスコミュニケーション協会)において、860点以上(平成24年7月以降の得点に限る)を取得した人 ウ 実用英語検定((財)日本英語検定協会)1級を平成24年7月以降に取得した人							
資格要件の確認方法	出願資格を満たすことを証明する書類として、主催団体が発行する公式認定書又は合格証明書(いずれも原本に限る)を出願時に提出する。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第2次試験の実技試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		16	35	0			51
	平成25年度採用者数(名)		6	6	0			12
	平成26年度受験者数(名)		19	34	1			54
	平成26年度採用者数(名)		1	16	0			17
	平成27年度受験者数(名)		13	35	0			48

(京都府)

選考名称	スペシャリスト特別選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	中学校・英語、高等学校・英語		特別免許状の活用		有			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	スペシャリスト特別選考で10名以内			満	49	歳以下	
資格要件	英語を母語とする方。日本国内において、英語教育関係の職の勤務経験が5年以上ある方。教員の職務を行う上で必要とされる日本語の能力を有する方。特別免許状の授与条件を満たす方。							
資格要件の確認方法	実績報告書に、勤務経験(勤務実績)について記入し、実績の詳細をまとめたもの等実績の確認できる書類を提出させて確認							
選考方法・試験内容	第1次試験:小論文、個人面接(筆記試験のうち一般教養と専門教科を免除) 第2次試験:個人面接、教育実践力テスト(実技試験を免除)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
			0	1				1

(大阪府)

選考名称	英語教育推進の選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	「中学校・中学部」及び「高校・高等部」の英語		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	下記のいずれかの資格の合格者またはテストのスコア取得者 ①実用英語技能検定(公益財団法人日本英語検定協会)1級 ②TOEFL iBT 80点以上 ③IELTS 6.5以上(アカデミックモジュールに限る) ④TOEIC 880点以上(公開テストに限る) ①については平成26年3月31日までに取得している者、②③④については、平成24年4月1日から平成26年3月31日までに受験し、上記スコアを取得したものに限る。							
資格要件の確認方法	①は「合格証書」「合格証明書」「Certification Card」のいずれか、②は「受験者用控えスコア票(Examinee Score Report)」、③は成績証明書(Test Report Form)、④は「公式認定証(Official Score Certificate)」の写しを出願時に添付。第2次選考テストの面接時に証明書類の原本を提示。							
選考方法・試験内容	第1次選考テスト:面接 第2次選考テスト:面接、実技							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		8	43				51
	平成25年度採用者数(名)		1	20				21
	平成26年度受験者数(名)		17	73				90
	平成26年度採用者数(名)		5	28				33
			11	49				60

(奈良県)

選考名称	小学校英語教育推進特別選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							満
資格要件	小学校教諭の普通免許状以外に英語の中学校又は高等学校教諭普通免許状所有(平成27年3月31日までの取得見込みを含む)、若しくは、実用英語技能検定(日本英語検定協会)2級合格以上、TOEFL(国際教育交換協議会)PBT500点以上若しくはCBT173点以上、iBT61点以上取得又は、TOEIC(国際ビジネスコミュニケーション協会)650点以上取得のうち、いずれかの資格を所有する人							
資格要件の確認方法	出願時の願書							
選考方法・試験内容	一般選考に準ずるが、第1次試験の一般教養試験に替えて、英語の教科専門(基礎)を実施している。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	21						21

(岡山県)

選考名称	特別選考A[英語の資格による特別選考]		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	①中学校・高等学校の「英語」 ②高等学校の「数学・理科」		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							満
資格要件	<p>①次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)実用英語技能検定((公財)日本英語検定協会)1級合格者、TOEFL(iBT)100点以上取得者又はTOEIC870点以上取得者(公開テストによるスコアのみを対象とする。)。ただし、TOEFLとTOEICについては平成24年7月5日以降に受験したものに限り。</p> <p>②次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。ただし、志望する校種・職種、教科等の教諭普通免許状を有しない者又は取得見込みでない者も出願することができる。 (イ)実用英語技能検定((公財)日本英語検定協会)準1級合格者、TOEFL(iBT)80点以上取得者又はTOEIC730点以上取得者(公開テストによるスコアのみを対象とする。)。ただし、TOEFLとTOEICについては平成24年7月5日以降に受験したものに限り。 (ウ)出願する教科(科目)の高等学校教諭普通免許状を有する者、又はそれと同等の知識・能力を有すると岡山県教育委員会教育長が認めた者。</p>							
資格要件の確認方法	出願時に、特別選考調書及び実施団体の発行する資格証明書(開封無効)又は資格を証明できる書類の写しを提出させる。ただし、写しの提出者は第1次試験の面接時に、原本を持参させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		4	18				22
	平成25年度採用者数(名)		0	2				2
	平成26年度受験者数(名)		2	18				20
	平成26年度採用者数(名)		1	5				6
	平成27年度受験者数(名)		7	14				21

(佐賀県)

選考名称	小学校英語特別選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	39	歳以下	
資格要件	「小学校教諭の普通免許状」及び「中学校教諭の英語の普通免許状又は高等学校教諭の英語の普通免許状」の所有者又は平成27年3月末までに取得見込みの者。							
資格要件の確認方法	「中学校教諭の英語の普通免許状又は高等学校教諭の英語の普通免許状」の写し又は大学等が発行する教育職員免許状取得見込証明書を受験申込時に提出する。							
選考方法・試験内容	第一次試験及び第二次試験ともに、まず小学校英語特別選考を行い、そこで合格できなかった者については、一般選考の小学校教諭等の選考対象となる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	13						13

(川崎市)

選考名称	特別選考Ⅳ(英語資格所有者 特別選考)		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	中学校・英語		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	TOEIC(IPテストは除く)730点以上、TOEFL-iBT(インターネット版TOEFL)80点以上、実用英語技能検定準1級以上のいずれか1つのスコアや級を取得し、必要とする証明書等を提出できる人							
資格要件の確認方法	第2次試験(実技試験)当日に、資格に関わる証明書等の原本を確認するとともに写しを提出。							
選考方法・試験内容	一次試験:小論文、一般教養・教職専門試験、集団討論 二次試験:一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		-					0
	平成25年度採用者数(名)		-					0
	平成26年度受験者数(名)		-					0
	平成26年度採用者数(名)		-					0
	平成27年度受験者数(名)		13					13

(相模原市)

選考名称	英語資格所有者	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	中学校・英語	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限			基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)					満	59	歳以下
資格要件	中学校・英語の教諭普通免許状を所有している人又は平成27年3月31日までに取得見込みの人で、TOEFL-iBT(インターネット版TOEFL)80点以上、TOIEC(IPテストは除く)730点以上、実用英語技能検定(公益財団法人日本英語検定協会)準1級以上のいずれか1つのスコアや級の取得者							
資格要件の確認方法	第2次試験合格後、資格に関わる証明書の写しを提出							
選考方法・試験内容	第1次試験のうち、教科専門試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		24					24
	平成25年度採用者数(名)		3					3
	平成26年度受験者数(名)		11					11
	平成26年度採用者数(名)		3					3
	平成27年度受験者数(名)		17					17

(新潟市)

選考名称	中学校教諭「英語」受検者特別選考	新規・継続	本年度新規					
対象となる校種・教科	中学校教諭 英語	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限			基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)					満	59	歳以下
資格要件	受検資格を満たしている人で、中学校教諭「英語」を受検し、以下のa～cのいずれかの条件を満たす人。 a 実用英語技能検定((財)日本英語検定協会)1級合格者、b TOEFLのiBT110点以上、c TOEIC945点以上							
資格要件の確認方法	a～cのいずれかを証明する書類の写しを出願時に提出。							
選考方法・試験内容	書類選考を行い、その結果により、筆記検査(I・II)を免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)		0					0

(岡山市)

選考名称	特別選考A[英語の資格による特別選考]		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	①中学校・高等学校の「英語」 ②高等学校の「数学・理科」		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	44	歳以下	
資格要件	<p>①次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)実用英語技能検定((公財)日本英語検定協会)1級合格者、TOEFL(iBT)100点以上取得者又はTOEIC870点以上取得者(公開テストによるスコアのみを対象とする。)。ただし、TOEFLとTOEICについては平成24年7月5日以降に受験したものに限る。</p> <p>②次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。ただし、志望する校種・職種、教科等の教諭普通免許状を有しない者又は取得見込みでない者も出願することができる。 (イ)実用英語技能検定((公財)日本英語検定協会)準1級合格者、TOEFL(iBT)80点以上取得者又はTOEIC730点以上取得者(公開テストによるスコアのみを対象とする。)。ただし、TOEFLとTOEICについては平成24年7月5日以降に受験したものに限る。 (ウ)出願する教科(科目)の高等学校教諭普通免許状を有する者、又はそれと同等の知識・能力を有すると岡山県教育委員会教育長が認めた者。</p>							
資格要件の確認方法	出願時に、特別選考調書及び実施団体の発行する資格証明書(開封無効)又は資格を証明できる書類の写しを提出させる。ただし、写しの提出者は第1次試験の面接時に、原本を持参させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)		0					0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)		0					0
	平成27年度受験者数(名)							0

(2) スポーツ・芸術での技能や実績による特別選考

(北海道)

選考名称	スポーツ・芸術特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	養護教諭及び栄養教諭を除く全校種・全教科		特別免許状の活用					無	
募集人員	若干名		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	39(高校、特高、自立活動のみ49)
資格要件	・スポーツの分野において、国際的規模の競技会に日本代表として出場した者又は日本選手権大会若しくはこれに準ずる全国的規模の大会において優秀な成績を収めた者 ・音楽、美術等の芸術の分野において、国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な実績を収めた者又は全国レベルのコンクール、展覧会等で極めて優秀な実績を収めた者 ・その他上記に準ずる程度の顕著な活動経験又は技能を有する者で、その経験等が児童生徒への教育効果の面で特に期待できるもの								
資格要件の確認方法	新聞記事や表彰状等の証明になる資料の写しを出願時に提出。なお、第1次検査を免除された者は、第2次検査時に当該資料の原本を確認								
選考方法・試験内容									
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			3					3
	平成25年度採用者数(名)			2					2
	平成26年度受験者数(名)			3	2	1			6
	平成26年度採用者数(名)					1	1		2
平成27年度受験者数(名)					2			2	

(青森県)

選考名称	スポーツ特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	全教科・校種		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	50
資格要件	一般選考の受験資格に加え、スポーツの分野において、平成21年4月1日以降、以下の実績を有する者 ①国際的又は全国的規模の大会で、特別に優秀な実績を有する者 ②上記①を指導育成した実績を有する者								
資格要件の確認方法	賞状や新聞記事の写し、団体競技の場合はメンバー表等の写しを提出								
選考方法・試験内容	(1)書類審査、(2)面接審査、(3)最終選考(第二次試験と同じ内容(ただし、小学校受験者は体育実技を、中高保健体育受験者は実技試験の全部を免除する。))								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		0	2	11	0	0		13
	平成25年度採用者数(名)		0	0	1	0	0		1
	平成26年度受験者数(名)		1	2	7	0	0		10
	平成26年度採用者数(名)		0	0	0	0	0		0
平成27年度受験者数(名)		0	1	8	0	0		9	

(岩手県)

選考名称	スポーツ特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校・高等学校		特別免許状の活用		有			
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	44	歳以下	
資格要件	国民体育大会正式競技において、国際大会又は全国大会で、優秀な成績を有する者							
資格要件の確認方法	実績を証明する表彰状や新聞記事等の写しを提出させ確認							
選考方法・試験内容	書類審査の結果、選考された者について、面接試験(口頭試問を含む)を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		14	19				33
	平成25年度採用者数(名)		2	0				2
	平成26年度受験者数(名)		13	26				39
	平成26年度採用者数(名)		0	2				2
	平成27年度受験者数(名)		10	21				31

(秋田県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校教諭等		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	高等学校卒業後に、国際レベルの大会(オリンピック、世界選手権等)に日本代表として出場した者							
資格要件の確認方法	志願書、最終学校の卒業(見込)証明書、在職証明書、実績証明書、所持資格の証明書の写し							
選考方法・試験内容	第一次選考試験:総合教養、小論文、面接 第二次選考試験:模擬授業、小論文、面接、適性検査							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			3				3
	平成25年度採用者数(名)			1				1
	平成26年度受験者数(名)			3				3
	平成26年度採用者数(名)			0				0
	平成27年度受験者数(名)			4				4

(山形県)

選考名称	スポーツ特別選考		新規・継続					本年度新規	
対象となる校種・教科	高等学校・保健体育		特別免許状の活用					無	
募集人員	若干名		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)							満	45
資格要件	一般選考の志願資格を有し、高等学校卒業後、次に掲げる競技種目において、国際大会に日本代表で出場した者又は全国レベルの大会で3位以上の成績を収めた者。ただし、団体競技等にあつては選手として登録された者に限る。(競技種目：陸上競技、体操、野球、ソフトテニス、卓球、バスケットボール、バレーボール、サッカー、ソフトボール、バドミントン、柔道、剣道、水泳、スキー、レスリング、ホッケー、フェンシング、ウエトリフティング、自転車、ホッケー、アーチェリー、カヌー、スケート)								
資格要件の確認方法	「スポーツ特別選考調書」(様式は県ホームページよりダウンロード)及び実績を証明できる書類の写し								
選考方法・試験内容	第一次選考試験は「小論文」及び「面接」。第二次選考試験は一般選考と同様に実施。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)								0
	平成25年度採用者数(名)								0
	平成26年度受験者数(名)								0
	平成26年度採用者数(名)								0
平成27年度受験者数(名)				18				18	

(茨城県)

選考名称	スポーツ指導者特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	一般選考で採用する中学校・高等学校の全教科・科目		特別免許状の活用					無	
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)	中学校は2種目について各1名程度、高等学校は3種目について各1名程度						満	44
資格要件	一般選考の受験資格を満たした者で、県教委が示した競技種目において、指導実績または競技実績のいずれかで示された要件を満たす者。いずれの場合も国際大会または国民体育大会での実績が必要。								
資格要件の確認方法	スポーツ実績一覧(様式あり)及び実績を証明できる書類の写しもしくは指導育成の履歴一覧及び指導者と指導した選手の要件に係る関係を明らかにする書類を提出する。								
選考方法・試験内容	第1次試験は一般選考と同様に行い、第2次試験は適性検査と特別選考面接を実施する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			1	10				11
	平成25年度採用者数(名)			1	6				7
	平成26年度受験者数(名)			5	9				14
	平成26年度採用者数(名)			3	6				9
平成27年度受験者数(名)			1	4				5	

(栃木県)

選考名称	スポーツの指導実績及び競技実績により一部試験を免除した選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	全校種、教科、科目		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	44	歳以下	
資格要件	ア 指導実績 全国的な規模以上の大会に出場した者を直接指導した実績を有する者。 イ 競技実績 全国的な規模以上の大会に出場した者。							
資格要件の確認方法	大会の成績調書及び大会要項、実績を証明できるものを提出させ、書類選考を実施。							
選考方法・試験内容	対象となった者については、1次試験の学力試験のうち一般教養試験を免除し、集団面接の代わりに個人面接を実施する。中学校及び高等学校の保健体育で出願する者は、一般教養試験と保健体育の専門科目、実技試験を免除し、集団面接の代わりに個人面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
平成27年度受験者数(名)	8	53	71	11	3		146	

(埼玉県)

選考名称	スポーツ実績特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校、高等学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	①スポーツの分野において全国レベルの大会等で優秀な成績を収めた者。 ②剣道四段以上又は柔道四段以上の者。(中学校のみ)							
資格要件の確認方法	実績・資格等調書、実績・資格等を証明する賞状、認定書等の写し。							
選考方法・試験内容	第1次試験は、筆答試験(一般教養・教職科目)に代えて面接試験。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		58					58
	平成25年度採用者数(名)		19					19
	平成26年度受験者数(名)		66					66
	平成26年度採用者数(名)		8					8
平成27年度受験者数(名)		51	30				81	

(東京都)

選考名称	スポーツ・文化・芸術特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	一般選考で募集している中高共通・教科(科目)		特別免許状の活用		無				
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)							満	39
資格要件	必要な免許状や年齢要件等は一般選考と同様。次のいずれかの実績を有する者が申込みをすることができる。①次に掲げる競技において、国際大会(オリンピック、世界選手権大会、アジア大会及びこれらに準ずる国際大会)又は全国大会(国民体育大会、全日本選手権大会、全国実業団選手権大会、全国大学選手権大会(インカレ)及びこれらに準ずる全国大会)で優秀な実績(国際大会においては日本代表として出場、全国大会においては原則として8位以内入賞)を有する者(ただし、大学以降の実績に限るとともに、団体競技にあつては正選手として登録され出場した者に限る。)又はこれらの者を指導育成した実績(経歴)を有する者(ただし、指導育成実績においては、上記大会に全国高等学校総合体育大会及び全国中学校体育大会を加える。)体操、新体操、なぎなた②芸術・文化の分野において国際レベルのコンクール・展覧会等に日本代表若しくはこれに準じる資格により出場した者、全国レベルのコンクール・展覧会等において入賞以上の成績を収めた者(ただし、大学以降の実績に限る。)又はこれらの者を指導育成した実績(経歴)を有する者③その他顕著な活動経験又は技能を有する者で、東京都教育委員会が特に認める者								
資格要件の確認方法	出願時に「正選手としての参加の有無」、「大会規模」、「参加者数」、「芸術分野の賞の相当する順位」など実績の証明できる新聞記事、表彰状等の写し若しくは指導育成の履歴書を申込時に提出する。								
選考方法・試験内容	個人面接及び論文								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)								14
	平成25年度採用者数(名)								4
	平成26年度受験者数(名)								10
	平成26年度採用者数(名)								6
平成27年度受験者数(名)								8	

(神奈川県)

選考名称	スポーツ・芸術実績者		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校・高等学校(音楽、美術、保健体育)対象		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)							満	59
資格要件	受験する校種等・教科の教員普通免許状を所有している人又は平成27年3月31日までに取得見込の人で、国際的又は全国規模の競技会、コンクール、展覧会等における、教科に関する高等学校以降の特別に優秀な実績(平成18年4月1日以降の実績に限る)があり、学校教育活動に活かせると神奈川県教育委員会が認める人								
資格要件の確認方法	賞状、新聞記事等の提示								
選考方法・試験内容	第1次試験において、筆記試験のうち、教科専門試験を免除								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			6	28				34
	平成25年度採用者数(名)			1	3				4
	平成26年度受験者数(名)			7	34				41
	平成26年度採用者数(名)			1	2				3
平成27年度受験者数(名)			6	26				32	

(新潟県)

選考名称	新潟県教員採用におけるスポーツ・芸能特別選考制度		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	小・中・高・特支・養教・栄教		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	教育職員免許状等の教員採用における資格を満たしており、次の各条件のいずれかを満たす者。 ア スポーツの分野において、オリンピック、又はそれに相当する世界大会レベルの競技会出場経験があり、優秀な成績をおさめた者。 イ 美術、音楽、演劇等の芸術の分野において、世界レベルのコンクール、展覧会等において優秀な成績をおさめた者。								
資格要件の確認方法	受検者本人の申し出による書類選考(表彰状、競技会の結果報告書、競技団体等の証明書等を含む)								
選考方法・試験内容	・書類選考により選ばれた者について面接を行い、審査を経て選考する。 ・出願の期間は設けず、随時募集する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		0	0	0	0	0	0	0
	平成25年度採用者数(名)		0	0	0	0	0	0	0
	平成26年度受験者数(名)		0	0	0	0	0	0	0
	平成26年度採用者数(名)		0	0	0	0	0	0	0
平成27年度受験者数(名)		0	0	0	0	0	0	0	

(富山県)

選考名称	特別選考 スポーツ実績		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	中高 保健体育		特別免許状の活用					無	
募集人員	若干名		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	受検種目・受検教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか、平成27年3月31日までに取得見込みであり、以下の①又は②に該当する者 ①国際規模の競技会(オリンピック大会、世界選手権、アジア大会等)に日本代表として出場した者 ②全国規模の競技会(国民体育大会、全日本選手権大会、全日本社会人選手権大会、全日本学生選手権大会、及びこれに準ずる大会)で4位以上の成績を収めた者 ただし、団体種目については正選手として登録された者に限る。								
資格要件の確認方法	特別選考「スポーツ実績」報告書と、特に優れた競技実績の賞状・記録証の写しまたは競技団体が発行する成績証明書等を提出させる。								
選考方法・試験内容	1次検査…小論文、専門教科筆答検査、個人面接、集団面接 2次検査…教養、適性検査、個人面接								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			21					21
	平成25年度採用者数(名)			4					4
	平成26年度受験者数(名)			24					24
	平成26年度採用者数(名)			4					4
平成27年度受験者数(名)			25					25	

(福井県)

選考名称	スポーツ特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	すべての校種・教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)	7							
資格要件	一般選考の受験資格を満たし、国民体育大会の正式競技および硬式野球において、次に掲げる実績を平成21年4月1日以降に収め、それ以後も引き続き活動が続けている者 ①国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会およびこれに準ずる大会)に日本代表として出場した者 ②全国レベルの大会(日本選手権大会およびこれに準ずる大会)において団体種目はベスト4以上、個人種目はベスト8以上の成績を収めた者(ただし、団体種目については正選手として出場した者に限る。また、教職員の全国大会や、全国大会の2部は除く。)								
資格要件の確認方法	大会の賞状の写し、競技団体が発行する成績証明書または日本代表として出場したことを証明する書類の提出								
選考方法・試験内容	専門試験(筆記・実技) 適性検査 小論文 個人面接および集団討論								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)								30
	平成25年度採用者数(名)								5
	平成26年度受験者数(名)		2	25					27
	平成26年度採用者数(名)		1	1	1	3			6
平成27年度受験者数(名)		1	28		1			30	

(山梨県)

選考名称	スポーツ実績による特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校保健体育、高等学校保健体育		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)								
資格要件	世界レベルのスポーツの競技会に日本代表として出場した者、または、全国的な規模の大会で特に優秀な成績を収めた者。								
資格要件の確認方法	実績を証明する書類(賞状等)の写しを出願時に提出させる。また、二次検査日には実物を提出させる。								
選考方法・試験内容	第一次検査において、保健体育の専門教養検査を免除する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			1	10				11
	平成25年度採用者数(名)			0	1				1
	平成26年度受験者数(名)			1	5				6
	平成26年度採用者数(名)			0	0				0
平成27年度受験者数(名)			0	5				5	

(岐阜県)

選考名称	スポーツ特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校・保健体育、高等学校・保健体育		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	若干名			満	59	歳以下	
資格要件	高等学校卒業後に、スポーツの分野で、国際レベルの大会に日本代表として出場した者、または全国レベルの大会でベスト4以上の成績を収めた者							
資格要件の確認方法	出願時に実績調書とその根拠資料を提出させ、それをもとに判定会議を実施。							
選考方法・試験内容	第1次選考試験において筆記試験を免除し、面接試験のみを行う。他は一般受験者と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		6	33				39
	平成25年度採用者数(名)		1	1				2
	平成26年度受験者数(名)		6	31				37
	平成26年度採用者数(名)		1	5				6
		10	20				30	

(愛知県)

選考名称	芸術(音楽・美術)スポーツ特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	芸術(音楽・美術)の分野又はスポーツの分野において次の要件を満たす人 ア 芸術分野 音楽又は美術の分野において次のいずれかに該当する人 (小・中学校における実績は除く。) (ア) 平成16年7月以降に国際レベルのコンクール、展覧会で優秀な成績を収めた人 (イ) 平成16年7月以降に全国レベルのコンクール、展覧会で最優秀相当の成績を収めた人 イ スポーツの分野 スポーツの分野において、次のいずれかに該当する人 (ア) 平成16年7月以降に国際規模の競技会等に日本代表選手として出場した人 国際規模の競技会等とは、オリンピック競技大会、ユニバーシアード競技大会、アジア競技大会及び原則としてオリンピック実施競技を統括する国際競技連盟が主催する世界選手権大会等 (イ) 平成16年7月以降に全国規模の競技会等において優勝した人 (小・中学校における実績は除く。) 全国規模の競技会等とは、国民体育大会及び(公財)日本体育協会又は(公財)日本オリンピック委員会の加盟団体が主催する全日本選手権大会等							
資格要件の確認方法	「芸術(音楽・美術)・スポーツ特別選考申告書」に実績を証明する書類(特別選考の出願資格を確認できる、賞状の写し、主催団体が発行する成績証明書、大会結果収録の写し等)を出願時に提出する。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験を免除する。第2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	14	20	23	8	0	0	65
	平成25年度採用者数(名)	4	6	3	3	0	0	16
	平成26年度受験者数(名)	9	14	31	7	1	0	62
	平成26年度採用者数(名)	2	1	5	4	0	0	12
		2	11	19	5	2	0	39

(三重県①)

選考名称	スポーツ特別選考[Ⅰ]		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校教諭「保健体育」		特別免許状の活用		無				
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)	資格要件の各競技につき1名			満	49	歳以下		
資格要件	一般選考の申込資格(年齢要件を除く)に加えて、相撲、フェンシング、自転車の3競技において、次のいずれかに該当する人 (1) オリンピックや世界選手権もしくはこれらに準ずる国際大会に、日本代表として出場した競技者またはその指導者 (2) 国民体育大会や全日本選手権大会もしくはこれらに準ずる全国大会に出場し、個人3位以上あるいは団体8位以上の成績を収めた競技者またはその指導者 ただし、競技者としての実績で申し込む場合は(1)、(2)とも高校卒業後のものに限る								
資格要件の確認方法	提出された「スポーツ特別選考実績報告書」、および申込資格に該当することを客観的に証明できる書類(競技団体が発行する証明書(開封無効)、賞状・記録証の写し等)をもとに審査する。								
選考方法・試験内容	一般選考に比べて (1) 第1次選考試験の筆答試験(専門)を免除、筆答試験(教養)に代えて小論文を実施。 (2) 第2次選考試験の技能・実技試験を免除。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)								0
	平成25年度採用者数(名)								0
	平成26年度受験者数(名)				3				3
	平成26年度採用者数(名)				3				3
平成27年度受験者数(名)				5				5	

(三重県②)

選考名称	スポーツ特別選考[Ⅱ]		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校または高等学校教諭「保健体育」		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)				満	39	歳以下		
資格要件	一般選考の申込資格(年齢要件を除く)に加えて、別表に掲げる競技において、次のいずれかに該当する人 (1) オリンピックや世界選手権もしくはこれらに準ずる国際大会に、日本代表として出場した競技者またはその指導者 (2) 国民体育大会や全日本選手権大会もしくはこれらに準ずる全国大会に出場し、個人3位以上あるいは団体8位以上の成績を収めた競技者またはその指導者 ただし、競技者としての実績で申し込む場合は(1)、(2)とも高校卒業後のものに限る								
資格要件の確認方法	提出された「スポーツ特別選考実績報告書」、および申込資格に該当することを客観的に証明できる書類(競技団体が発行する証明書(開封無効)、賞状・記録証の写し等)をもとに審査する。								
選考方法・試験内容	一般選考に比べて、第1次選考試験の筆答試験(専門)を免除。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			3	14				17
	平成25年度採用者数(名)			2	2				4
	平成26年度受験者数(名)			10	24				34
	平成26年度採用者数(名)			1	3				4
平成27年度受験者数(名)			12	18				30	

(滋賀県)

選考名称	スポーツ特別選考		新規・継続					本年度新規	
対象となる校種・教科	小・中・高・特支・養教・栄教		特別免許状の活用					無	
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)	10人程度							
資格要件	スポーツの分野において競技者または指導者として、次の①・②の要件のいずれかを満たす場合、提出された書類の審査の結果によりスポーツ特別選考を受験することができる。ただし、競技者として申し込む場合は、実績が高等学校卒業後のものに限る。①国際規模の競技会等に日本代表選手として出場した競技者またはその指導者 ②全国規模の競技会等において8位以上の成績を収めた競技者またはその指導者								
資格要件の確認方法	出願時に所定の「スポーツ特別選考実績報告書」および実績を証明する書類(賞状の写し、主催団体が発行する成績証明書、大会結果収録の写し等)を提出する。								
選考方法・試験内容	第一次選考試験における一般教養・教職教養、専門教科・科目の免除								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)								0
	平成25年度採用者数(名)								0
	平成26年度受験者数(名)								0
	平成26年度採用者数(名)								0
平成27年度受験者数(名)		0	5	22	1	0	0	28	

(京都府)

選考名称	スペシャリスト特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	高等学校・保健体育		特別免許状の活用					有	
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)	スペシャリスト特別選考で10名以内							
資格要件	保健体育の分野における高度な専門的知識・経験又は技能を有する方、選手として、国際的規模の競技会に日本代表として出場した方又は日本選手権大会若しくはこれに準ずる全国的規模の大会において優秀な成績を収めた方、特別免許状の授与条件を満たす方。								
資格要件の確認方法	志願書類として競技成績が確認できる書類(表彰状写し等)を提出させて確認								
選考方法・試験内容	第1次試験:小論文、個人面接(筆記試験のうち一般教養と専門教科を免除) 第2次試験:個人面接、教育実践力テスト(実技試験を免除)								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)				12				12
	平成25年度採用者数(名)				2				2
	平成26年度受験者数(名)				16				16
	平成26年度採用者数(名)				3				3
平成27年度受験者数(名)				9				9	

(和歌山県)

選考名称	芸術・スポーツ分野特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		有				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	芸術分野:音楽、美術、書道等の芸術分野で国際的又は全国規模のコンクール等において上位入賞するなど、優秀な実績を有する人又はその指導者であること。 スポーツ分野:国際大会に日本代表として出場した人又はその指導者であること。全国規模の大会で特に優秀な成績を収めた人又はその指導者であること。								
資格要件の確認方法	実績や成績を客観的に証明できる書類(写し)								
選考方法・試験内容	特選A(教員免許状を有しない人)・・・一次:校種・教科専門、作文、面接 二次:適性検査、論文、実技、面接 特選B(芸術及び保健体育以外の教員免許状を有する人)・・・一次:校種・教科専門、作文、面接 二次:適性検査、実技、面接 一次又は二次で論文 特選C(芸術及び保健体育の教員免許状を有する人)・・・一次:作文、面接 二次:適性検査、論文、実技、面接								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		0	11	32	3	0		46
	平成25年度採用者数(名)		0	7	7	1	0		15
	平成26年度受験者数(名)		0	13	25	0	0		38
	平成26年度採用者数(名)		0	6	6	0	0		12
平成27年度受験者数(名)		0	20	25	1	0		46	

(鳥取県)

選考名称	スポーツ・芸術の分野に秀でた者を対象とした選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校及び高等学校教諭、選考試験を実施する全ての教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	49	歳以下		
資格要件	受験資格を満たす者の内、高等学校卒業後にスポーツの分野で国際的な大会に日本代表として出場した者又は全国的な大会でベスト4以上に入賞した者並びに芸術の分野で国際的又は全国的なコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた者								
資格要件の確認方法	実績内容を客観的に示す書類								
選考方法・試験内容	選考方法:スポーツ・芸術の分野での実績に応じて加点 試験内容:他の受験者と同じ								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			23	0				23
	平成25年度採用者数(名)			4	0				4
	平成26年度受験者数(名)								21
	平成26年度採用者数(名)		1	0	0				1
平成27年度受験者数(名)								15	

(岡山県)

選考名称	特別選考B[スポーツの実績による特別選考]		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校・高等学校の「保健体育」		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	44	歳以下	
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)平成23年4月1日以降、国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会等)に日本代表として出場し、8位以上の成績を収めた者。							
資格要件の確認方法	出願時に、特別選考調書及び大会の賞状の写し又は競技団体が発行する成績証明書(開封無効)を提出させる。ただし、写しの提出者は第1次試験の面接時に、原本を持参させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		0	0				0
	平成25年度採用者数(名)		0	0				0
	平成26年度受験者数(名)		1	0				1
	平成26年度採用者数(名)		0	0				0
		0	2					2

(山口県)

選考名称	スポーツ・芸術特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校の保健体育、音楽、美術 高等学校の保健体育、芸術(音楽、美術、書道)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	44	歳以下	
資格要件	<input type="checkbox"/> 高等学校卒業以降、次の①～④のいずれかに該当する者で、かつ教員の職務を行うのに必要な素養と熱意を有するもの。ただし、成績及び実績は、平成21年4月1日以降のものに限る。 <input type="checkbox"/> スポーツ分野(※) ① オリンピックや世界選手権等の国際的な大会に日本代表として出場し、一定の期間その競技力を維持し、活躍が認められる者又はその者を指導育成した実績を有する者 ② 日本選手権等の全国的な大会のトップレベルの選手が参加する競技の、団体戦若しくは個人戦において、原則としてベスト4以上に入賞し、一定の期間その競技力を維持し、活躍が認められる者(ただし、団体戦の場合には、正選手であった者)又はその者を指導育成した実績を有する者 (※) スポーツ分野の対象種目 陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレイ射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、スケート、アイスホッケー、スキー、硬式野球、トライアスロン <input type="checkbox"/> 芸術分野 ③ 国際的なコンクール・展覧会等で優秀な成績を収めている者又はその者を指導育成した実績を有する者 ④ 全国的なコンクール・展覧会等で極めて優秀な成績を収めている者又はその者を指導育成した実績を有する者							
資格要件の確認方法	競技歴や入賞した大会・コンクール等の正式名称、主催者、開催年月日、開催場所、成績等(種目、階級、賞の種類)を記載したものを作成し提出。 また、実績が確認できる賞状や新聞記事、団体戦の場合にはメンバー表等の写しを提出。							
選考方法・試験内容	第一次試験:個人面接(口述試験)、集団面接(討議) 第二次試験:適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、個人面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		5	10				15
	平成25年度採用者数(名)		0	0				0
	平成26年度受験者数(名)		6	10				16
	平成26年度採用者数(名)		3	1				4
		6	8					14

(徳島県)

選考名称	スポーツ特別選考イ		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校・高等学校教諭(保健体育)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	39	歳以下	
資格要件	日本選手権大会またはこれに準ずる全国レベルの大会において、個人種目では8位以内に入賞、または団体種目4位以内に入賞(登録選手のみ)。							
資格要件の確認方法	出願書類として提出する実績等の概要及び現在の活動状況をまとめたものと大会要項、実績を証明できるものを確認する。							
選考方法・試験内容	第1次審査の筆記審査(専門)の受審を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		3	13				16
	平成25年度採用者数(名)		0	1				1
	平成26年度受験者数(名)		3	11				14
	平成26年度採用者数(名)		0	0				0
		平成27年度受験者数(名)	5	7				12

(愛媛県)

選考名称	愛顔(えがお)のえひめスポーツ振興特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	小・中・高・特支・養教・栄教		特別免許状の活用		無				
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)	5名程度			満	39	歳以下		
資格要件	国民体育大会の正式競技において、次の(ア)又は(イ)のいずれかに該当する者(現在も同一競技における競技活動を継続している者に限る。) (ア)平成21年4月1日以降に、国際競技大会(オリンピック競技大会、世界選手権大会、アジア競技大会及びそれらと同等の国際的な規模のスポーツの競技会をいう。)に日本代表として選ばれた者 (イ)平成23年4月1日以降に、全国大会(国民体育大会、全日本選手権大会、全日本実業団選手権大会、全日本学生選手権大会及びそれらと同等の全国的な規模のスポーツの競技会をいう。)でベスト4以上の成績を収めた者。ただし、高校卒業後の実績とし、団体種目においては、正選手として出場した者とする。								
資格要件の確認方法	出願時に証明する書類の写しを提出させるとともに、試験当日に現物を確認する。								
選考方法・試験内容	第1次選考試験の筆記試験の一部(一般教養及び教職専門科目)を免除する。								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成25年度受験者数(名)							0	
	平成25年度採用者数(名)							0	
	平成26年度受験者数(名)	1	1	7	0	0	0	9	
	平成26年度採用者数(名)	0	0	4	0	0	0	4	
		平成27年度受験者数(名)	2	4	9	0	0	0	15

＜スポーツ・芸術での技能や実績による特別選考＞

(佐賀県)

選考名称	スポーツ・芸術特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)							満	59
資格要件	スポーツ・芸術の分野において下記に次に示す「特に秀でた技能・実績」を有する者。 1 スポーツの分野において、世界レベルの競技会(国内大会を除く)で優秀な成績を収めた者 2 美術・音楽等の芸術の分野において、世界レベルのコンクール、展覧会等(国内コンクールを除く)で優秀な成績を収めた者								
資格要件の確認方法	大会等の新聞記事、賞状等、実績を証明するもの(実績調書)を提出させ、事務局で照合し確認を行う。								
選考方法・試験内容	一次選考…書類選考 二次選考…小論文、適性検査、面接								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		0	0	1	0	0	0	1
	平成25年度採用者数(名)		0	0	0	0	0	0	0
	平成26年度受験者数(名)		0	0	0	0	0	0	0
	平成27年度受験者数(名)		0	0	0	0	0	0	0

(長崎県)

選考名称	スポーツ指導者特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	高等学校教諭		特別免許状の活用					無	
募集人員	若干名		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)							満	44
資格要件	平成19年4月1日以降平成27年5月31日までにおいて、国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会等)に日本代表として出場した選手の指導者、又は日本選手権大会あるいはこれに準ずる大会において優秀な成績を収めた選手の指導者								
資格要件の確認方法	指導者と指導した選手の間係を明らかにする書類(大会要項の写し、賞状の写し、競技団体が発行する成績証明書等)の提出を求める。								
選考方法・試験内容	第1次試験の「教職・一般教養試験」を免除。ただし、保健体育受験者は、実技試験も免除。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)				3				3
	平成25年度採用者数(名)				1				1
	平成26年度受験者数(名)				1				1
	平成27年度受験者数(名)				2				2

(大分県)

選考名称	特別選考(Ⅲ)(スペシャリスト特別選考)		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校		特別免許状の活用		無				
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)	2名							
資格要件	一般選考に必要とされる要件に加え、次の(1)及び(2)の要件を全て満たす者に限る。 (1) 平成17年4月1日以降平成26年5月31日までにおいて、次のア又はイのいずれかに該当する者 ア 国際レベルの大会に日本代表として出場した団体又は個人を指導した実績を有する者 イ 全国規模の大会でベスト4以上の成績を取めた団体又は個人を指導した実績を有する者 (2) 全国高等学校体育連盟及び日本高等学校野球連盟に大分県が加盟している競技種目の指導者である者								
資格要件の確認方法	本県が示す別紙様式の記載に従い、所属団体等の代表者による、指導歴が示された証明書を提出する。受験資格の要件を満たしているか否かは、審査委員会で審査される。								
選考方法・試験内容	審査委員会で、資格要件を有すると判断されたものは、第1次試験及び第2次試験を免除し、第3次試験はプレゼンテーション及び面接試験を実施する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)				13				13
	平成25年度採用者数(名)				0				0
	平成26年度受験者数(名)				5				5
	平成26年度採用者数(名)				0				0
平成27年度受験者数(名)				2				2	

(宮崎県)

選考名称	スポーツ・芸術の分野に係る特別選考試験		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)								
資格要件	○スポーツ・芸術の分野において特に秀でた技能・実績を有する者 ・スポーツ(27年度採用はボート、ウエイトリフティング、ソフトボール)の分野において、大学等に在学中又は社会人として、全国レベルの大会以上の競技会で優秀な成績を取めた者 ・美術、音楽、演劇等の芸術の分野において、大学等に在学中又は社会人として、世界レベルのコンクール、全国レベルの展覧会等において優秀な成績を取めた者(指導者を含む)								
資格要件の確認方法	スポーツ・芸術特別選考の技能・実績調書、他参考資料								
選考方法・試験内容	論文及び面接。合格者は一般選考試験の一次試験合格者と共に二次試験を受験する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)				12				12
	平成25年度採用者数(名)				2				2
	平成26年度受験者数(名)				24				24
	平成26年度採用者数(名)				2				2
平成27年度受験者数(名)		1	5	8	3	1		18	

(鹿児島県)

選考名称	保健体育特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校保健体育, 高等学校保健体育		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	40	歳以下	
資格要件	国際レベルの大会(オリンピック大会, アジア大会等)に日本代表として出場した実績を有する者及びその指導者 日本選手権大会あるいはこれに準ずる大会において, 団体3位以内(メンバー), 個人3位以内の実績を有する者及びその指導者							
資格要件の確認方法	出願時に証明書の写しを提出(1次試験当日原本確認)							
選考方法・試験内容	出願時の証明書をもとに審査会で選考 1次試験における教職教養試験及び体育実技の免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		1	6				7
	平成25年度採用者数(名)		0	4				4
	平成26年度受験者数(名)		0	6				6
	平成26年度採用者数(名)		0	2				2
	平成27年度受験者数(名)		1	5				6

(札幌市)

選考名称	スポーツ・芸術特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科(ただし養護教諭を除く)		特別免許状の活用		無			
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	小・中・特 小・特中39 高・特高49	歳以下	
資格要件	①スポーツの分野において、国際的規模の競技会に日本代表として出場した者又は日本選手権大会若しくはこれに準ずる全国的規模の大会において優秀な成績を収めた者②音楽、美術等の芸術の分野において、国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な実績を収めた者又は全国レベルのコンクール、展覧会等で極めて優秀な実績を収めた者③その他上記に準ずる程度の顕著な活動経験又は技能を有する者で、その経験等が児童生徒への教育効果の面で特に期待できるもの							
資格要件の確認方法	「自己推薦書」に顕著な技能・実績等の概要及び現在の活動状況を記入し、新聞記事、表彰状等の証明になる資料の写しを出願時に提出する。特別選考対象者として決定された者は第2次検査の会場に当該資料の原本を持参する。							
選考方法・試験内容	①申請のあった志願者について出願書類により、対象者を決定し、1次検査を免除。 ②第2次検査は一般選考の受検者と同様に実施するが、技能・実績の内容に密接に関連する実技検査については免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)		0					0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)		0					0
	平成27年度受験者数(名)							0

(横浜市)

選考名称	特別選考④(スポーツ等特別選考)		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	<p>受験資格を満たし、次の実績を収めている人。</p> <p>(1)スポーツに関する実績 野球(硬式、軟式)、ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボール(6人制、9人制)、バドミントン、テニス(硬式、軟式)、卓球、陸上競技、水泳(競泳種目)、柔道、剣道、において、平成21年4月1日から平成26年3月31日までの間にオリンピック、パラリンピック、世界選手権大会、アジア競技大会、東アジア競技大会、ユニバーシアードで入賞の実績(8位以内)がある人。</p> <p>(2)音楽に関する実績 平成21年4月1日から平成26年3月31日までの間に全日本吹奏楽コンクール全国大会で金賞を受賞したことがある人。</p>								
資格要件の確認方法	実績の内容を客観的に示す書類の写し(認定証など)								
選考方法・試験内容	要件を満たす人は、特別選考④該当者として第一次試験で「教科専門試験」、「一般教養・教職専門試験」の代わりに「指導案に関する試験」を実施する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		7	53		3	1		64
	平成25年度採用者数(名)		2	10		0	0		12
	平成26年度受験者数(名)		0	4	0	0	0		4
	平成26年度採用者数(名)		0	0	0	0	0		0
平成27年度受験者数(名)		0	2		0	0		2	

(相模原市)

選考名称	スポーツ・芸術実績者		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校(音楽、美術、保健体育)		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	<p>受験する受験区分・教科の教諭普通免許状を所有している人、又は、平成27年3月31日までに取得見込みの人で、受験教科に関する分野(スポーツ分野においては対象種目の指定あり)における全国的規模の競技会、コンクール、展覧会等において、個人、又は団体成績1位(相当)の実績(高等学校以降の実績に限る)を収めた者(ただし、種目(部門)・大会(コンクール)規模・参加人数等によっては、資格要件に該当しない場合あり。)</p>								
資格要件の確認方法	第2次試験合格後、実績の内容を客観的に証明する書類の写し(例:表彰状・新聞・雑誌・選手団名簿等)を提出 団体競技等の場合には、本人が出場していると特定できる書類を提出								
選考方法・試験内容	第1次試験のうち、教科専門試験を免除								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			8					8
	平成25年度採用者数(名)			0					0
	平成26年度受験者数(名)			3					3
	平成26年度採用者数(名)			2					2
平成27年度受験者数(名)			1					1	

(京都市)

選考名称	保健体育志願者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校・保健体育, 高等学校・保健体育		特別免許状の活用		有			
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							
資格要件	一般選考の資格要件に以下の①及び②の受験資格を追加 ①保健体育の分野における高度の専門的な知識・経験又は技能を有する者 ②選手として、国際的規模の競技会に日本代表として出場した方又は日本選手権大会若しくはこれに準ずる全国的規模の大会において4位以内の成績を収めた者 ※①及び②に加え、特別免許状の授与条件を満たしている者は、普通免許状を所有しない者及び取得見込みのない者も受験可能。							
資格要件の確認方法	出願時に表彰状等の競技成績を証明する書類を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験：一般教職教養試験・専門筆記試験に替えて論文試験を実施 第2次試験：体育実技・集団面接に替えて個人面接を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	-	5	8	-	-	-	13
	平成25年度採用者数(名)	-	0	2	-	-	-	2
	平成26年度受験者数(名)	-	0	3	-	-	-	3
	平成26年度採用者数(名)	-	0	1	-	-	-	1
	平成27年度受験者数(名)	-	4	3	-	-	-	7

(岡山市)

選考名称	特別選考B[スポーツの実績による特別選考]		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校・高等学校の「保健体育」		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)平成23年4月1日以降、国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会等)に日本代表として出場し、8位以上の成績を収めた者。							
資格要件の確認方法	出願時に、特別選考調書及び大会の賞状の写し又は競技団体が発行する成績証明書(開封無効)を提出させる。ただし、写しの提出者は第1次試験の面接時に、原本を持参させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)		0					0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)		0					0
	平成27年度受験者数(名)							0

(福岡市)

選考名称	スポーツ・芸術特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校(中高枠に限る。), 特別支援学校中学部の音楽, 美術, 保健体育		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	40	歳以下		
資格要件	一般選考の受験資格を全て満たし, かつ次の①又は②のいずれかの要件を満たす人①スポーツ:スポーツの分野において国際的規模の競技会に日本代表として出場した人又は日本選手権大会, これに準ずる全国規模の競技会で特に優秀な成績を収めた人②芸術:音楽, 芸術等の分野において国際レベルのコンクール, 展覧会等で優秀な成績を収めた人又は全国レベルのコンクール, 展覧会等で特に優秀な成績を収めた人								
資格要件の確認方法	実績を客観的に証明できるものの提示(志願書提出時)								
選考方法・試験内容	選考方法:第1次試験前に書類選考を行う。第1次試験合格者の選考は一般選考と別枠で行う。 試験内容:第1次試験は一般教養と論文。第2次試験は一般選考と同じ。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		-	8	-	0	-	-	8
	平成25年度採用者数(名)		-	2	-	0	-	-	2
	平成26年度受験者数(名)		-	8	-	0	-	-	8
	平成26年度採用者数(名)		-	1	-	0	-	-	1
	平成27年度受験者数(名)		-	10	-	1	-	-	11

(3)社会人特別選考(民間企業等経験による特別選考)

(北海道)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	高等学校(工業、商業、英語、看護、水産)又は特別支援学校自立活動(視覚障害教育、肢体不自由教育)		特別免許状の活用					有	
募集人員	若干名		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)								
資格要件	上記対象となる教科の教育職員免許状を有していない者で、教科に関する専門的知識や技能(資格)を有し、実務経験のある者 ・高等学校の募集する教科又は自立活動に関する専門的知識や技能(資格)を有する者 ・社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者 ・教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者								
資格要件の確認方法	実務経験に係る職歴証明書及び証明機関の発行する資格(技術)証明書(開封無効)又は資格を(技能)を証明できる書類の写しを出願時に提出。(出願時に資格(技能)を証明できる書類の写しを提出した場合は、第1次検査時に原本を確認)								
選考方法・試験内容									
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)				1	1			2
	平成25年度採用者数(名)				1				1
	平成26年度受験者数(名)				2	1			3
	平成26年度採用者数(名)				2				2
						2			2

(青森県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	高等学校英語		特別免許状の活用					有	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)								
資格要件	一般選考の受験資格に加え、 ①出願時に民間企業等(私立学校教員や専門学校講師など教育に関連する事業等に従事する者を除く。)に、正職員として5年以上の勤務経験を有する者 ②出願時に以下の資格等を有する者 実用英語技能検定試験1級、TOEIC860点以上、TOEFL PBT600点以上(CBT250点以上、iBT100点以上)のいずれか ③免許状を有しない場合は、上記に加え、 5年間以上英語に関連する業務又は英語を使用する業務の実務経験を有すること								
資格要件の確認方法	実用英語技能検定試験合格証明書又はTOEICやTOEFLのスコアシートの写しを提出								
選考方法・試験内容	第一次試験:個人面接 第二次試験:面接(模擬授業・個人面接)、適性検査、小論文、実技試験								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)				3				3
	平成25年度採用者数(名)				1				1
	平成26年度受験者数(名)				2				2
	平成26年度採用者数(名)				0				0
					1				1

＜社会人特別選考(民間企業等経験による特別選考)＞

(岩手県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続			継続			
対象となる校種・教科	高等学校(数学、工業(機械)、水産・商船(機関))		特別免許状の活用			有			
募集人員	若干名		年齢制限			基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)								満
資格要件	数学、工業(機械)においては、博士の学位を有する者、又は民間企業等の従事者で平成26年4月1日現在、同一企業等で3年以上の勤務経験がある者で、いずれも数学、工業(機械)に関する高度な専門的知識や技能を有する者。水産・商船(機関)においては、3級海技士(航海又は機関)の資格を有し、平成26年4月1日現在、5年以上の資格に基づく実務経験がある者。								
資格要件の確認方法	高度な専門知識や技能を修得したことを証明できる書類を提出させ確認(論文、勤務先の所属長による推薦書、取得している資格等)。								
選考方法・試験内容	書類審査の結果、選考された者について、面接試験(口頭試問を含む)を実施。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)				1				1
	平成25年度採用者数(名)				0				0
	平成26年度受験者数(名)				2				2
	平成26年度採用者数(名)				0				0
	平成27年度受験者数(名)				3				3

(秋田県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続			継続			
対象となる校種・教科	高等学校教諭等		特別免許状の活用			有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限			基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)								満
資格要件	英語、韓国朝鮮語、ロシア語のいずれかについて専門的知識及び技能を有し、民間企業・公官庁等での該当言語を使用した実務経験が5年以上であり、かつ、英語の場合は次のいずれかの資格を有する者 ・実用英語検定1級 ・TOEIC900点以上 ・TOEFL(PBT)600点以上 ・TOEFL(iBT)100点以上								
資格要件の確認方法	志願書、最終学校の卒業(見込)証明書、在職証明書、実績証明書、所持資格の証明書の写し								
選考方法・試験内容									
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)				1				1
	平成25年度採用者数(名)				0				0
	平成26年度受験者数(名)				1				1
	平成26年度採用者数(名)				1				1
	平成27年度受験者数(名)				1				1

＜社会人特別選考(民間企業等経験による特別選考)＞

(山形県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続			継続		
対象となる校種・教科	中学校英語、特別支援学校中学部英語、高校英語・情報・電気・看護・建築		特別免許状の活用			無(看護のみ有)		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限			基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)					満	59	歳以下
資格要件	当該教科の免許状を有する者又は取得見込みの者で、志望する教科・科目と関連する実務経験(学校教育に直接携わる業務を除く)を5年以上継続して有する者又は有する見込みの者。							
資格要件の確認方法	当該教科の免許状の写し又は免許状取得見込み証明書及び履歴書の提出。							
選考方法・試験内容	第一次選考試験において、教職教養・一般教養の代わりに小論文を課す。それ以外は一般選考と同様。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			4				4
	平成25年度採用者数(名)			0				0
	平成26年度受験者数(名)		1	7				8
	平成26年度採用者数(名)		0	2				2
	平成27年度受験者数(名)	2	7					9

(茨城県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続			本年度新規		
対象となる校種・教科			特別免許状の活用			有		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限			選択してください。		
	(具体的に)					満	44	歳以下
資格要件	【高等学校理科(物理・化学・生物・地学)、高等学校農業、高等学校工業】①教育職員免許状を有していない方で、②正規職員としての民間企業や官公庁で継続して3年以上の勤務があり、③出願する教科に関する高度の専門的な知識又は技能(博士号、一級建築士等)を勤務経験等を通して身に付けた方で、④特別免許状の授与条件を満たす方【高等学校水産】①航海又は機関の3級海技士免許を保有し、②水産と関連する実務経験(海技士養成機関での常勤の教員としての勤務経験を一部含む)を3年以上有する方で、③特別免許状の授与条件を満たす方【高等学校看護】①看護師免許(保健師・助産師免許含む)を保有し、②看護と関連する実務経験(看護師養成機関での常勤の教員としての勤務経験を一部含む)を3年以上有する方で、③特別免許状の授与条件を満たす方							
資格要件の確認方法	勤務実績証明書(様式あり)、免許や資格の写しを提出する							
選考方法・試験内容	第1次試験のうち、専門教科試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)			13				13

(栃木県)

選考名称	特定の資格や経歴により一部試験を免除した選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	a 高等学校の福祉 b 高等学校の電気、機械 c 高等学校の家庭 d 高等学校の理療	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める (具体的に)	年齢制限	選択してください。 満 44 歳以下					
資格要件	ア 昭和45年4月2日以降に生まれた者。イ 地方公務員法16条及び学校教育法第9条の欠格事項に該当しない者。ウ a 高等学校の福祉 介護福祉士資格を有し、介護福祉士として5年以上の実務経験がある者、又は看護師等(医師・保健師・助産師及び看護師)の資格を有し、看護師等として5年以上の実務経験のある者(実務経験は平成27年3月31日までに公立学校以外の事業所に常勤として勤務した又は勤務する通算の年数とする。)。b 高等学校の電気、機械 大学を卒業している者又は平成27年度3月31日までに卒業見込みの者で、工業の教科についての高度な専門的知識・技能を有し、民間企業、官公庁(教育関連機関を除く)等に常勤として7年以上の実務経験がある者。c 高等学校の家庭 専門調理師資格を有する者は、または、調理師資格を有する者で調理師として10年以上実務経験のある者(実務経験は平成27年3月31日までに公立学校以外の事業所に常勤として勤務した又は勤務する通算の年数とする。)。d 特別支援学校の理療 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師の国家資格を有する者で、有資格者として3年以上の実務経験のある者。							
資格要件の確認方法	a 高等学校の福祉 介護福祉士又は看護師等の資格を証明する書類(コピー可)自己推薦書及び5年以上の実務経験を証明する書類(A4版様式自由)を提出させ、書類選考を実施。b 7年以上の実務経験を証明する書類(A4版様式自由)及び自己推薦書、教科についての高度な専門的知識・技能に関する資格等を証明する書類(コピー可)を提出させ、書類選考を実施。c 高等学校の家庭 1 専門調理師の資格取得を証明する書類(コピー可)及び自己推薦書。2 調理師の資格取得を証明する書類(コピー可)、自己推薦書、実務経験を証明する書類(A4版様式自由)を提出させ、書類選考を実施。d 特別支援学校の理療 資格を証明する書類(コピー可)、自己推薦書、実務経験を証明する書類(A4版様式自由)を提出させ、書類選考を実施。							
選考方法・試験内容	対象となった者には、第1次試験のうち一般教養試験を免除し、集団面接の代わりに個人面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			0				0
	平成25年度採用者数(名)			0				0
	平成26年度受験者数(名)			3				3
	平成26年度採用者数(名)			1				1
	平成27年度受験者数(名)			4				4

(群馬県)

選考名称	社会人特別選考試験	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小・中学校、高等学校、特別支援学校、養護教員	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める (具体的に)	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 49 歳以下					
資格要件	現に正規職員として勤務し、平成27年3月31日までに同一の民間企業又は官公庁等(ただし、いずれも教育に関する事業を除く。)を継続して5年以上勤務した経験があり、出願する教科等に関する高度な専門的知識若しくは技能又は勤務経験等を通して身に付けた優れた経営的能力を有する人							
資格要件の確認方法	出願時に資格証明書、論文が掲載された学術誌、表彰状の写しなどを添付した人は、第1次選考の当日にその原本を持参し、試験会場で係員が確認する。							
選考方法・試験内容	「一般教養・教職に関する科目」を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	2	2	15	1	2		22
	平成25年度採用者数(名)	0	0	0	1	0		1
	平成26年度受験者数(名)	2	3	15	1	1		22
	平成26年度採用者数(名)	0	0	0	0	0		0
	平成27年度受験者数(名)	0	1	13	0	2		16

(埼玉県)

選考名称	社会人特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	高校:看護、家庭、福祉 特別支援:自立活動	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 50 歳以下					
資格要件	<p>○看護 次のア、イ、ウの要件を全て満たす者。 ア 高等学校卒業以上の学歴を有する者。 イ 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者。 ウ 次の①又は②のいずれかを満たす者。 ①看護師の資格を有し、国公立又は民間病院等において、看護師(助産師、保健師を含む。)として、5年以上の実務経験を有する者。 ②国公立又は民間病院等において、看護師(助産師、保健師を含む。)として3年以上の実務経験と看護に関する教職としての経験を合算して5年以上の経験を有する者。 ※勤務期間については、志願する日までに常勤又は常勤に準ずる職員として勤務した期間をもって通算するものとする。 ※看護の高等学校教諭普通免許状を有しない場合には、合格後、特別免許状取得のための関係書類を提出する。</p> <p>○家庭 次のア、イ、ウの要件を全て満たす者。 ア 高等学校卒業以上の学歴を有する者。 イ 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者。 ウ 次の①又は②のいずれかを満たす者。 ①平成26年3月31日までに調理師法第8条の3第1項に規定する調理技術に関する審査に合格し同法第21条第1項の認定証書の交付を受けた者。 ②調理師であって、調理師として5年以上の実務経験を有する者。</p> <p>○福祉 次のア、イ、ウの要件を全て満たす者。 ア 高等学校卒業以上の学歴を有する者。 イ 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者。 ウ 介護福祉士の資格を有し、介護福祉士として5年以上の実務経験を有する者。</p> <p>○自立活動 次のア、イ、ウの要件を全て満たす者。 ア 高等学校卒業以上の学歴を有する者。 イ 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者。 ウ 国公立又は民間病院等において、看護師(助産師、保健師を含む。)として3年以上の実務経験を有する者。</p>							
資格要件の確認方法	資格証明書の写し及び実務に関する証明書							
選考方法・試験内容	第1次試験免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			4				4
	平成25年度採用者数(名)			2				2
	平成26年度受験者数(名)			6				6
	平成26年度採用者数(名)			2				2
	平成27年度受験者数(名)			4	7			11

(千葉県①)

選考名称	養護教諭特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	養護教諭		特別免許状の活用		無				
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	・教育職員免許法に規定する養護教諭普通免許状を有する者又は平成27年3月31日までに取得見込みの者 ・昭和30年4月2日以降に生まれた方 ・看護師免許を有しており、平成26年4月1日現在で、正規採用の看護師として3年以上の実務経験を有する者(現在、看護師として勤務していなくても可。)※ 保健師、助産師としての実務経験は含まない。								
資格要件の確認方法	実務経験証明で確認する。								
選考方法・試験内容	第1次選考において、教職教養、専門教科を免除し、小論文、集団面接のみを課す。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)						14		14
	平成25年度採用者数(名)						3		3
	平成26年度受験者数(名)						19		19
	平成26年度採用者数(名)						1		1
	平成27年度受験者数(名)						15		15

(千葉県②)

選考名称	看護科教諭特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校 看護科教諭		特別免許状の活用		有				
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	・昭和30年4月2日以降に生まれた方 ・平成26年4月1日現在で、次の①、②のどちらかに該当する者 ① 正規採用の看護師、保健師、助産師として3年以上の実務経験を有する者 ② 看護師養成機関の専任教員(実習助手を含む)として3年以上の実務経験を有する者 ※ ①、②とも現在、勤務していなくても可。 ・看護科教諭普通免許状を有していない場合は次の①、②のいずれかに該当する者 ① 平成27年3月31日までに教育職員免許法に規定する看護科教諭普通免許状を取得見込みの者 ② 第2次選考合格後、特別免許状の授与を受ける必要があるため、千葉県教育委員会に申請を行う意志がある者(これにかかる費用は、自己負担。) ・教育職員免許法に規定する養護教諭普通免許状を有する者又は平成27年3月31日までに取得見込みの者								
資格要件の確認方法	実務経験証明で確認する。								
選考方法・試験内容	第1次選考において、教職教養、専門教科を免除し、小論文、集団面接のみを課す。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)				4				4
	平成25年度採用者数(名)				0				0
	平成26年度受験者数(名)				2				2
	平成26年度採用者数(名)				1				1
	平成27年度受験者数(名)				5				5

＜社会人特別選考(民間企業等経験による特別選考)＞

(神奈川県①)

選考名称	社会人経験者 ア		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種等・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	受験する校種等・教科の教員普通免許状を所有している人又は平成27年3月31日までに取得見込の人で、法人格を有する民間企業、官公庁(原則として神奈川県教育委員会を除く)等で常勤社員・職員(教員を除く)として平成19年4月1日から平成26年3月31日までの7年間に通算5年以上の勤務経験							
資格要件の確認方法	職歴を申告する書類の提出。内定者は、職歴証明書の提出。							
選考方法・試験内容	第1次試験において、一般教養・教職専門試験を免除し、個人面接を課す。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	40	46	104	15	7		212
	平成25年度採用者数(名)	11	5	14	2	1		33
	平成26年度受験者数(名)	34	38	101	9	4		186
	平成26年度採用者数(名)	7	4	14	2	1		28
	平成27年度受験者数(名)	22	28	96	12	6		164

(神奈川県②)

選考名称	社会人経験者 ウ		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校・水産		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	教員普通免許状を所有していない社会人経験者。3級海技士(航海又は機関)の資格を有し、平成26年3月31日現在、資格に基づく実務経験が3年以上あり、教育職員免許法第5条第3項による特別免許状の申請が可能な人							
資格要件の確認方法	職歴を申告する書類。内定後、職歴証明書の提出。							
選考方法・試験内容	第1次試験において、一般教養・教職専門試験を免除し、個人面接を課す。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			0				0
	平成25年度採用者数(名)			0				0
	平成26年度受験者数(名)			1				1
	平成26年度採用者数(名)			0				0
	平成27年度受験者数(名)			0				0

＜社会人特別選考(民間企業等経験による特別選考)＞

(富山県)

選考名称	特別選考 社会人経験	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	受検種目・受検教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか、平成27年3月31日までに取得見込みであり、法人格を有する同一の民間企業、官公庁等において正社員または正規職員として、平成16年4月1日から平成26年3月31日までの間に継続して5年以上の勤務を有する者。							
資格要件の確認方法	第2次検査の結果通知後、任用候補者名簿に登録された者のみに在職・勤務証明書を提出させる。							
選考方法・試験内容	1次検査…小論文、専門教科筆答検査、個人面接、集団面接 2次検査…教養、適性検査、個人面接、選択実技(小学校、特別支援(小)の受検者のみ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	5	37			1		43
	平成25年度採用者数(名)	1	4					5
	平成26年度受験者数(名)	4	29		1	1		35
	平成26年度採用者数(名)	2	1					3
	平成27年度受験者数(名)	5	25		1	4		35

＜社会人特別選考(民間企業等経験による特別選考)＞

(愛知県)

選考名称	社会人特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校教諭及び中学校教諭の受験区分 高等学校教諭の数学、理科、工業、教員経験者の 工業(デザイン)、看護、福祉、水産(情報通 信)	特別免許状の活用	有 ※資格要件アのみ無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	<p>ア「小学校教諭」及び「中学校教諭」の受験区分 (ア)昭和49年4月2日以降に生まれた人で、出願時において民間企業、官公庁等の常勤の職(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。)にあり、平成26年4月1日現在において、常勤の職として同一の企業で連続して5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 ※常勤の職として1日以上勤務している月は1か月として算定することができる。 (イ)昭和49年4月2日以降に生まれた人で、青年海外協力隊として、平成21年4月1日から平成26年3月31日までの5年間に、2年以上の派遣実績を有する人</p> <p>イ「高等学校教諭」の受験区分 次の(ア)から(オ)に示す教科について、それぞれの要件を満たすことが必要である。なお、常勤の職として1日以上勤務している月は、1か月として算定することができる。 (ア)「高等学校教諭・数学」、「高等学校教諭・理科」、及び「高等学校教諭・工業」 次の要件を満たすことが必要である。 出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の職(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。)にあり、平成26年4月1日現在において、常勤の職として連続して5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 (イ)「高等学校教諭・看護」(看護師・看護教員経験者) 次の要件をすべて満たすことが必要である。 a 高等学校卒業以上の学歴があり、かつ、看護師免許を所有する人 b 次の①又は②の勤務実績を有する人 ①出願時において、国公立又は民間病院等の医療機関の常勤の看護師(助産師、保健師を含む。)又は看護師養成機関(専攻科を設置する高等学校を含む。)の教員(看護科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤の職にある者を含む。)であり、平成26年4月1日現在において、国公立又は民間病院等の医療機関において常勤の看護師(助産師、保健師を含む。)として通算3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 ②出願時において、国公立又は民間病院等の医療機関の常勤の看護師(助産師、保健師を含む。)又は看護師養成機関(専攻科を設置する高等学校を含む。)の教員(看護科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤の職にある者を含む。)であり、平成26年4月1日現在において、国公立又は民間病院等の医療機関の常勤の看護師(助産師、保健師を含む。)として通算1年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有し、かつ、看護師としての勤務実績と看護師養成機関(専攻科を設置する高等学校を含む。)の常勤の教員(看護科での勤務実績を有する実習助手を含む。)としての勤務実績を通算して3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)有する人 (ウ)「高等学校教諭・福祉」(介護福祉士・福祉教員経験者) 次の要件をすべて満たすことが必要である。 a 高等学校卒業以上の学歴があり、かつ、介護福祉士の資格を有する人 b 出願時において、社会福祉施設の常勤の介護福祉士又は介護福祉士養成機関(福祉科を設置する高等学校を含む。)の教員(福祉科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤の職にある者を含む。)であり、平成26年4月1日現在において、常勤の介護福祉士として通算3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 (エ)「高等学校教諭・水産(情報通信)」(総合無線通信士等資格所有) 次の要件をすべて満たすことが必要である。 a 高等学校卒業以上の学歴がある人 b 出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の総合無線通信士又は陸上無線技術士、あるいは総合無線通信士又は陸上無線技術士養成機関(水産科を設置する高等学校を含む。)の教員(講師及び実習助手を含む。)であり、平成26年4月1日現在において、民間企業、官公庁等の常勤の総合無線通信士又は陸上無線技術士、あるいは総合無線通信士又は陸上無線技術士養成機関(水産科を設置する高等学校を含む。)の常勤の職員(講師及び実習助手を含む。)として通算して3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 c 総合無線通信士2級以上、又は陸上無線技術士2級以上の資格を所有していること (オ)「高等学校教諭・工業(デザイン)」(教員経験者対象) 次の要件をすべて満たすことが必要である。 a 高等学校教諭美術又は高等学校教諭工芸の普通免許状を所有する人 b 出願時において、学校の教員(実習助手及び非常勤の職にある者を含む。)であり、平成26年4月1日現在において、通算して3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人</p>							
資格要件の確認方法	「社会人特別選考申告書」に証明書類を添付する。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験は論文試験と口述試験を行う。第2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	26	27	25				78
	平成25年度採用者数(名)	1	0	7				8
	平成26年度受験者数(名)	19	20	20				59
	平成26年度採用者数(名)	1	3	5				9
	平成27年度受験者数(名)	12	11	12				35

(三重県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	〔Ⅰ〕教育職員免許状を有しない人は、高等学校教諭「福祉」 〔Ⅱ〕申し込む校種・教科等に応じた教育職員免許状を有する人は、全校種・教科		特別免許状の活用					有	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	〔Ⅰ〕教育職員免許状を有しない人(高等学校教諭「福祉」)については、次の(1)～(6) 〔Ⅱ〕申し込む校種・教科等に応じた教育職員免許状を有する人については、次の(1)～(4) (1)学校教育法第9条及び地方公務員法第16条に定める欠格条項に該当しない人 (2)昭和30年4月2日以降に生まれた人 (3)民間企業・官公庁等(国公立私立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校において教育に従事する場合を除く)に継続して5年以上正規の職員等として従事した人 (4)社会的信望があり、かつ教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている人 (5)勤務経験により、「福祉」に関する専門的な知識経験または技能を有する人 (6)介護福祉士の資格を現に有する人								
資格要件の確認方法	提出された「在職証明書」、「履歴書」をもとに審査する。								
選考方法・試験内容	一般選考の「筆答試験(教養)」に代えて「小論文」を実施する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		8	13	25	4	2	0	52
	平成25年度採用者数(名)		4	3	4	0	0	0	11
	平成26年度受験者数(名)		10	7	18	5	0	0	40
	平成26年度採用者数(名)		1	2	0	1	0	0	4
平成27年度受験者数(名)		8	12	20	2	3	3	48	

(京都府)

選考名称	スペシャリスト特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	高等学校・理科、工業、情報		特別免許状の活用					有	
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)	スペシャリスト特別選考で10名以内						満	49
資格要件	民間企業、大学又は研究機関等における勤務経験が通算して5年以上ある方(国・公・私立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校における勤務経験を除く。)で、その勤務経験により、受験科目の分野における高度な専門的知識・経験又は技能を有する方。特別免許状の授与条件を満たす方								
資格要件の確認方法	名簿登載された場合に在職証明書等を提出させて確認								
選考方法・試験内容	第1次試験:小論文、個人面接(筆記試験のうち一般教養と専門教科を免除) 第2次試験:個人面接、教育実践力テスト(実技試験を免除)								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)				16				16
	平成25年度採用者数(名)				3				3
	平成26年度受験者数(名)				1				1
	平成26年度採用者数(名)				0				0
平成27年度受験者数(名)				11				11	

(大阪府①)

選考名称	社会人経験者対象の選考 ア教諭普通免許状を所有する者		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	すべての校種・教科		特別免許状の活用				無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)						満	50	歳以下
資格要件	・法人格を有する民間企業又は官公庁等での正社員又は正規職員としての勤務経験が平成26年3月31日までに通算5年以上あること。勤務経験には独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊員等としての活動経験を含めることができる。								
資格要件の確認方法	出願時は願書により確認。合格後は在職証明書等の提出により確認。								
選考方法・試験内容	第1次選考テスト:面接 第2次選考テスト:面接、筆答、実技								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		63	52	70	4	13	0	202
	平成25年度採用者数(名)		18	6	11	9	1	0	45
	平成26年度受験者数(名)		133	100	129	13	28	8	411
	平成26年度採用者数(名)		29	19	27	2	3	3	83
	平成27年度受験者数(名)		117	95	145	4	24	14	399

(大阪府②)

選考名称	社会人経験者対象の選考 イ特別免許状の授与を前提とする者		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	「高校・高等部」の工業実習		特別免許状の活用				有		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と異なる		
	(具体的に)						満	59	歳以下
資格要件	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年3月31日までに職業能力開発促進法で定める技能士(1級又は2級機械加工技能士)の資格を取得していること。 ・高等学校教諭の「工業」又は「工業実習」の普通免許状を所有していないこと。 ・高等学校を卒業した人。 ・法人格を有する民間企業又は官公庁等での正社員又は正規職員としての勤務経験が平成26年3月31日までに通算5年以上あること。 								
資格要件の確認方法	出願時に証明書類を確認。								
選考方法・試験内容	第1次選考テスト:面接 第2次選考テスト:面接、筆答、実技								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)				0				0
	平成25年度採用者数(名)				0				0
	平成26年度受験者数(名)				0				0
	平成26年度採用者数(名)				0				0
	平成27年度受験者数(名)				0				0

＜社会人特別選考(民間企業等経験による特別選考)＞

(兵庫県①)

選考名称	特別免許状授与を前提とした社会人特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	高等学校・看護	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 45 歳以下					
資格要件	教育職員免許状を有しない社会人で、平成27年3月31日現在、休職、育児休業の期間を除き、国公立及び民間病院等において正規職員の看護師として5年以上の勤務経験を有する者(看護学校等の教官経験を含む)							
資格要件の確認方法	職歴証明書(任意様式。所属長又は任命権者の証明印が必要)							
選考方法・試験内容	一般の受験者と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			5				5
	平成25年度採用者数(名)			2				2
	平成26年度受験者数(名)			3				3
	平成26年度採用者数(名)			1				1
	平成27年度受験者数(名)			0				0

(兵庫県②)

選考名称	特別免許状授与を前提とした社会人特別選考	新規・継続	本年度新規					
対象となる校種・教科	高等学校・工業(デザイン)	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 45 歳以下					
資格要件	教育職員免許状を有しない社会人で、平成27年3月31日現在、次のいずれかの資格を有し、平成27年3月31日現在、民間企業等のプロダクトデザイン部門に正規職員として5年以上の勤務経験の両方を満たす者 ①CGエンジニア検定エキスパート(旧2級)、②マルチメディア検定エキスパート(旧2級)、③CAD利用技術者試験1級							
資格要件の確認方法	職歴証明書(任意様式。所属長又は任命権者の証明印が必要)							
選考方法・試験内容	一般の受験者と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)							0

＜社会人特別選考(民間企業等経験による特別選考)＞

(奈良県)

選考名称	社会人を対象とした特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校 数学、理科(物理、化学、生物)、農業、工業(機械、電気、建築)、商業、特支		特別免許状の活用		有				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)				満	44	歳以下		
資格要件	①大学を卒業、又は大学院を修了している者 ②学校教育法第9条及び地方公務員法第16条のいずれにも該当しない者 ③数学、理科(物理、化学、生物)を受験する者は、昭和50年4月2日以降に生まれた者で、研究施設、民間企業(教育事業を除く)、官公庁(公立学校を除く)に、現に正規職員として3年以上の勤務経験を有する者。 ④農業、工業(機械、電気、建築)、商業を受験する者は、昭和45年4月2日以降に生まれた者で、受験する教科(科目)に関わる3年以上の実務経験を有する者。 ⑤特支を受験する者は、看護師の免許を取得後、3年以上の実務経験を有する者。 ⑥受験する校種、教科(科目)の教諭普通免許状の有無は問いません。								
資格要件の確認方法	合格後に、在職・勤務証明書等の提出させ、確認する。								
選考方法・試験内容	一般選考に準ずるが、第1次試験の一般教養試験に替えて、個人面接を実施している。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)				15				15
	平成25年度採用者数(名)				3				3
	平成26年度受験者数(名)				17				17
	平成26年度採用者数(名)				3				3
	平成27年度受験者数(名)				12	2			14

(鳥取県)

選考名称	普通免許状を有しない社会人実務経験者を対象とした選考		新規・継続		本年度新規				
対象となる校種・教科	高等学校教諭・農業、工業(電気・電子)、商業		特別免許状の活用		有				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	49	歳以下		
資格要件	欠格条項に該当しないこと及び年齢制限を満たした上、志願する試験区分、教科の普通免許状を有していないが、学士、修士、又は博士の学位を授与された者で、志願する教科(科目等)について高度な専門的知識・技能を有し、民間企業、官公庁等に正職員として5年以上の実務経験を有する者								
資格要件の確認方法	職歴を証明する書類								
選考方法・試験内容	他の受験者と同じ								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)								0
	平成25年度採用者数(名)								0
	平成26年度受験者数(名)								0
	平成26年度採用者数(名)								0
	平成27年度受験者数(名)					2			2

＜社会人特別選考(民間企業等経験による特別選考)＞

(岡山県)

選考名称	特別選考D[社会人を対象とした特別選考]	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	①高等学校の「工業(専門分野は限定しない)」 ②高等学校の「看護」	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 44 歳以下					
資格要件	<p>次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。ただし、志望する校種・職種、教科等の教諭普通免許状を有しない者又は取得見込みでない者も出願することができる。 (イ)次のいずれかの要件を満たす者。 ①民間企業、官公庁(教職以外)において、出願時に申し出る教科(科目)と関連する3年以上の職務経験を有し、かつ申し出る教科(科目)に関する高度な専門的知識・技能を有する者。※「職務経験」の期間とは、正規職員として就業した期間が該当し、複数の職務経験がある場合には、通算することができる。 ②看護師免許証を有し、かつ看護師、保健師又は助産師(いずれも正規職員)として出願時に3年以上の実務経験を有する者。</p>							
資格要件の確認方法	<p>①出願時に、特別選考調書を提出させるとともに、申し出る教科(科目)に関する高度な専門的知識・技能を有していることを証明できるもの(証明機関の発行する資格(技能)証明書(開封無効)又は資格(技能)を証明できる書類の写し)があれば提出させる。ただし、写しの提出者は第1次試験の面接時に、原本を持参させる。 ②出願時に、特別選考調書及び看護師免許証の写しを提出させる。ただし、第1次試験の面接時に、原本を持参させる。</p>							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			15				15
	平成25年度採用者数(名)			2				2
	平成26年度受験者数(名)			14				14
	平成26年度採用者数(名)			5				5
				18				18

(広島県)

選考名称	社会人を対象とした特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	高等学校の工業、看護	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 44 歳以下					
資格要件	<p>地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条及び学校教育法(昭和22年法律第26号)第9条の欠格条項に該当しない者であり、且つ、昭和45年4月2日以降に生まれた者であって、次の要件を満たす者。 工業の受験については、民間企業又は官公庁において、正規職員として受験前過去6年間(平成20年度から平成25年度まで)で通算3年以上の工業に関する実務経験を有し、専門的な知識経験又は技能を有する者であること。 看護の受験については、看護師免許証を有し、国公立又は民間病院等において、正規職員の看護師(助産師、保健師、看護学校等の教官経験を含む。)として通算5年以上の実務経験を有し、専門的な知識経験又は技能を有する者であること。 採用候補者として登載された場合、該当教科の教育職員免許状(普通免許状)を有しない者は、広島県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。</p>							
資格要件の確認方法	出願時の受験願により確認する。なお、第2次試験の結果通知後に、職歴を証明する書類(発令された履歴事項が全て記載されたもので、任命権者(雇用主)の証明印が必要)を提出させ確認する。							
選考方法・試験内容	第1次試験:個人面接,グループワーク 第2次試験:個人面接,模擬授業,実技試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			40				40
	平成25年度採用者数(名)			10				10
	平成26年度受験者数(名)			16				16
	平成26年度採用者数(名)			2				2
				10				10

(山口県①)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	小学校並びに中学校及び高等学校の試験を実施する教科(科目等)		特別免許状の活用					有	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	44
資格要件	○ 次に該当する者で、かつ教員の職務を行うのに必要な素養と熱意を有するもの 現に(出願時点で)民間企業等に5年以上継続勤務する者で、その勤務経験により、出願する校種・教科(科目等)に関する高度の専門的な知識又は技能を有すると認められるもの								
資格要件の確認方法	志願書類等								
選考方法・試験内容	第一次試験:教科専門、実技(小学校を除く)、集団面接(討議) 第二次試験:適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、個人面接、実技(小学校のみ)								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		3	3	8				14
	平成25年度採用者数(名)		0	0	1				1
	平成26年度受験者数(名)		1	5	4				10
	平成26年度採用者数(名)		1	0	0				1
			0	4	4				8

(山口県②)

選考名称	看護科・理療科教諭特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	高等学校看護、特別支援学校高等部理療		特別免許状の活用					有	
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)	高等学校看護 1人程度 特別支援学校高等部理療 1人程度						満	49
資格要件	次の①又は②に該当する者 ①高等学校の看護又は特別支援学校自立教科教諭の理療の普通免許状を有する者 ②当該普通免許状の取得又は取得見込みはないが、次に示す実務経験等を有し、その実務経験により出願する教科に関する専門的な知識経験又は技術を有すると認められ、社会的信望があり、かつ教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者 ・高等学校看護については、看護師免許証を有し、出願時点で、看護師、保健師又は助産師として通算5年以上の実務経験を有する者 ・特別支援学校高等部理療については、あん摩マッサージ指圧師免許証、はり師免許証及びきゆう師免許証をすべて有し、出願時点で、あん摩マッサージ指圧師、はり師又はきゆう師として通算5年以上の実務経験を有する者								
資格要件の確認方法	志願書類等								
選考方法・試験内容	第一次試験:個人面接(口述試験)、集団面接(討議) 第二次試験:適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、個人面接								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)					5			5
	平成25年度採用者数(名)					2			2
	平成26年度受験者数(名)					3			3
	平成26年度採用者数(名)					1			1
					2	3			5

＜社会人特別選考(民間企業等経験による特別選考)＞

(徳島県)

選考名称	社会人を対象とした特別選考		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	すべての校種、教科		特別免許状の活用				有		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と異なる		
	(具体的に)						満	49	歳以下
資格要件	民間企業等で平成26年3月末現在、通算して5年以上勤務し、その勤務経験により、出願する教科等に関する専門的な知識又は技能を有する者。また、高等学校教諭の農業、工業、商業又は看護に出願を希望する者のうち、特別免許状の取得条件を満たす者。								
資格要件の確認方法	勤務先の所属長等による推薦書、取得している資格、勤務に関連して執筆し学術雑誌等に掲載した論文など。								
選考方法・試験内容	第1次審査の筆記審査(教養)免除、他は一般選考と同じ。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		6	6	13	2	1		28
	平成25年度採用者数(名)		2	0	1	0	0		3
	平成26年度受験者数(名)		1	8	11	3	1		24
	平成26年度採用者数(名)		1	1	1	0	1		4
			1	7	8	4	0		20

(香川県)

選考名称	特別選考Ⅰ①		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭及び栄養教諭		特別免許状の活用				有		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と異なる		
	(具体的に)						満	49	歳以下
資格要件	小学校の教諭志願者を除く志願者のうち民間企業等において通算3年以上の勤務経験(教育に関する職務を除く。)を有する者で、その勤務経験により、出願する教科・科目等に関する高度の専門的な知識又は技能を有すると認められ、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者(なお、勤務経験には、独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊等としての活動経験を含めることができる。)								
資格要件の確認方法	第2次選考試験の際に、出願教科・科目に関連する勤務先の所属長等による推薦書を提出させる。								
選考方法・試験内容	総合教養試験を免除する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		0	5	13	1	0	0	19
	平成25年度採用者数(名)		0	1	1	0	0	0	2
	平成26年度受験者数(名)		0	5	13	1	0	0	19
	平成26年度採用者数(名)		0	0	2	0	0	0	2
			0	15	15	2	2	1	35

＜社会人特別選考(民間企業等経験による特別選考)＞

(高知県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	高等学校教諭「工業(電気・電子)」、「工業(機械)」、「工業(造船)」、「水産(機関)」、「看護」		特別免許状の活用				有		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と異なる		
	(具体的に)						満	49	歳以下
資格要件	工業・水産：出願する教科・科目と関連する職務経験が通算10年以上あり、その専門知識・技能を有する人。 看護：看護師又は保健師のいずれかの免許を有し、病院等における職務経験が通算5年以上ある人								
資格要件の確認方法	職務経験を証明する書類								
選考方法・試験内容	第1次審査筆記審査のうち、教職・一般教養を免除。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)								0
	平成25年度採用者数(名)								0
	平成26年度受験者数(名)		0	0	4	0	0	0	4
	平成26年度採用者数(名)		0	0	2	0	0	0	2
	平成27年度受験者数(名)		0	0	2	0	0	0	2

(佐賀県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	中学校…理科、英語、保健体育、技術、家庭 高等学校…理科(物理・化学・生物)、英語、保健体育、家庭、農業(農業)、工業(機械・電気・建築・セラミック)、商業		特別免許状の活用				無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と異なる		
	(具体的に)						満	59	歳以下
資格要件	選考試験科目教科(科目)について、特に秀でた知識・技能を有する者で、官公庁、法人格を有する民間企業(教職以外)において、一つの職場で正社員又は正規職員として5年以上の勤務経験があり(平成26年3月31日現在)、かつ教員としての職務を行うのに必要な資質と熱意を有する者。								
資格要件の確認方法	取得資格や実績を証明するものを提出させ、事務局で照合し確認を行う								
選考方法・試験内容	第一次試験における一般・教職教養試験を免除する。第一次試験における他の試験や実技等及び第二次試験については、原則一般選考と同様に行う。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		0	1	6	0	0	0	7
	平成25年度採用者数(名)		0	1	0	0	0	0	1
	平成26年度受験者数(名)		0	0	7	0	0	0	7
	平成26年度採用者数(名)		0	0	1	0	0	0	1
	平成27年度受験者数(名)		0	1	3	0	0	0	4

＜社会人特別選考(民間企業等経験による特別選考)＞

(長崎県)

選考名称	社会人特別採用選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	募集する全校種・全教科		特別免許状の活用					無	
募集人員	若干名		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)							満	44
資格要件	民間企業等(公立及び私立の小・中・高・特別支援学校を除く)において、平成19年4月1日以降平成26年5月31日までに通算5年以上の勤務を有する者。又は、青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア等として、平成21年4月1日以降平成26年5月31日までに通算2年以上の国際貢献活動の経験を有する者。								
資格要件の確認方法	社会人特別採用選考申請書の提出。第2次試験の合格者には、職歴確認のため在職証明書の提出を求める。								
選考方法・試験内容	第1次試験の「教職・一般教養試験」を免除する以外は、一般選考と同じ。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		9	12	18	4	6		49
	平成25年度採用者数(名)		1	0	3	0	0		4
	平成26年度受験者数(名)		7	9	18	7	5		46
	平成26年度採用者数(名)		1	0	1	0	0		2
平成27年度受験者数(名)		6	8	10	6	6		36	

(熊本県)

選考名称	高等学校教諭等(福祉)特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	高等学校・福祉		特別免許状の活用					無	
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)	2名程度						満	39
資格要件	高等学校教諭等(福祉)の普通免許状を現に所有している者又は平成27年3月31日までに取得見込であり、医師・保健師・助産師又は看護師の資格を取得した後、平成26年5月1日現在で5年以上の実務経験を有する者又は平成27年3月31日までに5年以上の実務経験を有する見込の者。								
資格要件の確認方法	本人記述の志願書(資格記載欄及び履歴)で確認								
選考方法・試験内容	論述、個人面接								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)				0				0
	平成25年度採用者数(名)				0				0
	平成26年度受験者数(名)				0				0
	平成26年度採用者数(名)				0				0
平成27年度受験者数(名)				0				0	

＜社会人特別選考(民間企業等経験による特別選考)＞

(大分県)

選考名称	特別選考(Ⅱ)(社会人特別選考)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校・中学校		特別免許状の活用		有			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	2名			満	40	歳以下	
資格要件	<p>一般選考に必要とされる要件に加え、次の(1)から(3)の要件を全て満たす者に限る。</p> <p>(1) 次のア又はイのいずれかに該当する者 ア 志望種に応ずる教諭普通免許状を現に有している者又は平成27年3月31日までに取得見込みの者 イ (1)のアに該当しない者で、次の①及び②に該当するもの(中学校教諭志望者に限る。) ① 志望する教科に関する専門的な知識経験又は技能を有する者 ② 社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者</p> <p>(2) 昭和49年4月2日以降に生まれた者 (3) 民間企業・官公庁等において常勤の職(国公立学校・学習塾・予備校等の教育職を除く。)として平成26年6月1日現在5年以上継続して勤務している者</p>							
資格要件の確認方法	上記(3)については、最終合格者に勤務先が発行する在職証明書の提出を求める。							
選考方法・試験内容	第1次試験の教養試験及び専門試験に代えて、小論文を実施する。(他は一般選考と同様)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	4	4					8
	平成25年度採用者数(名)	0	0					0
	平成26年度受験者数(名)	4	4					8
	平成26年度採用者数(名)	1	0					1
	平成27年度受験者数(名)	2	3					5

(宮崎県)

選考名称	社会人を対象とした特別選考試験		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校教諭等、特別支援学校教諭等		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>・民間企業(私立学校・学習塾・予備校等を除く)・官公庁等(公立学校を除く)に正規職員として継続して5年以上勤務経験を有する者で、その勤務経験により「高等学校教諭等」の「工業」、「商業」、又は「特別支援学校教諭等(知的他)」に関する知識や技能が優れていると認められ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者</p> <p>・「高等学校教諭等」の「福祉」(教員免許状の所有を前提としない特別選考)…看護師等の資格を有し、看護師等として5年以上の実務経験のある者。採用候補者として登録された場合、本県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。</p>							
資格要件の確認方法	特別選考申請書(証明する書類を添付)							
選考方法・試験内容	論文及び面接。合格者は一般選考試験の一次合格者と共に二次選考試験を受験する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			1	3			4
	平成25年度採用者数(名)			0	0			0
	平成26年度受験者数(名)			5	2			7
	平成26年度採用者数(名)			1	0			1
	平成27年度受験者数(名)			4	2			6

＜社会人特別選考(民間企業等経験による特別選考)＞

(札幌市)

選考名称	特別免許状の取得を前提とした社会人特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	高等学校(工業、商業、英語、看護、水産) 特別支援学校自立活動(視覚障害教育、肢体不自由教育)	特別免許状の活用	有					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 49 歳以下					
資格要件	次のすべての条件に該当する者①昭和39年4月2日以降に生まれた者②高等学校の募集する教科又は自立活動に関する専門的知識や技能(資格)を有する者③社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者④教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者							
資格要件の確認方法	申請のあった志願者について、証明機関の発行する資格(技能)証明書及び実務経験に係る職歴証明書等により確認							
選考方法・試験内容	①申請のあった志願者について証明機関の発行する資格(技能)証明書及び実務経験に係る職歴証明書等により受験資格を確認し、1次検査を免除。 ②第2次検査は一般選考の受検者と同様に実施するが、技能・実績の内容に密接に関連する実技検査については免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)							0

(さいたま市)

選考名称	社会人特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小・中・養護・栄養	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 58 歳以下					
資格要件	民間企業又は官公庁等での正社員又は正規職員として、通算3年以上の勤務経験(休職期間等、勤務の実態がない期間を除く)を有する者							
資格要件の確認方法	勤務証明書による確認							
選考方法・試験内容	第1次試験の筆答試験に替えて論文試験を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	25	21			10		56
	平成25年度採用者数(名)	1	1			0		2
	平成26年度受験者数(名)	25	19			7	2	53
	平成26年度採用者数(名)	2	0			1	1	4
	平成27年度受験者数(名)	20	29			3	1	53

(千葉市①)

選考名称	養護教諭特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	養護教諭		特別免許状の活用					無	
募集人員	若干名		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)							満	59
資格要件	<ul style="list-style-type: none"> ・教育職員免許法に規定する養護教諭普通免許状を有する者又は平成27年3月31日までに取得見込みの者 ・昭和30年4月2日以降に生まれた方 ・看護師免許を有しており、平成26年4月1日現在で、正規採用の看護師として3年以上の実務経験を有する者(現在、看護師として勤務していなくても可。)※保健師、助産師としての実務経験は含まない。 								
資格要件の確認方法	実務経験証明で確認する。								
選考方法・試験内容	第1次選考において、教職教養、専門教科を免除し、小論文、集団面接のみを課す。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)								0
	平成25年度採用者数(名)								0
	平成26年度受験者数(名)								0
	平成26年度採用者数(名)								0
	平成27年度受験者数(名)								0

(千葉市②)

選考名称	看護科教諭特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	高等学校 看護科教諭		特別免許状の活用					有	
募集人員	若干名		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)							満	59
資格要件	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和30年4月2日以降に生まれた方 ・平成26年4月1日現在で、次の①、②のどちらかに該当する者 <ul style="list-style-type: none"> ① 正規採用の看護師、保健師、助産師として3年以上の実務経験を有する者 ② 看護師養成機関の専任教員(実習助手を含む)として3年以上の実務経験を有する者 ※ ①、②とも現在、勤務していなくても可。 ・看護科教諭普通免許状を有していない場合は次の①、②のいずれかに該当する者 <ul style="list-style-type: none"> ① 平成27年3月31日までに教育職員免許法に規定する看護科教諭普通免許状を取得見込みの者 ② 第2次選考合格後、特別免許状の授与を受ける必要があるため、千葉県教育委員会に申請を行う意志がある者(これにかかる費用は、自己負担。) ・教育職員免許法に規定する養護教諭普通免許状を有する者又は平成27年3月31日までに取得見込みの者 								
資格要件の確認方法	実務経験証明で確認する。								
選考方法・試験内容	第1次選考において、教職教養、専門教科を免除し、小論文、集団面接のみを課す。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)				4				4
	平成25年度採用者数(名)				0				0
	平成26年度受験者数(名)				2				2
	平成26年度採用者数(名)				0				0
	平成27年度受験者数(名)				5				5

＜社会人特別選考(民間企業等経験による特別選考)＞

(横浜市)

選考名称	特別選考②(社会人・国際貢献活動経験者特別選考)	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	受験資格を満たし、同一の民間企業等※1における継続勤務歴が、平成21年4月1日から平成26年3月31日までの間に3年以上(受験区分が中学校・高等学校の数学及び理科の場合は2年以上)ある人。							
資格要件の確認方法	職歴証明書または在職証明書の提出							
選考方法・試験内容	要件を満たす人は、特別選考②該当者として第一次試験で「教科専門試験」、「一般教養・教職専門試験」の代わりに「指導案に関する試験」を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	64	122		9	7		202
	平成25年度採用者数(名)	9	12		0	0		21
	平成26年度受験者数(名)	75	126	1	5	12		219
	平成26年度採用者数(名)	13	12	0	0	2		27
	平成27年度受験者数(名)	50	85		5	8		148

(川崎市)

選考名称	特別選考Ⅲ(社会人・青年海外協力隊員等経験者・資格取得者 特別選考)	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校・中学校・特別支援学校・養護教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	民間企業又は官公庁等において常勤の職(国公立学校の教員経験を除く)として、平成21年4月1日から平成26年3月31日までの間に通算3年以上勤務した経験(休職期間等勤務の実態がない期間を除く)を有し、必要とする職歴証明を提出できる人。							
資格要件の確認方法	任命権者等の証明を受けた職歴証明書を第2次試験合格後に提出。							
選考方法・試験内容	一次試験:小論文、教科専門試験、集団討論 二次試験:一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	31	40	4	5	8		88
	平成25年度採用者数(名)	3	1	0	1	0		5
	平成26年度受験者数(名)	24	21		2	9		56
	平成26年度採用者数(名)	0	0		0	1		1
	平成27年度受験者数(名)	17	30		6	6		59

＜社会人特別選考(民間企業等経験による特別選考)＞

(相模原市)

選考名称	社会人経験者(ア)		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	全校種等・教科		特別免許状の活用				無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)						満	59	歳以下
資格要件	受験する受験区分・教科等の教諭普通免許状を所有している人、又は、平成27年3月31日までに取得見込みの人で、民間企業、官公庁等(国公立学校は除く)で常勤社員・職員として平成19年4月1日から平成26年3月31日までの7年間に、通算5年以上、又は1つの民間企業、官公庁で継続して3年以上の勤務経験(育児休業、退職、停職等の期間を除く)を有する者(ただし、申込締切日時点で相模原市教育委員会(市立学校は含まれない。)に勤務しているものを除く。)								
資格要件の確認方法	第2次試験合格後、職歴証明書を提出								
選考方法・試験内容	第1次試験において一般教養・教職専門試験を免除								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		18	13			1		32
	平成25年度採用者数(名)		3	1			0		4
	平成26年度受験者数(名)		18	19			3		40
	平成26年度採用者数(名)		2	4			0		6
	平成27年度受験者数(名)		13	27			4		44

(新潟市)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	小学校教諭, 中学校教諭, 特別支援学校教諭, 養護教諭		特別免許状の活用				無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)						満	59	歳以下
資格要件	受検資格を満たしている人で、民間企業、官公庁、大学又は研究機関等の正規職員として、1か所5年以上の勤務経験があり、教員の職務を行うのに必要な受検区分に関する専門的な知識・技能や経験を有する人。								
資格要件の確認方法	職歴証明書								
選考方法・試験内容	書類選考を行い、その結果により、筆記検査(I・II)を免除。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		1	3			1		5
	平成25年度採用者数(名)		0	1			0		1
	平成26年度受験者数(名)		2	1		0	1		4
	平成26年度採用者数(名)		0	0		0	1		1
	平成27年度受験者数(名)		1	2		0	1		4

(広島市)

選考名称	社会人を対象とした特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校の工業, 看護		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	44	歳以下	
資格要件	<p>地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条及び学校教育法(昭和22年法律第26号)第9条の欠格条項に該当しない者であり、且つ、昭和45年4月2日以降に生まれた者であって、次の要件を満たす者。</p> <p>工業の受験については、民間企業又は官公庁において、正規職員として受験前過去6年間(平成20年度から平成25年度まで)で通算3年以上の工業に関する実務経験を有し、専門的な知識経験又は技能を有する者であること。</p> <p>看護の受験については、看護師免許証を有し、国公立又は民間病院等において、正規職員の看護師(助産師、保健師、看護学校等の教官経験を含む。)として通算5年以上の実務経験を有し、専門的な知識経験又は技能を有する者であること。</p> <p>採用候補者として登載された場合、該当教科の教育職員免許状(普通免許状)を有しない者は、広島県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。</p>							
資格要件の確認方法	出願時の受験願により確認する。なお、第2次試験の結果通知後に、職歴を証明する書類(発令された履歴事項が全て記載されたもので、任命権者(雇用主)の証明印が必要)を提出させ確認する。							
選考方法・試験内容	第1次試験: 個人面接, グループワーク 第2次試験: 個人面接, 模擬授業, 実技試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			40				40
	平成25年度採用者数(名)			10				10
	平成26年度受験者数(名)			16				16
	平成27年度受験者数(名)			10				10

(福岡市)

選考名称	社会人等特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	40	歳以下	
資格要件	一般選考の受験資格を全て満たし、かつ平成16年4月1日から平成26年4月30日までの間に法人格を有する同一の民間企業の正社員又は同一の官公庁の正規社員として、継続して5年以上の勤務経験(休職、育児休業等の期間を除く。)がある人							
資格要件の確認方法	職歴証明書の提出(第2次試験合格者のみ)							
選考方法・試験内容	選考方法: 一般選考と別枠で行うが、選考区分は「(3)国際貢献活動経験による特別選考」と同一枠で募集 試験内容: 第1次試験は専門教科・一般教養・論文。第2次試験は一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	13	10	-	2	3	0	28
	平成25年度採用者数(名)	1	2	-	0	0	0	3
	平成26年度受験者数(名)	10	11	2	3	7	1	34
	平成27年度受験者数(名)	7	16	1	2	3	2	31

＜社会人特別選考(民間企業等経験による特別選考)＞

(豊能地区)

選考名称	社会人経験者等1次選考免除対象者の選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	すべての校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	前年度の大阪府との合同実施時に選考区分「社会人経験者対象の選考」ア教諭普通免許状を所有するものを対象とした選考」で受験し、第1次選考で合格と判定され、第2次選考を有効に受験し、不合格と判定された人で、昭和39年(1964年)4月2日以降に出生していること。							
資格要件の確認方法	前年度結果通知書(不合格)裏面に必要事項を記入の上、提出							
選考方法・試験内容	第1次選考テスト:(免除) 第2次選考テスト:面接、筆答、実技							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	1	1					2

(4)教職経験による特別選考

(宮城県)

選考名称	教職経験者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭・栄養教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	①出願時に宮城県内・仙台市内の国公立学校の実習助手、寄宿舎指導員、常勤講師(注1)、非常勤講師(注1)、代替養護教諭、代替栄養教諭、代替実習助手又は代替寄宿舎指導員に就いており、平成21年4月1日から平成26年5月20日までに、宮城県内・仙台市内の国公立学校での常勤講師、代替養護教諭又は代替栄養教諭としての経験が通算24月以上ある者。 ②出願時に学校教育法第1条に定められた学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭又は栄養教諭に継続して24月以上就いている者。 ①出願時に宮城県内・仙台市内の国公立学校の実習助手、寄宿舎指導員、常勤講師(注1)、非常勤講師(注1)、代替養護教諭、代替栄養教諭、代替実習助手又は代替寄宿舎指導員に就いており、平成21年4月1日から平成26年5月20日までに、宮城県内・仙台市内の国公立学校での常勤講師、代替養護教諭又は代替栄養教諭としての経験が通算24月以上ある者。 ②出願時に学校教育法第1条に定められた学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭又は栄養教諭に継続して24月以上就いている者。							
資格要件の確認方法	出願時に提出する人物証明書							
選考方法・試験内容	第1次選考については「専門教養」、「実技(実技のある教科のみ)」、「集団面接」、第2次選考については一般選考と同様とする。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	317	280	45		41	0	683
	平成25年度採用者数(名)	73	39	8		3	0	123
	平成26年度受験者数(名)	257	261	39		48	3	608
	平成26年度採用者数(名)	71	46	9		7	1	134
	平成27年度受験者数(名)	246	255	35		43	1	580

(山形県)

選考名称	現職教員特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		選択してください。			
	(具体的に)				満	39	歳以下	
資格要件	一般受験資格を満たし、平成27年3月31日現在、本県以外において、志願する校種・教科・科目又は養護教諭・栄養教諭の職で、国立大学法人附属学校並びに公立の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の正式採用教員として、継続して5年以上在職している40歳未満の心身ともに健康な者。							
資格要件の確認方法	在職証明書の提出。							
選考方法・試験内容	第一次選考試験において、教職教養・一般教養の代わりに小論文を課す。それ以外は一般選考と同様。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	14	7	2	1	0	0	24
	平成25年度採用者数(名)	5	4	0	1	0	0	10
	平成26年度受験者数(名)	15	10	2	0	1	0	28
	平成26年度採用者数(名)	3	3	1	0	0	0	7
	平成27年度受験者数(名)	14	8	1	1	0	0	24

(福島県①)

選考名称	特別選考Ⅰ(教職経験者特別選考)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種、全教科(科目)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	①教諭や養護教諭(現職、過去の実績を問わない)として継続して3年以上の教職経験がある者 ②一般選考に示した受験資格を有する者 ③平成27年4月1日現在、満27歳以上50歳以下の者(本県の教諭で他の校種・教科を希望する場合は満27歳以上であれば可)							
資格要件の確認方法	任命権者が発行する職歴証明書により確認する。							
選考方法・試験内容	第一次試験:小論文、指導案作成・模擬授業(高校の保体、音楽、美術、書道及び家庭の受験者を除く)、実技試験(中学校の音楽、美術、保体、技術、家庭、高校の保体、音楽、美術、書道、家庭)及び個人面接 第二次試験:一般選考と同様							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	24	16	14	11	3		68
	平成25年度採用者数(名)	4	3	0	2	1		10
	平成26年度受験者数(名)	58	17	21	13	3		112
	平成26年度採用者数(名)	28	6	1	4	1		40
平成27年度受験者数(名)	46	18	19	6	1		90	

(福島県②)

選考名称	特別選考Ⅱ(臨時的任用教員経験者特別選考)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種、全教科(科目)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	45	歳以下	
資格要件	①本県内の公立学校及び本県内の国立大学法人附属学校において、臨時的任用教員として直近の3年度間に通算15か月以上の教職経験がある教員 ②一般選考に示した受験資格を全て有する者							
資格要件の確認方法	特別選考Ⅱ受験資格申告書及び該当期間における辞令のコピーを添付して提出させて確認する。							
選考方法・試験内容	第一次試験:筆答試験(教職教養を除く)、実技試験(小学校、中学校の音楽、美術、保体、技術、家庭、高校の保体、音楽、美術、書道、家庭及び特支のうちこれに該当する者)及び集団面接 第二次試験:一般選考と同様							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)	275	344	300	106	55		1,080
	平成26年度採用者数(名)	34	26	31	14	12		117
平成27年度受験者数(名)	223	322	256	90	60		951	

(茨城県)

選考名称	講師等経験者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校, 中学校(国・数・理・保体・英), 高等学校(国・数・保体・英・農・工・商), 特別支援学校, 養護教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	小学校50名程度, 中学校27名程度, 高等学校12名程度, 特別支援学校7名程度, 養護教諭若干名			満	44	歳以下	
資格要件	一般選考の受験資格を満たした者で, 本県内の臨時的任用の講師・養護助教諭・実習助手・寄宿舎指導員として勤務し, 直近4年で12月以上の勤務経験を有し, 志願時において臨時的任用講師等として勤務している方, もしくは直近4年で24月以上の勤務経験を有する方。							
資格要件の確認方法	志願校種(職種)勤務実績証明書(様式あり)を提出する。							
選考方法・試験内容	第1次試験の一般教養・教職専門試験を免除する。(単願者のみ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	93	58	69	37	17		274
	平成25年度採用者数(名)	41	18	14	4	1		78
	平成26年度受験者数(名)	87	73	57	44	15		276
	平成26年度採用者数(名)	43	22	11	4	2		82
	平成27年度受験者数(名)	203	164	86	74	58		585

(栃木県①)

選考名称	教職経験により一部試験を免除した選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種、教科、科目		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	44・49	歳以下	
資格要件	次の各号のすべてに該当する者。(ただし、イについてはaまたはbに該当するもの) ア 都道府県(栃木県は除く)または指定都市が実施する教員採用選考試験に合格し、現在、正規任用の主幹教諭、指導教諭、教諭または養護教諭(いずれも、臨時的任用教職員及び非常勤講師を除く)として勤務し、都道府県(栃木県は除く)または指定都市において、平成27年3月31日まで継続して3年以上の勤務が見込まれる者(休職、育休等の期間を除く)。ただし、受験する校種、教科・科目と同一の教職経験を2年以上有している者とする。 イ a 昭和45年4月2日以降に生まれた者。 b 岩手県、宮城県、福島県、仙台市に勤務する東日本大震災の被災者で、家族の避難等により栃木県内への移住の必要性が認められる等の理由により、本県への新規採用教員選考試験の受験に関し、任命権者の了解が得られている者については、昭和40年4月2日以降に生まれた者。							
資格要件の確認方法	在職証明書(様式自由、任命権者の証明したもの)を提出させるとともに、履歴書に勤務経験のある校種、教科・科目等を記載させ、書類選考を実施。							
選考方法・試験内容	対象となった者には、1次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	19	3	4	4	1		31
	平成25年度採用者数(名)	15	2	1	4	1		23
	平成26年度受験者数(名)	20	4	3	4	1		32
	平成26年度採用者数(名)	18	3	1	3	0		25
	平成27年度受験者数(名)	21	6	6	3	2		38

(栃木県②)

選考名称	講師等の経験により一部試験を免除した選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種、教科、科目		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	44	歳以下	
資格要件	次の各号のすべてに該当する者。 ア 昭和45年4月2日以降に生まれた者。 イ 平成23年4月1日から平成26年3月31日までの3年間に栃木県内の講師(非常勤講師を含む)等として通算で12月以上の勤務をしている者。 ウ 平成26年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験において不合格となった者のうち第2次試験でAランクの評定を受けた者。							
資格要件の確認方法	「平成26年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験の結果について(通知)」のコピー、勤務状況報告書の提出。							
選考方法・試験内容	対象となった者には、1次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	14	8	10	2	1		35
	平成25年度採用者数(名)	10	5	4	2	1		22
	平成26年度受験者数(名)	14	18	13	5	1		51
	平成26年度採用者数(名)	9	12	9	4	0		34
	平成27年度受験者数(名)	15	15	12	3	1		46

(群馬県①)

選考名称	現職教員特別選考試験		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小・中学校、高等学校、特別支援学校、養護教員		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	39	歳以下	
資格要件	志願する募集区分の校種と同じ校種の国公立学校の正規教員として現に勤務し、平成26年3月31日現在、休職及び育児休業の期間を除き、3年以上在職する人							
資格要件の確認方法	自己申告による							
選考方法・試験内容	「一般教養・教職に関する科目」を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	25	3	5	2	0		35
	平成25年度採用者数(名)	18	2	0	1	0		21
	平成26年度受験者数(名)	17	3	5	3	2		30
	平成26年度採用者数(名)	9	2	3	3	0		17
	平成27年度受験者数(名)	8	11	2	2	2		25

(群馬県②)

選考名称	臨時的任用教員経験者特別選考試験		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	小・中学校、高等学校、特別支援学校、養護教員		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)								
資格要件	平成21年4月1日から平成26年3月31日までの間に群馬県の公立学校(幼稚園は除く)で臨時的任用教員又はわかばプラン非常勤講師等として、36か月以上勤務した経験を有する人。								
資格要件の確認方法	経験月数を証明する辞令の写し(無い場合は在職証明書(写しも可))を提出。								
選考方法・試験内容	「一般教養・教職に関する科目」を免除								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成25年度受験者数(名)	93	149	83	23	22		370	
	平成25年度採用者数(名)	25	44	17	1	3		90	
	平成26年度受験者数(名)	85	127	83	29	22		346	
	平成26年度採用者数(名)	34	33	9	8	1		85	
	平成27年度受験者数(名)	26	174	79	32	23		334	

(埼玉県①)

選考名称	臨時的任用教員経験者特別選考A選考、B選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教員、栄養教員		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)								
資格要件	<p>○臨時的任用教員経験者特別選考A選考 埼玉県内の公立学校(さいたま市立小学校・中学校・特別支援学校(小・中学部)を除く。)及び同県内国立大学法人が設置する学校における常勤の臨時的任用教員又は任期付短時間勤務教員としての経験を直近3年間で7ヶ月以上有する者。ただし、以下に掲げる要件に留意する。 ・臨時的任用教員等の経験は、上記に掲げる学校での経験とする。なお、埼玉県内の市町村で単独に採用する常勤の教員経験期間も対象とする。 ・直近3年間とは、平成23年4月1日から平成26年3月31日までの期間とする。 ・経験月数の数え方は、発令期間が1月の中に1日でも存在すれば、当該月は経験月とする。 ・経験期間は、連続している必要はない。また、異校種の経験を合算することができる。 ・非常勤講師の経験は対象とはならない。</p> <p>○臨時的任用教員経験者特別選考B選考 上記の条件を全て満たし、 ・平成26年度埼玉県公立学校教員採用選考試験(小中学校等)第2次試験結果の総合評価が「C」(総合評価が中位の者)の者。(志願する志願区分・教科と同一のものに限る。)(小・中・養) ・平成26年度埼玉県公立学校教員採用選考試験(高等学校等)第1次試験に合格した者。(志願する志願区分・教科(科目)と同一のものに限る。また、平成26年度埼玉県公立高等学校等教員採用選考試験で第1次試験を全て免除した者は除く。)*特別支援学校教員については、特別支援に関する特別選考による第1次試験に合格した者に限る。(高・特支)</p>								
資格要件の確認方法	現勤務校又は最終勤務校の保管する履歴書の写しで、所属長が原本証明したもの。								
選考方法・試験内容	臨時的任用教員経験者特別選考A選考…第1次試験は、筆答試験(一般教養・教職教養)に代えて面接試験 臨時的任用教員経験者特別選考B選考…第1次試験免除。								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成25年度受験者数(名)	1,092	980	587		113		2,772	
	平成25年度採用者数(名)	320	197	97		10		624	
	平成26年度受験者数(名)	1,023	999	609		107		2,738	
	平成26年度採用者数(名)	288	254	118		10		670	
	平成27年度受験者数(名)	1,011	956	525	245	117		2,854	

(埼玉県②)

選考名称	経験者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教員、栄養教員		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
					満	59	歳以下	
資格要件	埼玉県内の公立学校における志願区分に該当する本採用教員としての教職歴が平成26年3月31日現在2年以上の者又は埼玉県外の公立学校における志願区分に該当する本採用教員としての教職歴を平成26年3月31日現在2年以上有し、平成26年4月1日現在引き続き本採用教員として任用されている者。 ただし、以下に掲げる要件に留意する。 ・「教職歴」とは学校教育法第1条に規定する小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校での経験をいう。 ・「教職歴」に、休職(休業)期間は含まない。休職(休業)とは、病気や出産・育児などにより勤務しない期間のことをいう。 ・中等教育学校における教職歴については、前期課程を中学校、後期課程を高等学校の教職歴とみなす。前期課程及び後期課程の双方を同時に担当した期間については、1週間当たりの授業時間数が前期課程の方が多い場合に中学校、後期課程の方が多い場合は、高等学校の教職歴とみなす。							
資格要件の確認方法	履歴書の写し(県内公立学校の本採用教員経験者においては、本採用最終勤務校、県外公立学校の本採用教員は現勤務校の保管する履歴書の写しで、所属長が原本証明したもの。)							
選考方法・試験内容	第1次試験免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	58	26	20		4		108
	平成25年度採用者数(名)	26	11	8		0		45
	平成26年度受験者数(名)	51	23	28		7	0	109
	平成26年度採用者数(名)	18	12	13		3	0	46
	平成27年度受験者数(名)	59	33	23	16	7	0	138

(神奈川県①)

選考名称	正規教員経験者		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種等・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	公立学校の正規教員として平成26年3月31日までに2年以上(休職、育児休業等の期間を除く)の勤務経験(ただし、受験する校種等・教科の免許状を所有し、かつ同一の教職経験に限る)							
資格要件の確認方法	職歴を申告する書類の提出。内定者は、職歴証明書の提出。							
選考方法・試験内容	第1次試験において筆記試験を免除し、個人面接を課す							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	78	35	63	21	8		205
	平成25年度採用者数(名)	27	5	15	6	1		54
	平成26年度受験者数(名)	74	45	61	15	9		204
	平成26年度採用者数(名)	26	7	16	8	5		62
	平成27年度受験者数(名)	57	35	64	12	7		175

(神奈川県②)

選考名称	臨時的任用職員経験者		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種等・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>A 神奈川県内公立学校(県内政令指定都市立の学校を含む)の臨時的任用職員(非常勤講師を除く)として平成22年4月1日から平成26年3月31日までの4年間に通算2年以上の勤務経験(ただし、受験する校種等・教科の免許状を所有し、かつ同一の教職経験に限る。)</p> <p>B 神奈川県内公立学校(県内政令指定都市立の学校を除く)の臨時的任用職員(非常勤講師を除く)として平成24年4月1日から平成26年3月31日までの2年間に通算1年以上の勤務経験を有し、平成26年5月1日現在も神奈川県内公立学校(県内政令指定都市立の学校を除く)の臨時的任用職員(非常勤講師を除く)として任用されていること(ただし、受験する校種等・教科の免許状を所有し、かつ同一の教職経験に限る。)</p> <p>C 平成25年度実施の第2次試験における不合格者(小学校区分及び特別支援学校区分の一般選考受験者に限る)のうち、「不合格(臨時的任用職員候補者)」の通知を受け、平成26年4月に神奈川県内公立学校(県内政令指定都市立の学校を除く)の臨時的任用職員(非常勤講師を除く)として任用されていること(ただし、任用された校種の受験に限る。)</p> <p>※ なお、上記A、B及びCのいずれにおいても、特別支援学校を受験する場合に、特別支援学校教諭(盲・聾・養護学校教諭)免許状の所有の有無を問わない。</p>							
資格要件の確認方法	職歴を申告する書類の提出。内定者は、職歴証明書の提出。							
選考方法・試験内容	<p>A、B：第1次試験において、筆記試験を免除し、個人面接を課す。ただし、高等学校、特別支援学校区分の受験者は、筆記試験のうち一般教養・教職専門試験を免除する。</p> <p>C：第1次試験において、筆記試験を免除し、個人面接を課す。</p>							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	248	270	200	206	51		975
	平成25年度採用者数(名)	91	99	42	54	12		298
	平成26年度受験者数(名)	303	330	185	241	49		1,108
	平成26年度採用者数(名)	104	129	52	63	12		360
	平成27年度受験者数(名)	371	338	207	245	50		1,211

(富山県)

選考名称	特別選考 教職経験		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>受検種目・受検教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか、平成27年3月31日までに取得見込みであり、国立大学法人又は地方公共団体が設置する学校(幼稚園を除く)の主幹教諭、指導教諭、教諭又は養護教諭として平成26年3月31日まで継続して3年以上の勤務経験(休職、育児休暇等の期間を除く)があり、かつ出願時も引き続き任用中の者。</p>							
資格要件の確認方法	第2次検査の結果通知後、任用候補者名簿に登載された者のみに在職・勤務証明書を提出させる。							
選考方法・試験内容	<p>1次検査…小論文、専門教科筆答検査、個人面接、集団面接</p> <p>2次検査…教養、適性検査、個人面接、選択実技(小学校、特別支援(小)の受験者のみ)</p>							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	17	8		1	1		27
	平成25年度採用者数(名)	9	4					13
	平成26年度受験者数(名)	7	5		6	2		20
	平成26年度採用者数(名)	4	4		4	1		13
	平成27年度受験者数(名)	9	9		3			21

(石川県)

選考名称	正規教員としての勤務経験を有する受験者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校及び高等学校、養護教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	一般選考の受験資格を全て満たし、国公立学校の正規教員(教諭、養護教諭)として、平成26年3月31日現在、3年以上(休職、育児休業の期間を除く)の勤務経験があり、かつ、次の①②いずれかに該当する者 ①現に、国公立学校の正規教員(教諭、養護教諭)である者 ②過去に、国公立学校の正規教員(教諭、養護教諭)であった者で、本県国公立学校の講師(臨時的任用又は非常勤)として、平成25年4月1日から平成27年3月末日までに11か月以上の勤務経験(見込を含む)を有する者							
資格要件の確認方法	出願時には自己申告書を提出し、採用候補者となった者は、受験資格に該当する職歴証明を提出							
選考方法・試験内容	小学校教諭等：一般選考の試験内容から、筆記試験及び実技試験を免除 中学校教諭等及び高等学校教諭等、養護教諭：一般選考の試験内容から筆記試験における総合教養を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	38	高に含む	22		5		65
	平成25年度採用者数(名)	11	1	4		2		18
	平成26年度受験者数(名)	37	高に含む	16		2		55
	平成26年度採用者数(名)	10	4	2		0		16
	平成27年度受験者数(名)	33	高に含む	10		5		48

(山梨県)

選考名称	教職経験者を対象とした特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	すべての校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	39	歳以下	
資格要件	次の①～③のいずれかの経験を有する者 ①過去において山梨県または他の都道府県の公立の小・中・高・特支の教諭もしくは養護教諭・栄養教諭として3年以上正規教員として勤務した経験を有する者。②現に他の都道府県・政令指定都市の公立の小・中・高・特支の教諭もしくは養護教諭・栄養教諭として正規職員の職にある者。③平成21年4月1日以降、山梨県の公立学校の小・中・高・特支の臨時的任用教職員(期間採用教員・代替職員)として、平成26年3月31日現在で通算3年以上の勤務経験(見込みも含む)がある者。							
資格要件の確認方法	県内の場合は、在籍経歴書で確認。県外の場合は、任命権者の教育委員会発行の履歴証明書を提出させる。							
選考方法・試験内容	第一次検査において、一般教職教養検査を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	35	60	52	18	9	0	174
	平成25年度採用者数(名)	10	8	9	6	2	0	35
	平成26年度受験者数(名)	50	49	52	32	9	0	192
	平成26年度採用者数(名)	22	14	9	9	2	0	56
	平成27年度受験者数(名)	48	61	60	26	11	0	206

(静岡県)

選考名称	教職経験者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科科目、養護教員		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							満
資格要件	ウ静岡県内外の国公立学校において、教諭又は養護教諭として、平成26年3月31日までに2年以上勤務経験のある者 エ静岡県内の国公立学校において、臨時的任用講師又は臨時的任用養護教諭として、平成25年度に勤務実績を有し、かつ、直近の過去3年度(平成23年度から平成25年度まで)で通算24ヶ月以上勤務した者							
資格要件の確認方法	最終勤務校の所属長による勤務歴証明による。							
選考方法・試験内容	教職・一般教養を課題作文に代える以外は、一般選考と同様とする。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	126	59	128	131	35		479
	平成25年度採用者数(名)	28	14	20	27	8		97
	平成26年度受験者数(名)	132	48	117	123	18		438
	平成26年度採用者数(名)	39	13	26	28	3		109
	平成27年度受験者数(名)	32	19	28	29	6		114

(愛知県①)

選考名称	現職教諭特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							満
資格要件	国立大学法人が設置する学校又は公立学校の正規任用の教諭、養護教諭又は栄養教諭の職にあり、平成26年4月1日現在において、3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人							
資格要件の確認方法	出願資格を確認できる、任用の期間及び現職にあることなどがわかる在職期間証明書、職歴証明書又は履歴書の写し等を提出する。							
選考方法・試験内容	選考試験の結果、相当と認められた人は、第1次試験を免除する。第2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	34	6	34	19	4		97
	平成25年度採用者数(名)	12	3	13	8	1		37
	平成26年度受験者数(名)	46	12	45	15	2	2	122
	平成26年度採用者数(名)	21	7	13	4	0	1	46
	平成27年度受験者数(名)	33	14	44	18	5	0	114

(愛知県②)

選考名称	元教諭・講師経験者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>次のア及びイをともに満たす人に限る。 ア 平成26年4月1日以降に、愛知県内の公立学校(名古屋市立学校を除く。)の職員(正規任用の教諭、養護教諭及び栄養教諭を除き、非常勤の職にある者を含む。)として勤務し、出願時に勤務する学校において所属長の推薦が得られた人 イ 次の(ア)又は(イ)において、3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)勤務実績を有する人 ※次の(ア)の勤務実績と(イ)の勤務実績は合算することができる。 (ア)元教諭としての勤務実績 平成26年3月31日までに国立大学法人が設置する学校又は公立学校において正規任用の教諭、養護教諭及び栄養教諭としての勤務実績を有すること。 (イ)講師経験者としての勤務実績 平成19年4月1日から平成26年3月31日までの7年間に、国立大学法人が設置する学校又は公立学校において講師(非常勤の職にある者を除く)又は養護教諭及び栄養教諭(正規任用者及び非常勤の職にある者を除く。)としての勤務実績を有すること。 ※勤務実績の算定方法について 元教諭又は講師(非常勤の職にある者を除く。)として1日以上勤務している月は1か月として算定することができる。</p>							
資格要件の確認方法	<p>所定の「元教諭・講師経験者特別選考推薦書」の〔受験者記入欄〕に必要事項を記入の上、出願時に勤務する愛知県内の公立学校(名古屋市立学校を除く。)の所属長が作成した推薦書を提出する。</p>							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験を免除する。第2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	225	154	81	67	45		572
	平成25年度採用者数(名)	60	68	28	22	13		191
	平成26年度受験者数(名)	255	160	93	67	52	1	628
	平成26年度採用者数(名)	64	30	31	22	16	0	163
	平成27年度受験者数(名)	241	171	86	72	51	1	622

(三重県①)

選考名称	教職経験者を対象とした特別選考[I]		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	一般選考を実施する全校種・教科等		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>(1)学校教育法第9条及び地方公務員法第16条に定める欠格条項に該当しない人 (2)要項に定める教育職員免許状を有する人または平成27年3月31日までに取得見込の人 (3)平成26年3月31日現在、休職の期間を除き、国立または公立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校または特別支援学校の教諭・主幹教諭・指導教諭・養護教諭または栄養教諭として3年以上の勤務経験を有する人</p>							
資格要件の確認方法	「人事記録の写し(末尾に任命権者または所属長の証明を付したものの)」の提出によって確認する。							
選考方法・試験内容	一般選考の「筆答試験(教養)」を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	33	5	19	6	0	0	63
	平成25年度採用者数(名)	14	1	6	2	0	0	23
	平成26年度受験者数(名)	25	12	19	6	1	0	63
	平成26年度採用者数(名)	9	2	6	3	0	0	20
	平成27年度受験者数(名)	24	11	12	7	1	0	55

(三重県②)

選考名称	教職経験者を対象とした特別選考[Ⅱ]		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭及び養護教諭		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	(1)学校教育法第9条及び地方公務員法第16条に定める欠格条項に該当しない人 (2)要項に定める教育職員免許状を有する人または平成27年3月31日までに取得見込の人 (3)平成21年4月1日から平成26年3月31日までの5年間のうち、36月以上三重県内公立学校または三重大学教育学部付属学校において下記のアまたはイの職種で任用されていた人 ア 小学校、中学校、高等学校または特別支援学校教諭申込者においては講師(非常勤講師を除く) イ 養護教諭申込者においては、養護助教諭(非常勤を除く)								
資格要件の確認方法	受験資格の有無は、「教職歴申告書」を参考に教職経験年数を確認する。								
選考方法・試験内容	一般選考の「筆答試験(教養)」に代えて、所属長が記入した「人物証明書」による選考を行う。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		182	149	77	19	38	0	465
	平成25年度採用者数(名)		41	30	10	4	4	0	89
	平成26年度受験者数(名)		186	136	79	32	39	0	472
	平成26年度採用者数(名)		52	21	10	12	6	0	101
平成27年度受験者数(名)		152	132	63	34	34	0	415	

(大阪府①)

選考名称	教職経験者等対象の選考 ア現職教諭・常勤講師等経験者一部選考免除対象者		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	すべての校種・教科		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)							満	59
資格要件	現職教諭:①及び②を満たしていること。 ①平成26年4月1日現在、国立学校、公立学校(大阪府内を除く)、私立学校に正規任用の教諭、養護教諭、栄養教諭又は任用の期限を付さない常勤講師(任期付採用や臨時的任用の場合を除く)として在職しており、平成27年3月31日までに通算2年以上の在職経験があること。 ②教諭等として平成27年3月31日現在で1年以上、出願する校種・教科等の教育課程内の授業等を担当した実績があること。 常勤講師等経験者一部選考免除対象者:③及び④を満たしていること ③前年度採用選考テストで一定の成績を修めていること。 ④平成23年4月1日から平成26年3月31日までの間に大阪府内の公立学校で講師又は養護教諭として勤務経験(非常勤の経験は含まない。)があり、その勤務経験が平成26年3月31日までに通算3年以上ある。又は、大阪府内の公立学校(大阪府立、堺市立を除く)における実習助手・寄宿舎指導員(いずれも正規職員に限る。)として平成26年4月1日現在在職し、平成26年3月31日までに同職の勤務経験が通算3年以上あること。								
資格要件の確認方法	出願時は願書により確認。合格後は在職証明書等の提出により確認。								
選考方法・試験内容	現職教諭:第1次選考テスト 面接、第2次選考テスト 面接 常勤講師等経験者一部選考免除対象者:第2次選考テスト 面接								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		56	38	30	5	2	0	131
	平成25年度採用者数(名)		4	8	4	2	1	0	19
	平成26年度受験者数(名)		69	52	97	10	12	1	241
	平成26年度採用者数(名)		14	11	24	5	5	1	60
平成27年度受験者数(名)		76	50	102	7	7	0	242	

(大阪府②)

選考名称	教職経験者等対象の選考 イ常勤講師経験者・ 実習助手・寄宿舎指導員		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	すべての校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>常勤講師経験者:①及び②を満たしていること ①平成24年4月1日から平成26年3月31日までに大阪府内の公立学校において講師又は養護助教諭としての勤務経験(非常勤の経験は含まない。)があること。 ②その勤務経験が平成26年3月31日までに通算3年以上あること。又は大阪府内の同一の公立学校(大阪市立、堺市立、豊能地区市町立を除く。)において、講師又は養護助教諭として、平成26年5月7日から平成26年7月18日までの間、継続して発令されている者で、「校長・市町村教育委員会評価」を希望する者は、その勤務経験が平成26年3月31日までに通算1年以上あること。</p> <p>実習助手・寄宿舎指導員:③及び④を満たしていること ③大阪府内の公立学校(大阪市立、堺市立を除く)における実習助手・寄宿舎指導員(いずれも正規職員に限る。)として平成26年4月1日現在在職していること。 ④平成26年3月31日までに同職の勤務経験が通算3年以上あること。又は大阪府内の同一の公立学校(大阪市立、堺市立を除く。)において、実習助手・寄宿舎指導員として、平成26年7月18日まで在職予定の者で「校長・市町村教育委員会評価」を希望する者は、その勤務経験が平成26年3月31日までに通算1年以上あること。</p>							
資格要件の確認方法	出願時は願書により確認。合格後は在職証明書等の提出により確認。							
選考方法・試験内容	第1次選考テスト 面接、第2次選考テスト 面接、筆答、実技							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	316	356	271	38	78	0	1,059
	平成25年度採用者数(名)	80	70	35	42	23	0	250
	平成26年度受験者数(名)	276	349	254	40	71	0	990
	平成26年度採用者数(名)	53	106	51	4	3	0	217
	平成27年度受験者数(名)	98	40	46	11	6	0	201

(奈良県)

選考名称	現職教諭特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭、栄養教諭、実習助手		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)							満	44
資格要件	受験する校種で、現に国立及び公立(奈良県以外)学校教諭、私立学校の正規の現職教員として3年以上勤務(平成26年3月31日現在における勤務年数)している人								
資格要件の確認方法	出願時の願書・履歴証明								
選考方法・試験内容	1次試験で集団面接を行う。								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成25年度受験者数(名)	25	21	25	3	3	1	78	
	平成25年度採用者数(名)	10	12	11		1	1	35	
	平成26年度受験者数(名)	37	27	12	5	4	0	85	
	平成26年度採用者数(名)	7	11		3			21	
	平成27年度受験者数(名)	33	15	14	8	4		74	

(鳥取県)

選考名称	現職教諭を対象とした選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	小学校教諭 中学校教諭(数学・理科・英語) 特別支援学校教諭		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	49
資格要件	一般選考の受験資格を満たす者の内、他の都道府県の公立又は国立大学法人が設置する小学校・中学校・特別支援学校に正式採用教諭として平成27年3月31日において3年以上勤務し、かつ、現在も志願する校種に勤務している者								
資格要件の確認方法	人事記録の写し								
選考方法・試験内容	第一次選考試験における全ての筆記試験及び技能・実技試験を免除し、面接試験のみ実施								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成25年度受験者数(名)	19	5		1			25	
	平成25年度採用者数(名)	18	5		1			24	
	平成26年度受験者数(名)	14	3		1			18	
	平成26年度採用者数(名)	9	3		0			12	
	平成27年度受験者数(名)	8	4		2			14	

(岡山県)

選考名称	特別選考E[教職経験者を対象とした特別選考]		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)本県の公立学校の教諭、養護教諭又は栄養教諭(いずれも正規教員)として、2年以上の勤務経験(受験する校種・職種と同一の勤務経験に限る。)がある者で、退職日から10年を経過していない者。ただし、昭和30年4月2日以降に生まれた者。							
資格要件の確認方法	出願時に特別選考調書を提出させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	67	12	20	11	4		114
	平成25年度採用者数(名)	15	6	2	5	2		30
	平成26年度受験者数(名)	2	1	0	0	0	0	3
	平成26年度採用者数(名)	1	1	0	0	0	0	2
	平成27年度受験者数(名)	1	3	0	0	1	0	5

(広島県①)

選考名称	現職教員を対象とした特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	一般選考と同じ(養護教諭については実施しない)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	44	歳以下	
資格要件	一般選考の項に掲げる要件を満たす者であって、次のア及びイの要件を満たす者。 ア 国公立学校における正規任用教員等(広島県、広島市の公立学校正規任用教員を除く。任期を定めて採用された教員を除く。以下同じ。)として、平成26年3月31日までに通算して3年以上(受験する校種(特別支援学校は各部)、教科(科目、分野)と同一の教職経験であって、休職等の期間を除く。任期を定めて採用された期間を除く。)の勤務経験があること。 イ 出願時に国公立学校における正規任用教員等であり、かつ、平成27年3月31日まで引き続き勤務予定であること。							
資格要件の確認方法	出願時の受験願により確認する。なお、第2次試験の結果通知後に、職歴を証明する書類(発令された履歴事項が全て記載されたもので、任命権者(雇用主)の証明印が必要)を提出させ確認する。							
選考方法・試験内容	個人面接、模擬授業							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	36	15	13	4			68
	平成25年度採用者数(名)	8	7	1	1			17
	平成26年度受験者数(名)	39	9	15	2			65
	平成26年度採用者数(名)	8	5	3	0			16
	平成27年度受験者数(名)	34	11	16	3			64

(広島県②)

選考名称	臨時的任用等教職経験者を対象とした特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	一般選考と同じ	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	<p>一般選考の項に掲げる要件のうち年齢以外の要件を満たす者であって、次のア及びイの要件を満たす者。</p> <p>ア 昭和30年4月2日以降に生まれた者であること。</p> <p>イ 教諭の受験は、次の要件のいずれかを満たす者であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島県・広島市の公立学校で、実習助手(本務者で教育職員免許状所有者)、育休任期付職員、臨時的任用職員、非常勤講師等として、受験前過去4年間(平成22年度から平成25年度まで)で通算36月以上の教科に関する実務経験(受験する職種(実習助手(本務者及び臨時的任用職員)、助教諭、非常勤講師は教諭とみなす。)、校種(特別支援学校は各部)、教科(科目、分野)と同一の教職経験に限る。)があること。 ・ 広島県・広島市の公立学校の元正規任用教員としての通算3年以上(受験する校種(特別支援学校は各部)、教科(科目、分野)と同一の教職経験であって、休職等の期間を除く。)の勤務経験及び広島県・広島市の公立学校の臨時的任用職員等としての受験前過去2年間(平成24年度から平成25年度まで)で通算12月以上の教科に関する実務経験(受験する職種、校種(特別支援学校は各部)、教科(科目、分野)と同一の教職経験に限る。)があること。 <p>養護教諭の受験は、次の要件のいずれかを満たす者であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島県・広島市の公立学校で、育休任期付職員、臨時的任用職員等として、受験前過去4年間(平成22年度から平成25年度まで)で通算36月以上の養護に関する実務経験があること。 ・ 広島県・広島市の公立学校の元正規任用教員として通算3年以上(養護教諭としての教職経験であって、休職等の期間を除く。)の勤務経験及び広島県・広島市の公立学校の臨時的任用職員等として受験前過去2年間(平成24年度から平成25年度まで)で通算12月以上の養護に関する実務経験があること。 							
資格要件の確認方法	<p>出願時の受験願により確認する。なお、第2次試験の結果通知後に、職歴を証明する書類(発令された履歴事項が全て記載されたもので、任命権者(雇用主)の証明印が必要)を提出させ確認する。</p>							
選考方法・試験内容	<p>第1次試験:小論文, グループワーク 第2次試験:個人面接, 模擬授業, 実技試験</p>							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	136	185	112	15			448
	平成25年度採用者数(名)	65	49	20	8			142
	平成26年度受験者数(名)	188	187	116	21	28		540
	平成26年度採用者数(名)	57	43	16	7	7		130
	平成27年度受験者数(名)	176	185	113	25	31		530

(徳島県①)

選考名称	現職教員を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	すべての校種、教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	現に他の都道府県に所在する国公立の小・中・高等学校・中等教育学校又は特別支援学校に勤務し、平成26年3月末現在、3年以上在籍する者。							
資格要件の確認方法	履歴書、第2次審査時に公立学校共済組合員証などの写しの提出。							
選考方法・試験内容	第1次審査の筆記審査(教養)免除、他は一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	40	13	7	4	1		65
	平成25年度採用者数(名)	15	2	2	2	1		22
	平成26年度受験者数(名)	29	13	8	3	1		54
	平成26年度採用者数(名)	16	3	0	0	1		20
	平成27年度受験者数(名)	24	11	5	2	0		42

(徳島県②)

選考名称	本県での教職経験を有する者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	すべての校種、教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	過去に、本県に所在する公立の小・中・高等学校・特別支援学校の教諭の職にあった者。							
資格要件の確認方法	履歴書等							
選考方法・試験内容	第1次審査の筆記審査(教養)免除、他は一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	1	0	0	0	0		1
	平成25年度採用者数(名)	0	0	0	0	0		0
	平成26年度受験者数(名)	1	0	0	0	0		1
	平成26年度採用者数(名)	0	0	0	0	0		0
	平成27年度受験者数(名)	1	1	0	0	0		2

(徳島県③)

選考名称	臨時教員に係る特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	すべての校種、教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	平成26年4月1日から出願締切日までの間に、本県の小・中・高等学校・特別支援学校で臨時教員として任用されていること。過去5年間に36月以上、本県の小・中・高等学校・特別支援学校で臨時教員としての勤務経験を有すること。							
資格要件の確認方法	国、県・市町村教育委員会、私立学校の証明書の提出。							
選考方法・試験内容	第1次審査の筆記審査(教養)免除、他は一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	85	94	96	40	29		344
	平成25年度採用者数(名)	23	17	15	8	7		70
	平成26年度受験者数(名)	88	79	97	33	24		321
	平成26年度採用者数(名)	15	11	11	4	5		46
	平成27年度受験者数(名)	82	79	102	32	25		320

(香川県①)

選考名称	特別選考 I ②		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校、養護教諭、栄養教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	過去において本県又は他の都道府県・指定都市の公立学校の教諭、養護教諭又は栄養教諭の職にあった者。							
資格要件の確認方法	当該都道府県・指定都市の教育委員会の発行する履歴証明書を出願時に提出させる。							
選考方法・試験内容	総合教養試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	2	3	5	4	0	0	14
	平成25年度採用者数(名)	1	1	0	2	0	0	4
	平成26年度受験者数(名)	4	4	5	3	0	0	16
	平成26年度採用者数(名)	4	2	1	0	0	0	7
	平成27年度受験者数(名)	8	3	5	6	2	0	24

(香川県②)

選考名称	特別選考 I ③		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校、養護教諭、栄養教諭		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)							満	49
資格要件	現に他の都道府県・指定都市の公立学校の教諭、養護教諭又は栄養教諭の職にある者。								
資格要件の確認方法	願書に記入された職歴内容で確認する。								
選考方法・試験内容	総合教養試験を免除する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		28	16	9	3	2	0	58
	平成25年度採用者数(名)		16	8	6	0	1	0	31
	平成26年度受験者数(名)		30	16	12	2	3	0	63
	平成26年度採用者数(名)		9	7	3	1	1	0	21
平成27年度受験者数(名)		24	10	11	8	2	1	56	

(香川県③)

選考名称	特別選考 I ④		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	高等学校、特別支援学校		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)							満	49
資格要件	現に本県公立学校において、実習助手又は寄宿舎指導員の職(臨時又は非常勤の者を除く。)に5年以上ある者。								
資格要件の確認方法	願書に記入された職歴内容で確認する。								
選考方法・試験内容	総合教養試験を免除する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)				2	0			2
	平成25年度採用者数(名)				1	0			1
	平成26年度受験者数(名)				2	0			2
	平成26年度採用者数(名)				0	0			0
平成27年度受験者数(名)				1	0			1	

(香川県④)

選考名称	特別選考 I ⑤		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校、養護教諭、栄養教諭		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)							満	49
資格要件	本県の国公立の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校において、講師等(臨時的に任用され、常勤(非常勤(週30時間以上)を含む。)として勤務している講師及び養護助教諭をいう。以下同じ。)として、平成22年4月1日から平成26年6月4日までの間に、通算24カ月以上の勤務実績(異校種の勤務実績を合算することができる。)がある者								
資格要件の確認方法	発令庁が香川県の場合、講師等を対象とした特別選考による受験申請書を、発令庁が香川県以外の場合は在職証明書を、受験者より提出させる。								
選考方法・試験内容	総合教養試験を免除する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		123	97	47	24	30	0	321
	平成25年度採用者数(名)		41	19	13	12	3	0	88
	平成26年度受験者数(名)		124	100	41	20	33	0	318
	平成26年度採用者数(名)		26	23	5	9	1	0	64
	平成27年度受験者数(名)		68	82	41	18	58	0	267

(愛媛県①)

選考名称	教職経験者特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	小・中・高・特支・養教・栄教		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)							満	49
資格要件	本県の、学校教育法(昭和22年法律第26号)第2条第2項に規定する国立学校又は公立学校の教員として5年以上の教職経験(期限付任用又は臨時的任用である期間及び休職、育児休業等の期間を除く。)を有する者								
資格要件の確認方法	教職経験者特別選考申請書による。								
選考方法・試験内容	第1次選考試験の筆記試験の一部(一般教養及び教職専門科目)を免除する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		6	4	0	0	0	0	10
	平成25年度採用者数(名)		1	0	0	0	0	0	1
	平成26年度受験者数(名)		4	4	0	0	0	0	8
	平成26年度採用者数(名)		0	0	0	0	0	0	0
	平成27年度受験者数(名)		4	2	1	0	0	0	7

(愛媛県②)

選考名称	現職教員特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小・中・高・特支・養教・栄教		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)							満
資格要件	本県以外の都道府県の、学校教育法(昭和22年法律第26号)第2条第2項に規定する国立学校又は公立学校の教員として勤務している者で5年以上の教職経験(期限付任用又は臨時的任用である期間及び休職、育児休業等の期間を除く。)を有する者							
資格要件の確認方法	現職教員特別選考申請書による。							
選考方法・試験内容	第1次選考試験の筆記試験の一部(一般教養及び教職専門科目)を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	8	3	1	0	1	0	13
	平成25年度採用者数(名)	3	1	0	0	1	0	5
	平成26年度受験者数(名)	5	5	0	2	0	0	12
	平成26年度採用者数(名)	1	1	2	0	0	0	4
	平成27年度受験者数(名)	8	8	1	0	0	0	17

(仙台市)

選考名称	教職経験者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭・栄養教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							満
資格要件	<p>①出願時に宮城県内・仙台市内の国公立学校の実習助手、寄宿舎指導員、常勤講師(注1)、非常勤講師(注1)、代替養護教諭、代替栄養教諭、代替実習助手又は代替寄宿舎指導員に就いており、平成21年4月1日から平成26年5月20日までに、宮城県内・仙台市内の国公立学校での常勤講師、代替養護教諭又は代替栄養教諭としての経験が通算24月以上ある者。</p> <p>②出願時に学校教育法第1条に定められた学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭又は栄養教諭に継続して24月以上就いている者。</p> <p>①出願時に宮城県内・仙台市内の国公立学校の実習助手、寄宿舎指導員、常勤講師(注1)、非常勤講師(注1)、代替養護教諭、代替栄養教諭、代替実習助手又は代替寄宿舎指導員に就いており、平成21年4月1日から平成26年5月20日までに、宮城県内・仙台市内の国公立学校での常勤講師、代替養護教諭又は代替栄養教諭としての経験が通算24月以上ある者。</p> <p>②出願時に学校教育法第1条に定められた学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭又は栄養教諭に継続して24月以上就いている者。</p>							
資格要件の確認方法	出願時に提出する人物証明書							
選考方法・試験内容	第1次選考については「専門教養」、「実技(実技のある教科のみ)」、「集団面接」、第2次選考については一般選考と同様とする。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)	43	25	0		0	0	68
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)	28	15	0		0	0	43
	平成27年度受験者数(名)							0

(さいたま市①) (再掲:教職経験による免除)

選考名称	経験者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小・中・養護・栄養		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	58	歳以下	
資格要件	国公立の小学校・中学校・特別支援学校(小学部・中学部)において、本採用教員として2年以上の勤務経験を有する方を対象とする。ただし、養護教員、栄養教員については国公立高等学校経験者も含む。							
資格要件の確認方法	本採用最終勤務校の保管する履歴書の写しによる確認							
選考方法・試験内容	第1次試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	31	17			1		49
	平成25年度採用者数(名)	6	10			1		17
	平成26年度受験者数(名)	38	14			1		53
	平成26年度採用者数(名)	10	4					14
	平成27年度受験者数(名)	42	14			2		58

(さいたま市②)

選考名称	臨任教員勤務実績特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小・中・養護・栄養		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	58	歳以下	
資格要件	次の①～③のいずれかに該当する者 ①さいたま市立の小学校・中学校・特別支援学校の臨時的任用教員として、平成24年4月1日から平成26年3月31日までの2年間に於いて、通算6か月以上(通算170日以上)の勤務経験を有する者 ②さいたま市少人数指導等支援員として、平成24年4月1日から平成26年3月31日までの2年間に於いて、通算12か月以上(通算340日以上)の勤務経験を有する者 ③さいたま市立の小学校・中学校・特別支援学校の臨時的任用教員及びさいたま市少人数指導等支援員両方の勤務実績を有する場合、臨時的任用教員の勤務期間と、支援員(教員補助員)の採用期間を2で除して得た期間が、平成24年4月1日から平成26年3月31日までの2年間に於いて、通算6か月以上(通算170日以上)の勤務期間を有する者							
資格要件の確認方法	人事管理データにより確認							
選考方法・試験内容	第1次試験の筆答試験に替えて論文試験を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	167	188			18		373
	平成25年度採用者数(名)	32	46			1		79
	平成26年度受験者数(名)	153	182			17		352
	平成26年度採用者数(名)	35	41			2		78
	平成27年度受験者数(名)	143	178			13	0	334

(横浜市)

選考名称	特別選考①(教職経験者特別選考)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>“受験資格を満たし、受験区分に該当する「国及び地方公共団体が設置する学校における正規教員又は臨時的任用職員」、もしくは「私立学校又は文部科学大臣から認定を受けている日本人学校で常勤として勤務する教員」としての教職歴が、平成21年4月1日から平成26年3月31日までの間に通算1年以上(休職等により勤務しなかった期間は含まない)ある人。 (1)小学校応募者は、小学校における教諭としての教職歴が1年以上必要。 (2)中学校・高等学校応募者は、中学校または高等学校における教職歴が1年以上必要だが、中等教育学校又は高等専門学校における教諭としての教職歴を中学校の教職歴とみなし通算できる。 (3)特別支援学校応募者は、特別支援学校(盲学校、聾学校、養護学校を含む)における教諭としての教職歴が通算して1年以上必要。 (4)養護教諭応募者は、校種に関係なく養護教諭としての教職歴が1年以上必要。 (5)非常勤講師の勤務歴は、特別選考①の受験資格とならない。”</p>							
資格要件の確認方法	職歴証明書または在職証明書の提出							
選考方法・試験内容	要件を満たす人は、特別選考①該当者として第一次試験で「教科専門試験」、「一般教養・教職専門試験」の代わりに「指導案に関する試験」を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	359	480		87	64		990
	平成25年度採用者数(名)	92	78		7	8		185
	平成26年度受験者数(名)	403	450	7	90	54		1,004
	平成26年度採用者数(名)	112	68	2	30	10		222
	平成27年度受験者数(名)	413	469		72	51		1,005

(川崎市①)

選考名称	特別選考 I (正規教員経験者 特別選考)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校・中学校・特別支援学校・養護教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	国公立学校において正規教員として、平成26年3月31日現在、2年以上勤務した経験(休職・育児休業等の期間を除く)を有し、必要とする職歴証明を提出できる人							
資格要件の確認方法	任命権者の証明を受けた職歴証明書を第2次試験合格後に提出。							
選考方法・試験内容	一次試験:小論文、集団討論 二次試験:一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	38	19		4	8		69
	平成25年度採用者数(名)	14	4		1	1		20
	平成26年度受験者数(名)	37	18		4	6		65
	平成26年度採用者数(名)	9	3		1	1		14
	平成27年度受験者数(名)	40	20		10	3		73

(川崎市②)

選考名称	特別選考Ⅱ(臨時的任用職員・非常勤講師経験者 特別選考)		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	小学校・中学校・特別支援学校・養護教諭		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	川崎市立学校において臨時的任用職員又は非常勤講師(週20時間以上)として、平成23年4月1日から平成26年3月31日までの間に通算11月以上勤務した経験を有する人								
資格要件の確認方法	過去の任用歴を確認する								
選考方法・試験内容	一次試験:小論文、集団討論 二次試験:一般選考と同じ								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		101	121	1	8	4		235
	平成25年度採用者数(名)		30	42	1	4	4		81
	平成26年度受験者数(名)		119	138		12	13		282
	平成26年度採用者数(名)		41	50		8	4		103
平成27年度受験者数(名)		126	120		19	8		273	

(相模原市①)

選考名称	正規教員経験者		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	全校種等・教科		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	国、地方公共団体又は学校法人が設置する幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の正規教員として平成26年3月31日までに2年以上の勤務経験(育児休業、退職、停職等の期間を除く)を有する者(受験区分・教科等と同一の教職経験でなくても可)。								
資格要件の確認方法	第2次試験合格後、職歴証明書を提出								
選考方法・試験内容	第1次試験のうち、一般教養・教職専門試験及び教科専門試験を免除								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		23	26			3		52
	平成25年度採用者数(名)		8	3			0		11
	平成26年度受験者数(名)		23	31			0		54
	平成26年度採用者数(名)		1	2			0		3
平成27年度受験者数(名)		26	20			0		46	

(相模原市②)

選考名称	臨時的任用職員・非常勤講師経験者		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種等・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>ア 地方公共団体が設置する小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の臨時的任用職員(非常勤講師を除く)として平成22年4月1日から平成26年3月31日までの4年間に、通算2年以上の勤務経験を有する者(受験区分・教科等と同一の教職経験でなくても可)。</p> <p>イ 相模原市立の小学校、中学校の臨時的任用職員、又は非常勤講師として平成24年4月1日から平成26年3月31日までの2年間に、通算11か月以上の勤務経験を有し、かつ、平成26年4月1日から平成26年4月30日までの間に、相模原市立の小学校、中学校の臨時的任用職員、又は非常勤講師として任用実績がある者(受験区分・教科等と同一の教職経験でなくても可)</p>							
資格要件の確認方法	第2次試験合格後、職歴証明書を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験のうち、一般教養・教職専門試験及び教科専門試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	98	97			10		205
	平成25年度採用者数(名)	26	25			2		53
	平成26年度受験者数(名)	93	94			8		195
	平成26年度採用者数(名)	28	27			0		55
	平成27年度受験者数(名)	85	107			7		199

(新潟市)

選考名称	教職経験者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・特別支援学校教諭・養護教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	受検資格を満たしている人で、国・公・私立小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の正規教員として、5年以上の勤務経験があり、優れた知識・技能を有し、即戦力として活躍できる人。							
資格要件の確認方法	職歴証明書							
選考方法・試験内容	書類選考を行い、その結果により、筆記検査(I・II)を免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	12	4			1		17
	平成25年度採用者数(名)	1	0			1		2
	平成26年度受験者数(名)	17	5		1	0		23
	平成26年度採用者数(名)	2	0		0	0		2
	平成27年度受験者数(名)	9	5		0	0		14

(静岡市)

選考名称	教職経験者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校・中学校・養護教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	以下の①から③までのいずれかに該当する者①元に国公立学校の教諭または養護教諭(これらのうち任用期間を付した教諭等は含まない)として平成25年4月1日現在、在職している者②国公立学校で教諭または養護教諭(これらのうち任用期間を付した教諭等は含まない)として通算3年間以上の実勤務経験のある者③静岡市内の国公立学校における臨時的任用の講師または養護教諭として、平成25年度に勤務実績を有し、かつ、直近の3か年度で通算18か月以上勤務した者※臨時的任用講師等には、非常勤講師は含まない。							
資格要件の確認方法	教職経験者を対象とした選考申請書(最終勤務校または現在勤務校の所属長証明を得たもの)の提出							
選考方法・試験内容	一次試験の教職・一般教養試験を課題作文試験にかえる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	37	25			8		70
	平成25年度採用者数(名)	11	7			1		19
	平成26年度受験者数(名)	33	24			10		67
	平成26年度採用者数(名)	5	5			4		14
	平成27年度受験者数(名)	37	36			7		80

(浜松市①)

選考名称	特別選考B-ア		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	国公立学校に勤務する現職正規教員であって、平成26年4月1日現在在籍し、3年以上の勤務経験をもつ者							
資格要件の確認方法	勤務実績のあった学校の校長が作成する勤務実績証明書を提出する。							
選考方法・試験内容	第1次選考を面接と適性検査のみとする。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)	8	4			0		12
	平成26年度採用者数(名)	6	1			0		7
	平成27年度受験者数(名)	6	3			0		9

(浜松市②)

選考名称	特別選考B-イ		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	国公立小・中学校に勤務する現職正規教員であって、平成26年4月1日現在在籍し、実務経験3年未満の勤務経験をもつ者								
資格要件の確認方法	勤務実績のあった学校の校長が作成する勤務実績証明書を提出する。								
選考方法・試験内容	第1次選考試験の「課題作文、教職教養・一般教養」を免除し、それ以外は、一般選考受験者と同じ。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)								0
	平成25年度採用者数(名)								0
	平成26年度受験者数(名)		2	0			0		2
	平成26年度採用者数(名)		1	0			0		1
平成27年度受験者数(名)		1	0			0		1	

(浜松市③)

選考名称	特別選考B-ウ		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	平成24年度に国公立学校で講師としての勤務経験を有し、直近の2年間で通算12ヶ月以上勤務した者、国公立学校の正規教員であって、通算12ヶ月以上の勤務経験を持つ者、静岡県内教育施設の職員として平成24年度に通算10ヶ月以上勤務した者								
資格要件の確認方法	勤務実績のあった学校の校長・職場の所属長が作成する勤務実績証明書を提出する。								
選考方法・試験内容	第1次選考の「教職教養・一般教養」と「課題作文」を選択して受験することができ、それ以外は一般選考受験者と同じ。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		51	50			19		120
	平成25年度採用者数(名)		25	15			4		44
	平成26年度受験者数(名)		64	32			15		111
	平成26年度採用者数(名)		11	6			2		19
平成27年度受験者数(名)		62	42			10		114	

(堺市)

選考名称	現職教諭対象の選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種等(教科)		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	①「一般選考」の資格要件を満たしていること。 ②平成25年3月31日までに都道府県(大阪府を除く。)又は政令指定都市(堺市、大阪市を除く。)が実施する教員採用選考に合格し、 正規任用の教諭、養護教諭、栄養教諭又は任用の期限を附さない常勤講師として、平成26年4月1日現在、同都道府県又は政令指定都市の公立学校に在職しており、 平成27年3月31日までに同都道府県又は同政令指定都市の公立学校で通算して2年以上の在職経験がある(見込み含む。)こと。								
資格要件の確認方法	願書の経歴記入欄に受験資格に該当する勤務経験を記入。 選考試験合格後、在職・勤務証明書等を提出。								
選考方法・試験内容	面接								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		18	10				1	29
	平成25年度採用者数(名)		2	2				1	5
	平成26年度受験者数(名)		17	12			1	1	31
	平成26年度採用者数(名)		4	5			1		10
平成27年度受験者数(名)		8	6			2		16	

(岡山市)

選考名称	特別選考E[教職経験者を対象とした特別選考]		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)本県の公立学校の教諭、養護教諭又は栄養教諭(いずれも正規教員)として、2年以上の勤務経験(受験する校種・職種と同一の勤務経験に限る。)がある者で、退職日から10年を経過していない者。ただし、昭和30年4月2日以降に生まれた者。								
資格要件の確認方法	出願時に特別選考調書を提出させる。								
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)								0
	平成25年度採用者数(名)		9	2			2		13
	平成26年度受験者数(名)								0
	平成26年度採用者数(名)		1	0			0		1
平成27年度受験者数(名)								0	

(広島市①)

選考名称	現職教員を対象とした特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	一般選考と同じ(養護教諭については実施しない)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	44	歳以下	
資格要件	<p>一般選考の項に掲げる要件を満たす者であって、次のア及びイの要件を満たす者。</p> <p>ア 国公立学校における正規任用教員等(広島県、広島市の公立学校正規任用教員を除く。任期を定めて採用された教員を除く。以下同じ。)として、平成26年3月31日までに通算して3年以上(受験する校種(特別支援学校は各部)、教科(科目、分野)と同一の教職経験であって、休職等の期間を除く。任期を定めて採用された期間を除く。)の勤務経験があること。</p> <p>イ 出願時に国公立学校における正規任用教員等であり、かつ、平成27年3月31日まで引き続き勤務予定であること。</p>							
資格要件の確認方法	出願時の受験願により確認する。なお、第2次試験の結果通知後に、職歴を証明する書類(発令された履歴事項が全て記載されたもので、任命権者(雇用主)の証明印が必要)を提出させ確認する。							
選考方法・試験内容	個人面接, 模擬授業							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	36	15	13	4			68
	平成25年度採用者数(名)	8	7	1	1			17
	平成26年度受験者数(名)	39	9	15	2			65
	平成26年度採用者数(名)	8	5	3	0			16
	平成27年度受験者数(名)	34	11	16	3			64

(広島市②)

選考名称	臨時的任用等教職経験者を対象とした特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	一般選考と同じ	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	<p>一般選考の項に掲げる要件のうち年齢以外の要件を満たす者であって、次のア及びイの要件を満たす者。</p> <p>ア 昭和30年4月2日以降に生まれた者であること。</p> <p>イ 教諭の受験は、次の要件のいずれかを満たす者であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島県・広島市の公立学校で、実習助手(本務者で教育職員免許状所有者)、育休任期付職員、臨時的任用職員、非常勤講師等として、受験前過去4年間(平成22年度から平成25年度まで)で通算36月以上の教科に関する実務経験(受験する職種(実習助手(本務者及び臨時的任用職員)、助教諭、非常勤講師は教諭とみなす。)、校種(特別支援学校は各部)、教科(科目、分野)と同一の教職経験に限る。)があること。 ・ 広島県・広島市の公立学校の元正規任用教員としての通算3年以上(受験する校種(特別支援学校は各部)、教科(科目、分野)と同一の教職経験であって、休職等の期間を除く。)の勤務経験及び広島県・広島市の公立学校の臨時任用職員等としての受験前過去2年間(平成24年度から平成25年度まで)で通算12月以上の教科に関する実務経験(受験する職種、校種(特別支援学校は各部)、教科(科目、分野)と同一の教職経験に限る。)があること。 <p>養護教諭の受験は、次の要件のいずれかを満たす者であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島県・広島市の公立学校で、育休任期付職員、臨時的任用職員等として、受験前過去4年間(平成22年度から平成25年度まで)で通算36月以上の養護に関する実務経験があること。 ・ 広島県・広島市の公立学校の元正規任用教員として通算3年以上(養護教諭としての教職経験であって、休職等の期間を除く。)の勤務経験及び広島県・広島市の公立学校の臨時任用職員等として受験前過去2年間(平成24年度から平成25年度まで)で通算12月以上の養護に関する実務経験があること。 							
資格要件の確認方法	<p>出願時の受験願により確認する。なお、第2次試験の結果通知後に、職歴を証明する書類(発令された履歴事項が全て記載されたもので、任命権者(雇用主)の証明印が必要)を提出させ確認する。</p>							
選考方法・試験内容	<p>第1次試験:小論文, グループワーク 第2次試験:個人面接, 模擬授業, 実技試験</p>							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	136	185	112	15			448
	平成25年度採用者数(名)	65	49	20	8			142
	平成26年度受験者数(名)	188	187	116	21	28		540
	平成26年度採用者数(名)	57	43	16	7	7		130
	平成27年度受験者数(名)	176	185	113	25	31		530

(北九州市①)

選考名称	教職経験者特別選考		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用				無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と異なる		
	(具体的に)						満	59	歳以下
資格要件	<p>過去正規教員・・・過去10年間(平成26年3月31日まで)で、小学校、中学校又は特別支援学校(国公私立を問わない)の正規教員として、通産5年以上の勤務経験がある者(ただし、受験する試験区分及び教科と同一の場合に限る。)</p> <p>講師経験者・・・過去10年間(平成26年3月31日まで)で、北九州市立学校の常勤講師、非常勤講師、養護助教諭又は栄養代理職員として、通産5年以上の勤務経験がある者</p>								
資格要件の確認方法	志願書提出時に在職証明書を提出させる。								
選考方法・試験内容	第一次試験のうち、筆記試験の教職教養を免除。その他の試験は一般選考と同じ。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		67	50		22	8	2	149
	平成25年度採用者数(名)		24	10		6	1	0	41
	平成26年度受験者数(名)		63	49		20	9	4	145
	平成26年度採用者数(名)		18	19		7	1	1	46
	平成27年度受験者数(名)		48	41		17	9	3	118

(北九州市②)

選考名称	教職経験者特別選考		新規・継続				本年度新規		
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用				無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と異なる		
	(具体的に)						満	59	歳以下
資格要件	<p>現職教員・・・現に小学校、中学校又は特別支援学校(国公私立を問わない。)の正規教員として勤務している者(ただし、受験する試験区分及び教科と同一の場合に限る。)</p>								
資格要件の確認方法									
選考方法・試験内容	第一次試験を全て免除し、第二次試験で模擬授業及び面接試験を行う。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)								0
	平成25年度採用者数(名)								0
	平成26年度受験者数(名)								0
	平成26年度採用者数(名)								0
	平成27年度受験者数(名)		18	4		1	1	0	24

(福岡市)

選考名称	教職経験者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種, 全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>一般選考の受験資格(年齢以外)を満たし、かつ次の①及び②をいずれも満たす人</p> <p>①高等学校教諭以外の採用区分は、平成16年4月1日から平成26年4月30日までの間に、国公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校又は特別支援学校において、正規教員として通算3年以上又は常勤講師(フルタイム勤務のみ。養護助教諭含む。)として通算5年以上(正規教員としての勤務期間を含めてもよい。)の勤務経験(休職、育児休業等の期間を除く。)がある人</p> <p>高等学校教諭の採用区分は、平成16年4月1日から平成26年4月30日までの間に、国公立の高等学校又は中等教育学校後期課程において、正規教員として通算3年以上又は常勤講師(フルタイム勤務のみ。)として通算5年以上(正規教員としての勤務期間を含めてもよい。)の勤務経験(休職、育児休業等の期間を除く。)がある人</p> <p>②昭和30年4月2日以降に出生した人</p>							
資格要件の確認方法	職歴証明書の提出(第2次試験合格者のみ)							
選考方法・試験内容	選考方法: 一般選考と別枠で行う。満40歳以下の場合、一般選考との併願が可能 試験内容: 第1次試験は一般教養、論文(併願者は、加えて専門教科)。第2次試験は一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	96	63	-	32	12	0	203
	平成25年度採用者数(名)	24	22	-	8	2	0	56
	平成26年度受験者数(名)	159	100	7	48	20	1	335
	平成26年度採用者数(名)	14	15	3	9	5	0	46
	平成27年度受験者数(名)	137	77	6	50	15	2	287

(豊能地区①)

選考名称	常勤講師等経験者対象の選考 常勤講師等経験者一部選考免除対象者の選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	すべての校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>常勤講師経験者: 平成24年4月1日から平成26年3月31日までに大阪府内の公立学校における講師又は養護助教諭としての経験が平成26年3月31日までの間に通算3年以上あること。又は平成24年4月1日から平成26年3月31日までの間に豊能地区内の小・中学校における講師又は養護助教諭としての経験が平成26年3月31日までに通算2年以上あること。</p> <p>常勤講師等経験者一部選考免除対象者: 前年度の大阪府との合同実施時に教職経験者対象の選考[イ 常勤講師経験者・実習助手・寄宿舎指導員]のうちの常勤講師経験者の資格要件を満たしたうえで同選考を受験し、第2次選考結果通知書に一定の成績を修めたことが記載されており、前年度と同一の校種・教科等に出願していること。</p>							
資格要件の確認方法	常勤講師経験者: 出願時は願書により確認。合格後は在職証明書等の提出により確認。 常勤講師等経験者一部選考免除対象者: 前年度結果通知書(不合格)裏面に必要事項を記入の上、提出。							
選考方法・試験内容	常勤講師経験者: 第1次選考テスト 面接、第2次選考テスト 面接、筆答、実技 常勤講師等経験者一部選考免除対象者: 第2次選考テスト 面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	67	72			13		152

(豊能地区②)

選考名称	現職教諭対象の選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	すべての校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	平成26年4月1日現在、学校教育法上の国立学校、公立学校(大阪府内の学校を除く。)、私立学校に教諭等として在職しており、平成27年3月31日までに通算2年以上の在職経験があること。							
資格要件の確認方法	出願時は願書により確認。合格後は在職証明書等の提出により確認。							
選考方法・試験内容	第1次選考テスト 面接、第2次選考テスト 面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
平成27年度受験者数(名)	9	13				1		23

(5) 国際貢献活動経験による特別選考

(埼玉県)

選考名称	国際貢献活動経験者特別選考		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教員、栄養教員		特別免許状の活用				無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)						満	50	歳以下
資格要件	独立行政法人国際協力機構の規定に基づく青年海外協力隊員又は日系社会青年ボランティアとして、出願時までに24か月以上の国際貢献活動経験を有する者。								
資格要件の確認方法	国際貢献活動の経験期間を証明する書類。								
選考方法・試験内容	第1次試験は、筆答試験(一般教養・教職科目)に代えて面接試験。								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成25年度受験者数(名)	4	9	8		2		23	
	平成25年度採用者数(名)	1	1	0		0		2	
	平成26年度受験者数(名)	7	7	7		0	1	22	
	平成26年度採用者数(名)	4	1	1		0	1	7	
平成27年度受験者数(名)	5	5	6	2	0	0	18		

(神奈川県)

選考名称	社会人経験者 イ		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	全校種等・教科		特別免許状の活用				無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)						満	59	歳以下
資格要件	受験する校種等・教科の教員普通免許状を所有している人又は平成27年3月31日までに取得見込の人で、青年海外協力隊等、海外での2年以上の国際貢献活動経験								
資格要件の確認方法	派遣活動を申告する書類の提出。内定者は、派遣活動を証明する書類の提出。								
選考方法・試験内容	第1次試験において、一般教養・教職専門試験を免除し、個人面接を課す								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成25年度受験者数(名)	40	46	104	15	7		212	
	平成25年度採用者数(名)	11	5	14	2	1		33	
	平成26年度受験者数(名)	34	38	101	9	4		186	
	平成26年度採用者数(名)	7	4	14	2	1		28	
平成27年度受験者数(名)	22	28	96	12	6		164		

(富山県)

選考名称	特別選考 国際貢献		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用				無		
募集人員	若干名		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
							満	59	歳以下
資格要件	受検種目・受検教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか、平成27年3月31日までに取得見込みであり、青年海外協力隊として、継続して2年以上の派遣実績を有する者。								
資格要件の確認方法	出願時に要件を満たすことを証明する書類の写しを提出させている。								
選考方法・試験内容	1次検査…小論文、専門教科筆答検査、個人面接、集団面接 2次検査…教養、適性検査、個人面接、選択実技(小学校、特別支援(小)の受検者のみ)								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			2			1		3
	平成25年度採用者数(名)								0
	平成26年度受験者数(名)						1		1
	平成26年度採用者数(名)								0
平成27年度受験者数(名)			3			1		4	

(静岡県)

選考名称	国際貢献活動経験者を対象とした選考		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	全校種・教科科目、養護教員		特別免許状の活用				無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)						満	59	歳以下
資格要件	独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊・日系社会青年ボランティアで、継続した2年間の任期を満了した実績を有し、「国際貢献活動経験者を対象とした選考」を希望する者。								
資格要件の確認方法	青年海外協力隊事務局等による派遣実績証明書による。								
選考方法・試験内容	教職・一般教養を課題作文に代える以外は、一般選考と同様とする。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		5	3	2	5	1		16
	平成25年度採用者数(名)		0	0	0	0	1		1
	平成26年度受験者数(名)		2	2	1	3	0		8
	平成26年度採用者数(名)		1	1	1	1	0		4
平成27年度受験者数(名)		1	2	1	1	0		5	

(愛知県) (再掲:社会人特別選考)

選考名称	社会人特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校教諭及び中学校教諭の受験区分 高等学校教諭の数学、理科、工業、教員経験者の工業(デザイン)、看護、福祉、水産(情報通)	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	<p>ア「小学校教諭」及び「中学校教諭」の受験区分 (ア)昭和49年4月2日以降に生まれた人で、出願時において民間企業、官公庁等の常勤の職(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。)にあり、平成26年4月1日現在において、常勤の職として同一の企業で連続して5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 ※常勤の職として1日以上勤務している月は1か月として算定することができる。 (イ)昭和49年4月2日以降に生まれた人で、青年海外協力隊として、平成21年4月1日から平成26年3月31日までの5年間に、2年以上の派遣実績を有する人 イ「高等学校教諭」の受験区分 次の(ア)から(オ)に示す教科について、それぞれの要件を満たすことが必要である。なお、常勤の職として1日以上勤務している月は、1か月として算定することができる。 (ア)「高等学校教諭・数学」、「高等学校教諭・理科」、及び「高等学校教諭・工業」 次の要件を満たすことが必要である。 出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の職(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。)にあり、平成26年4月1日現在において、常勤の職として連続して5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 (イ)「高等学校教諭・看護」(看護師・看護教員経験者) 次の要件をすべて満たすことが必要である。 a 高等学校卒業以上の学歴が有り、かつ、看護師免許を所有する人 b 次の①又は②の勤務実績を有する人 ①出願時において、国公立又は民間病院等の医療機関の常勤の看護師(助産師、保健師を含む。)又は看護師養成機関(専攻科を設置する高等学校を含む。)の教員(看護科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤の職にある者を含む。)であり、平成26年4月1日現在において、国公立又は民間病院等の医療機関において常勤の看護師(助産師、保健師を含む。)として通算3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 ②出願時において、国公立又は民間病院等の医療機関の常勤の看護師(助産師、保健師を含む。)又は看護師養成機関(専攻科を設置する高等学校を含む。)の教員(看護科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤の職にある者を含む。)であり、平成26年4月1日現在において、国公立又は民間病院等の医療機関の常勤の看護師(助産師、保健師を含む。)として通算1年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有し、かつ、看護師としての勤務実績と看護師養成機関(専攻科を設置する高等学校を含む。)の常勤の教員(看護科での勤務実績を有する実習助手を含む。)としての勤務実績を通算して3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)有する人 (ウ)「高等学校教諭・福祉」(介護福祉士・福祉教員経験者) 次の要件をすべて満たすことが必要である。 a 高等学校卒業以上の学歴があり、かつ、介護福祉士の資格を有する人 b 出願時において、社会福祉施設の常勤の介護福祉士又は介護福祉士養成機関(福祉科を設置する高等学校を含む。)の教員(福祉科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤の職にある者を含む。)であり、平成26年4月1日現在において、常勤の介護福祉士として通算3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 (エ)「高等学校教諭・水産(情報通信)」(総合無線通信士等資格所有) 次の要件をすべて満たすことが必要である。 a 高等学校卒業以上の学歴がある人 b 出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の総合無線通信士又は陸上無線技術士、あるいは総合無線通信士又は陸上無線技術士養成機関(水産科を設置する高等学校を含む。)の教員(講師及び実習助手を含む。)であり、平成26年4月1日現在において、民間企業、官公庁等の常勤の総合無線通信士又は陸上無線技術士、あるいは総合無線通信士又は陸上無線技術士養成機関(水産科を設置する高等学校を含む。)の常勤の職員(講師及び実習助手を含む。)として通算して3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 c 総合無線通信士2級以上、又は陸上無線技術士2級以上の資格を所有していること (オ)「高等学校教諭・工業(デザイン)」(教員経験者対象) 次の要件をすべて満たすことが必要である。 a 高等学校教諭美術又は高等学校教諭工芸の普通免許状を所有する人 b 出願時において、学校の教員(実習助手及び非常勤の職にある者を含む。)であり、平成26年4月1日現在において、通算して3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人</p>							
資格要件の確認方法	「社会人特別選考申告書」に証明書類を添付する。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験は論文試験と口述試験を行う。第2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	26	27	25				78
	平成25年度採用者数(名)	1	0	7				8
	平成26年度受験者数(名)	19	20	20				59
	平成26年度採用者数(名)	1	3	5				9
平成27年度受験者数(名)	12	11	12				35	

(京都府)

選考名称	スペシャリスト特別選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	スペシャリスト特別選考で10名以内			満	49	歳以下	
資格要件	平成21年4月1日から平成26年3月31日までの間に、独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊としての活動経験又は海外における勤務経験が通算2年以上ある方、小学校の普通免許状を有する方又は平成27年3月31日までに取得見込みの方。							
資格要件の確認方法	実績報告書に、勤務経験(勤務実績)について記入し、実績の詳細をまとめたもの等実績の確認できる書類を提出させて確認							
選考方法・試験内容	第1次試験:小論文、個人面接(筆記試験のうち一般教養と専門教科を免除) 第2次試験:個人面接、教育実践力テスト(実技試験を免除)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	/	/	/	/	/	/	0
	平成25年度採用者数(名)	/	/	/	/	/	/	0
	平成26年度受験者数(名)	/	/	/	/	/	/	0
	平成26年度採用者数(名)	/	/	/	/	/	/	0
平成27年度受験者数(名)	0	/	/	/	/	/	0	

(大阪府)

(再掲:社会人特別選考)

選考名称	社会人経験者対象の選考 ア教諭普通免許状を所有する者		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	すべての校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	・法人格を有する民間企業又は官公庁等での正社員又は正規職員としての勤務経験が平成26年3月31日までに通算5年以上あること。勤務経験には独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊員等としての活動経験を含めることができる。							
資格要件の確認方法	出願時は願書により確認。合格後は在職証明書等の提出により確認。							
選考方法・試験内容	第1次選考テスト:面接 第2次選考テスト:面接、筆答、実技							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	63	52	70	4	13	0	202
	平成25年度採用者数(名)	18	6	11	9	1	0	45
	平成26年度受験者数(名)	133	100	129	13	28	8	411
	平成26年度採用者数(名)	29	19	27	2	3	3	83
平成27年度受験者数(名)	117	95	145	4	24	14	399	

(山口県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続					本年度新規	
対象となる校種・教科	小学校並びに中学校及び高等学校の試験を実施する教科(科目等)		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	44
資格要件	○ 次に該当する者で、かつ教員の職務を行うのに必要な素養と熱意を有するもの 青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア、シニア海外ボランティア又は日系社会シニア・ボランティアとして、通算2年以上の派遣経験を有する者で、その派遣経験により、グローバル化に対応するコミュニケーション力や異文化理解の能力等を身につけたもの								
資格要件の確認方法	派遣経験を証明する書類								
選考方法・試験内容	第一次試験:教科専門、実技(小学校を除く)、集団面接(討議) 第二次試験:適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、個人面接、実技(小学校のみ)								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)								0
	平成25年度採用者数(名)								0
	平成26年度受験者数(名)								0
	平成26年度採用者数(名)								0
平成27年度受験者数(名)			1	1					2

(さいたま市)

選考名称	青年海外協力隊等派遣特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	小・中・養護・栄養		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	58
資格要件	青年海外協力隊及び日系社会青年ボランティアの国際貢献活動に従事したことのある方で、平成21年4月1日から平成26年3月31日までの5年間において、通算2年以上の派遣経験を有する者								
資格要件の確認方法	独立行政法人国際協力機構発行の派遣証明書による確認								
選考方法・試験内容	第1次試験の筆答試験に替えて論文試験を実施								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		0	3					3
	平成25年度採用者数(名)		0	1					1
	平成26年度受験者数(名)		0	2					2
	平成26年度採用者数(名)		0	1					1
平成27年度受験者数(名)			1	1					2

(横浜市)

選考名称	特別選考②(社会人・国際貢献活動経験者特別選考)	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	受験資格を満し、独立行政法人国際協力機構法(平成14年12月6日法律第136号)の規定に基づく青年海外協力隊員、シニア海外ボランティア又は日系社会青年・シニアボランティアとして平成21年4月1日から平成26年3月31日までの間に1年以上の派遣期間のある人で、派遣の証明書を期限までに提出できる人。							
資格要件の確認方法	派遣証明書の提出							
選考方法・試験内容	要件を満す人は、特別選考②該当者として第一次試験で「教科専門試験」、「一般教養・教職専門試験」の代わりに「指導案に関する試験」を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	10	15		4	0		29
	平成25年度採用者数(名)	6	5		0	0		11
	平成26年度受験者数(名)	6	13	0	0	0		19
	平成26年度採用者数(名)	2	0	0	0	0		2
	平成27年度受験者数(名)	4	5		2	0		11

(川崎市)

選考名称	特別選考Ⅲ(社会人・青年海外協力隊員等経験者・資格取得者 特別選考)	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校・中学校・特別支援学校・養護教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	独立行政法人国際協力機構法(廃止前の国際協力事業団法の規定に基づく派遣を含む)に基づく青年海外協力隊員又は日系社会青年ボランティアとして、平成26年3月31日までの間に継続して1年以上の派遣実績(派遣期間)を有し、派遣の証明書を提出できる人。							
資格要件の確認方法	独立行政法人国際協力機構が発行する証明書を第2次試験合格後に提出。							
選考方法・試験内容	一次試験:小論文、教科専門試験、集団討論 二次試験:一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	31	40	4	5	8		88
	平成25年度採用者数(名)	3	1	0	1	0		5
	平成26年度受験者数(名)	24	21		2	9		56
	平成26年度採用者数(名)	0	0		0	1		1
	平成27年度受験者数(名)	17	30		6	6		59

(相模原市)

選考名称	社会人経験者(イ)		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	全校種等・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	受験する受験区分・教科等の教諭普通免許状を所有している人又は平成27年3月31日までに取得見込みの人で、青年海外協力隊又は日系社会青年ボランティアとして、通算2年以上の派遣期間のある者							
資格要件の確認方法	第2次試験合格後、職歴証明書を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験において、一般教養・教職専門試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	1	0					1
	平成25年度採用者数(名)	0	0					0
	平成26年度受験者数(名)	0	1					1
	平成26年度採用者数(名)	0	0					0
	平成27年度受験者数(名)	0	0					0

(浜松市)

選考名称	特別選考C		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	受験資格を満たし、かつ、独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊・日系社会青年ボランティアで、原則として継続した2年間の実績を有した者							
資格要件の確認方法	派遣実績証明書(青年海外協力隊事務局長等による実績証明書)							
選考方法・試験内容	第1次選考の教職教養・一般教養を課題作文(国際貢献活動経験に関わるテーマ)に替えて行い、それ以外は、一般選考受験者と同じ内容で行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)	0	0			0		0
	平成26年度採用者数(名)	0	0			0		0
	平成27年度受験者数(名)	2	0			0		2

(京都市)

選考名称	国際貢献活動経験者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	募集する全区分		特別免許状の活用		無			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	5名以内						
資格要件	一般選考の資格要件に加え、独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊又は日系社会青年ボランティアとしての派遣実績を有する者							
資格要件の確認方法	出願時に独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局発行の派遣証明書を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験：一般教職教養に替えて論文試験を実施 第2次試験：集団面接に替えて個人面接を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	3	9	4	1	1	0	18
	平成25年度採用者数(名)	0	3	0	1	0	0	4
	平成26年度受験者数(名)	7	6	2	1	0	0	16
	平成26年度採用者数(名)	0	1	0	0	0	0	1
	平成27年度受験者数(名)	4	1	2	1	0	0	8

(福岡市)

選考名称	社会人等特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							
資格要件	一般選考の受験資格を全て満たし、かつ平成16年4月1日から平成26年4月30日までの間に独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊として、2年以上の派遣実績がある人							
資格要件の確認方法	独立行政法人国際協力機構が交付する派遣証明書の提出(志願書提出時)							
選考方法・試験内容	選考方法：一般選考と別枠で行うが、選考区分は「(4)民間企業等経験による特別選考」と同一枠で募集 試験内容：第1次試験は専門教科・一般教養・論文。第2次試験は一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	4	5	-	1	0	0	10
	平成25年度採用者数(名)	0	0	-	0	0	0	0
	平成26年度受験者数(名)	3	2	0	1	0	0	6
	平成26年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成27年度受験者数(名)	1	2	1	1	0	0	5

(6)いわゆる「教師養成塾」生を対象とした特別選考

(埼玉県)

選考名称	埼玉教員養成セミナー特別選考		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用				無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)								
資格要件	平成25年度埼玉教員養成セミナー受講生								
資格要件の確認方法	出願時の志願書により確認								
選考方法・試験内容	論文試験及び面接試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成25年度受験者数(名)	70						70	
	平成25年度採用者数(名)	70						70	
	平成26年度受験者数(名)	74						74	
	平成26年度採用者数(名)	73						73	
	平成27年度受験者数(名)	77						77	

(東京都)

選考名称	東京教師養成塾生を対象とした特別選考		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	小学校、特別支援学校小学部、 特別支援学校中学部高等部・国語、社会、数学、理科、英語、保健体育		特別免許状の活用				無		
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限				基本的年齢制限と異なる		
	(具体的に)	150名程度							
資格要件	申込日現在、東京教師養成塾に在籍し、平成27年3月31日までに確実に修了できる見込みの者。養成塾の資格については、小学校教諭一種免許状課程又は特別支援学校教諭一種免許状課程認定大学(大学院を含む。)で、東京都教育委員会が連携する大学に在籍し、東京教師養成塾の講座等に参加でき、平成27年3月に卒業又は修了見込みで、「推薦基準」に基づき学長が推薦する者。								
資格要件の確認方法	東京教師養成塾に確認。								
選考方法・試験内容	一般選考とは別の日程で個人面接のみ実施する。 東京教師養成塾の作成した「講座の履修状況報告書」を徴し、総合的に判定する。								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成25年度受験者数(名)	150						150	
	平成25年度採用者数(名)	145						145	
	平成26年度受験者数(名)	149						149	
	平成26年度採用者数(名)	143						143	
	平成27年度受験者数(名)	139			10			149	

※年齢制限については、特段定めていない。

(神奈川県)

選考名称	カレッジ修了者	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	受験する校種等・教科の教員普通免許状を所有している人又は平成27年3月31日までに取得見込の人で、「かながわティーチャーズカレッジ(チャレンジコース)」の平成25年度修了者							
資格要件の確認方法	修了を申告する書類の提出。							
選考方法・試験内容	第1次試験において、筆記試験のうち、一般教養・教職専門試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	70						70
	平成25年度採用者数(名)	35						35
	平成26年度受験者数(名)	53						53
	平成26年度採用者数(名)	29						29
	平成27年度受験者数(名)	58						58

(京都府)

選考名称	京都府「教師力養成講座」修了者に係る大学推薦特別推薦特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校、中学校、特別支援学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	49	歳以下			
資格要件	平成26年度実施の京都府「教師力養成講座」を良好な成績で修了した方。平成27年3月において、大学を卒業見込み若しくは修了見込みの方。小学校教諭の普通免許状又は中学校教諭の普通免許状を現に有する方又は平成27年3月31日までに確実に取得できる見込みの方。昭和40年4月2日以降に生まれた方。京都府公立学校(京都市立学校を除く。)教員(小学校、中学校)を志望する方。京都府内どこにでも勤務できる方。ただし、北部採用枠については、京都府北部地域(綾部市、福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町及び与謝野町)において採用後10年間程度勤務できる方。地方公務員法第16条各号(欠格条項)、学校教育法第9条各号(欠格事由)及び教育職員免許法第5条(授与)第1項ただし書きの各号に該当しない方。							
資格要件の確認方法	大学からの推薦書類及び志願書類により確認							
選考方法・試験内容	第1次試験:面接試験(筆記試験免除) 第2次試験:個人面接、教育実践力テスト及び実技試験(一般選考に同じ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	54	4					58
	平成25年度採用者数(名)	32	2					34
	平成26年度受験者数(名)	39	13		5			57
	平成26年度採用者数(名)	28	7		3			38
	平成27年度受験者数(名)	42	19		9			70

(大阪府)

選考名称	大阪教志セミナー修了者対象の選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	すべての校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	平成25年度大阪教志セミナーを修了し、受講した同一の校種教科等に出願していること。							
資格要件の確認方法	出願時に修了証(写し)を確認。							
選考方法・試験内容	第2次選考テスト:面接、筆答、実技							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)	95	37	40	16	5		193
	平成26年度採用者数(名)	70	26	23	5	2		126
	平成27年度受験者数(名)	98	40	46	11	6		201

(岡山県)

選考名称	特別選考F[「教師への道」研修修了者を対象とした特別選考]		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	44	歳以下	
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)平成25年度に岡山県教育委員会が実施した「教師への道」研修を修了した者。ただし、平成26年度(平成25年実施)岡山県・岡山市公立学校教員候補者採用試験を特別選考Fで受験した者は除く。							
資格要件の確認方法	出願時に特別選考調書及び「教師への道」研修の修了証書の写しを提出させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において面接試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	31	14	7	0	0		52
	平成25年度採用者数(名)	6	0	0	0	0		6
	平成26年度受験者数(名)	35	22	9	1	4	0	71
	平成26年度採用者数(名)	8	2	0	1	0	0	11
	平成27年度受験者数(名)	56	11	10	4	9	0	90

(横浜市)

選考名称	特別選考⑤(アイ・カレッジ特別選考)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	横浜市教育委員会が設置するアイ・カレッジ(よこはま教師塾)の卒塾者であること。							
資格要件の確認方法	アイ・カレッジの成績表の提出							
選考方法・試験内容	成績優秀者は一次試験を免除する。それ以外の人には第一次試験で「教科専門試験」、「一般教養・教職専門試験」の代わりに「指導案に関する試験」を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	53	27		1	0		81
	平成25年度採用者数(名)	36	15		1	0		52
	平成26年度受験者数(名)	60	23	0	4	0		87
	平成26年度採用者数(名)	41	14	0	3	0		58
	平成27年度受験者数(名)	46	32		0	0		78

(静岡市)

選考名称	特別選考試験		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	小学校採用予定者数の1/3程度			満	59	歳以下	
資格要件	第5記しずおか教師塾の卒塾を認定された者で、「特別選考」を希望する者							
資格要件の確認方法	しずおか教師塾の卒塾認定書(第5期)							
選考方法・試験内容	専門試験、課題作文、適性検査、個人面接試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	33						33
	平成25年度採用者数(名)	20						20
	平成26年度受験者数(名)	32						32
	平成26年度採用者数(名)	18						18
	平成27年度受験者数(名)	30						30

(岡山市)

選考名称	特別選考F[「教師への道」研修修了者を対象とした特別選考]	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 44 歳以下					
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)平成25年度に岡山県教育委員会が実施した「教師への道」研修を修了した者。ただし、平成26年度(平成25年実施)岡山県・岡山市公立学校教員採用候補者選考試験を特別選考Fで受験した者は除く。							
資格要件の確認方法	出願時に特別選考調書及び「教師への道」研修の修了証書の写しを提出させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において面接試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)	3	1			0		4
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)	9	1			0	0	10
平成27年度受験者数(名)							0	

(豊能地区)

選考名称	大阪教志セミナー修了者対象の選考	新規・継続	本年度新規					
対象となる校種・教科	すべての校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
	(具体的に)		満 50 歳以下					
資格要件	「平成25年度大阪教志セミナー」を修了し、受講した同一の校種教科等に出願していること。							
資格要件の確認方法	出願時に修了証(写し)を確認。							
選考方法・試験内容	第2次選考テスト:面接、筆答、実技							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
平成27年度受験者数(名)	9	1					10	

(7)その他の資格や経歴等による特別選考

(岩手県①)

選考名称	特定教科特別選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	高等学校(家庭、水産・商船(機関))		特別免許状の活用		無			
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	44	歳以下	
資格要件	家庭においては、「家庭」の高等学校教諭の普通免許状、及び「管理栄養士」または「栄養士」の資格を有する者(いずれも平成27年3月31日までに取得見込みの者も受験可)。水産・商船(機関)においては、水産か商船(機関)の普通免許状を有し(平成27年3月31日までに取得見込みの者も受験可)、かつ3級海技士の資格を有する者(取得しようとする者も受験可)。							
資格要件の確認方法	教員免許状及び必要な資格を確認できる書類を提出させ確認。							
選考方法・試験内容	書類審査の結果、選考された者について、面接試験(口頭試問を含む)を実施。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
平成27年度受験者数(名)			1					1

(岩手県②) (再掲:社会人特別選考)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校(数学、工業(機械)、水産・商船(機関))		特別免許状の活用		有			
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	44	歳以下	
資格要件	数学、工業(機械)においては、博士の学位を有する者、又は民間企業等の従事者で平成26年4月1日現在、同一企業等で3年以上の勤務経験がある者で、いずれも数学、工業(機械)に関する高度な専門知識や技能を有する者。水産・商船(機関)においては、3級海技士(航海又は機関)の資格を有し、平成26年4月1日現在、5年以上の資格に基づく実務経験がある者。							
資格要件の確認方法	高度な専門知識や技能を修得したことを証明できる書類を提出させ確認(論文、勤務先の所属長による推薦書、取得している資格等)。							
選考方法・試験内容	書類審査の結果、選考された者について、面接試験(口頭試問を含む)を実施。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			1				1
	平成25年度採用者数(名)			0				0
	平成26年度受験者数(名)			2				2
	平成26年度採用者数(名)			0				0
平成27年度受験者数(名)			3					3

(山形県)

選考名称	教職大学院修了見込者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	一般受験資格を満たし、平成25年4月から教職大学院に在籍し平成27年3月に修了見込みの者で、平成23年度以降実施した山形県公立学校教員選考試験に合格した者。ただし、合格した校種・教科・科目又は養護教諭・栄養教諭の職についてのみ志願できる。							
資格要件の確認方法	志願書類と平成23、24年度データ(氏名、生年月日、試験合否等)により確認。							
選考方法・試験内容	第一次選考試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成25年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成26年度受験者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成27年度受験者数(名)	0	0	0	0	0	0	0

(栃木県①)

選考名称	若手人材を対象とする一部試験を免除した選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種、教科・科目		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	29	歳以下	
資格要件	次の各号のすべてに該当する者。 ア 昭和60年4月2日以降に生まれた者。 イ 平成26年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験において不合格となった者のうち第2次試験でAランクの評定を受けた者。							
資格要件の確認方法	「平成26年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験の結果について(通知)」のコピーを提出。							
選考方法・試験内容	対象となった者には、1次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	18	16	7	4	6		51
	平成25年度採用者数(名)	14	13	5	3	2		37
	平成26年度受験者数(名)	24	25	9	3	5		66
	平成27年度受験者数(名)	23	24	9	7	7		70

(栃木県②)

選考名称	特別支援学級担当等の経験により一部試験を免除した選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	小学校、中学校全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	小中学校併せて15名程度						満
資格要件	<p>ア 特別支援学校教諭免許状をすでに取得あるいは取得見込みの者。</p> <p>イ 平成23年4月1日から平成26年3月31日までの3年間に栃木県内の講師(非常勤講師を含む)等として通算で12月以上の特別支援学級担当又は特別支援学校勤務経験がある者。</p> <p>ウ 平成26年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験において不合格となった者のうち第2次試験でAランクの評定を受けた者。ただし、小・中学校を受験した者。</p>							
資格要件の確認方法	自己推薦書に加えて、上記アの者は特別支援学校教諭免許状の写し又は取得見込み証明書、上記イの者は勤務状況報告書、上記ウの者は平成26年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験の結果について(通知)のコピーを提出。							
選考方法・試験内容	書類選考で対象となった者で、上記ア又はイの者は、第1次試験の一般教養試験と集団面接を免除。上記ウの者は、第1次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	68	56					124

(埼玉県①)

選考名称	特別支援学級担当特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							満
資格要件	<p>次のア、イの両方を満たす者。</p> <p>ア 特別支援学校教諭普通免許状を所有している者(平成27年3月31日までに取得見込みも含む。)又は特別支援教育担当者としての経験が直近5年間で3年以上の者。</p> <p>イ 小・中学校の特別支援学級等での特別支援教育担当教員を強く希望する者。</p> <p>・「特別支援学級担当者としての経験」は、国公立の小・中学校における特別支援学級担任及び通級指導教室の担当並びに国公立の特別支援学校教諭の経験をいう。</p> <p>・直近5年間とは、平成21年4月1日から平成26年3月31日までの期間とする。</p> <p>・経験月数の数え方は、発令期間が1月の中に1日でも存在すれば、当該月は経験月とする。</p> <p>・経験期間は、連続している必要はない。また、異校種の経験を合算することができる。</p> <p>※特別支援学校教諭普通免許状取得見込みを受験資格として受験し、合格後、平成27年3月31日までに特別支援学校教諭普通免許状が取得できない場合は、合格を取り消す。</p> <p>※本特別選考で合格した者は、埼玉県公立小・中学校の特別支援学級担任として優先的に配置する。</p>							
資格要件の確認方法	特別支援学校教諭普通免許状の写し(取得見込証明書)又は実務に関する証明書。							
選考方法・試験内容	第1次試験は、筆答試験(一般教養・教職科目)に代えて面接試験。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	45	29					74
	平成25年度採用者数(名)	12	8					20
	平成26年度受験者数(名)	62	27					89
	平成26年度採用者数(名)	20	3					23
	平成27年度受験者数(名)	46	34					80

(埼玉県②)

選考名称	大学推薦特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校(理科、技術)、高校(数学、理科)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	以下の①～③(高等学校においては④を含む。)のすべての要件を満たす者のうち、大学等が推薦する者 ①埼玉県の教員となることを第1希望とし、埼玉県教育委員会が求める教師像にふさわしい資質と能力を有する者 ②平成27年3月31日までに大学等を卒業見込み又は修了見込みの者 ③健康で、学業成績が優秀であり、豊かな人間性を有する者 ④高校(数学、理科)に関しては、平成27年3月31日までに高等学校教諭専修免許状(数学又は理科)を所有している者又は取得見込みの者							
資格要件の確認方法	大学が作成した推薦書							
選考方法・試験内容	第1次試験免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	93	78					171
	平成25年度採用者数(名)	73	47					120
	平成26年度受験者数(名)	104	76	13				193
	平成26年度採用者数(名)	76	41	7				124
	平成27年度受験者数(名)	112	41	9				162

(富山県) (再掲:英語の資格による特別選考)

選考名称	特別選考 特定資格		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	受検種目・受検教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか、平成27年3月31日までに取得見込みであり、以下の受検種目ごとの資格のいずれかを出願時に有する者 全ての種目…臨床心理士、中高理科(全科目)・工業(薬業)…薬剤師、中高英語…TOEIC860点以上・TOEFL iBT100点以上またはPBT600点以上・実用英語技能検定1級、中高家庭…調理師、中高工業(建築)…1級建築士、中高情報…情報処理技術者試験合格者(詳細は実施要項参照)、中高福祉…介護福祉士・医師・看護師、特別支援学校…理学療法士、作業療法士、言語聴覚士							
資格要件の確認方法	出願時に要件を満たすことを証明する書類の写しを提出させている。							
選考方法・試験内容	1次検査…小論文、専門教科筆答検査、個人面接、集団面接 2次検査…教養、適性検査、個人面接、選択実技(小学校、特別支援(小)の受検者のみ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		7					7
	平成25年度採用者数(名)		2					2
	平成26年度受験者数(名)		10					10
	平成26年度採用者数(名)		6					6
	平成27年度受験者数(名)		8					8

(福井県)

選考名称	平成27年度大学院修士課程修了時特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	すべての校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に) 6名		満	59	歳以下			
資格要件	一般選考の受験資格を満たす者で、次の①および②のいずれにも該当する者。 ①平成25年度または平成26年度福井県公立学校教員採用選考試験において、平成27年度福井県公立学校教員採用選考の大学院修士課程修了時特別選考受験を認められた者。 ②平成27年3月31日までに、選択して受験した専門教科の専修免許状を取得見込みの者。							
資格要件の確認方法	平成24年度および平成25年度福井県公立学校教員採用選考試験関係公文書							
選考方法・試験内容	・個人面接 ・適性検査 ・レポート							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							4
	平成25年度採用者数(名)							4
	平成26年度受験者数(名)							4
	平成26年度採用者数(名)		2	1				3
	平成27年度受験者数(名)		2	3				6

(長野県①)

選考名称	発達障がい児童生徒特別支援のための選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校、中学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に) 5名程度		満	59	歳以下			
資格要件	LD・ADHD・広汎性発達障がい等、発達障がいに関する専門知識を有し、NPOや学校などで当該児童生徒に関わった経験が平成27年3月31日現在で3年以上ある者							
資格要件の確認方法	履歴書、NPOや学校等の所属長の推薦書							
選考方法・試験内容	「一般選考」又は「社会人を対象とした選考」のどちらかを選択(「一般選考」又は「社会人を対象とした選考」と同様)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	2	1					3
	平成25年度採用者数(名)	0	1					1
	平成26年度受験者数(名)	2	1					3
	平成26年度採用者数(名)	0	1					1
	平成27年度受験者数(名)	2	1					3

(長野県②)

選考名称	博士号取得者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校(数学・理科)、高等学校(数学、理科)		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	若干名			満	59	歳以下	
資格要件	理科分野又は数学分野における博士の学位を有し、教員の職務を行うのに必要な熱意と見識を持ち、理数好きの生徒を育てる意欲のある者(所属長等の推薦書が必要)。中学校で受験する者にあつては教員免許状を有すること。高等学校で受験する者にあつては教員免許資格の有無を問わない。							
資格要件の確認方法	履歴書、所属長等の推薦書並びに博士号の学位を証明するもの(写しも可)							
選考方法・試験内容	「一般選考」又は「社会人を対象とした選考」のどちらかを選択。一次選考は免除。二次選考は他と同様。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	0	0	6	0	0		6
	平成25年度採用者数(名)	0	0	2	0	0		2
	平成26年度受験者数(名)	0	0	9	0	0		9
	平成26年度採用者数(名)	0	0	1	0	0		1
	平成27年度受験者数(名)	0	0	8	0	0		8

(長野県③)

選考名称	小学校・中学校大学推薦選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校・中学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	10名			満	59	歳以下	
資格要件	小学校普通免許状と中学校普通免許状両方を保有し、さらに中学校免許状は技能教科(音楽、美術、保体、技術、家庭)を含む複数免許状を保有している者。長野県教育委員会が依頼した大学の推薦を受けた者で、平成25年3月に卒業見込み又は大学院修了見込みの者							
資格要件の確認方法	依頼した大学長の推薦書							
選考方法・試験内容	一次選考は、書類審査(大学長推薦書、成績証明書)、筆記試験(専門)二次選考は、面接(個人面接、複数回実施)、適性検査、教科により実技あり							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	5	2					7
	平成25年度採用者数(名)	5	2					7
	平成26年度受験者数(名)	5	5					10
	平成26年度採用者数(名)	5	5					10
	平成27年度受験者数(名)	5	6					11

(岐阜県①)

選考名称	理工系特別選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	高等学校・数学、理科(物理、化学、生物)、工業(機械系、電気・電子系、建築系)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	若干名						満
資格要件	下記の(ア)又は(イ)のいずれかに該当する者 (ア)民間企業・官公庁等において、正社員あるいは正規職員等として3年以上の継続する勤務歴を有し、その勤務経験により志願する教科等に関する専門的な知識又は技能を有する者 (イ)志願する教科等に係る専門的な知識を有し、理工系の博士号を有する者							
資格要件の確認方法	(ア)による志願者については、該当となる職歴を証明する書類。(事業所の代表者又は任命権者による証明がなされたもの。様式は問わない) (イ)による志願者については、該当する博士号の学位証明書。							
選考方法・試験内容	第1次選考試験において筆記試験を論文試験に代える。他は一般受験者と同一。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)			6				6

(岐阜県②)

選考名称	多文化共生特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校教諭、中学校教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	若干名						満
資格要件	児童生徒および保護者に対して、文化や生活習慣の違いを説明できる程度のポルトガル語またはタガログ語の語学力を有する者							
資格要件の確認方法	第1次選考試験の面接試験の一部を当該外国語で行う。							
選考方法・試験内容	第1次選考試験の面接試験の一部を当該外国語で行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	1						1
	平成25年度採用者数(名)	0						0
	平成26年度受験者数(名)	1						1
	平成26年度採用者数(名)	0						0
	平成27年度受験者数(名)	2						2

(静岡県①)

選考名称	ポルトガル語・スペイン語が堪能な者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校教員、中学校教員、養護教員		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	日常生活や学校で必要なポルトガル語またはスペイン語を理解し、口頭で表現できる。							
資格要件の確認方法	ポルトガル語・スペイン語を保国語とする試験委員と口頭面接を実施し、その語学力・表現力を確認する。							
選考方法・試験内容	ポルトガル語・スペイン語を保国語とする試験委員と口頭面接を実施する他は、一般選考と同様とする。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	6	0			1		7
	平成25年度採用者数(名)	1	0			1		2
	平成26年度受験者数(名)	3	3			0		6
	平成26年度採用者数(名)	1	0			0		1
	平成27年度受験者数(名)	2	4			0		6

(静岡県②)

選考名称	博士号を取得した者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校・理科		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院の課程に学んだ経験があり、平成26年4月1日現在において、博士の学位を取得済みである者。 ・観察、実験等を通じて科学的な考え方を養い、「理科好きの生徒」を育て、日本若しくは世界の科学の発展に寄与する人材を育てる意欲がある者。 							
資格要件の確認方法	博士号取得に関する証明書							
選考方法・試験内容	教職・一般教養を課題作文に代える以外は、一般選考と同様とする。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			6				6
	平成25年度採用者数(名)			1				1
	平成26年度受験者数(名)			13				13
	平成26年度採用者数(名)			1				1
	平成27年度受験者数(名)			11				11

(愛知県①)

選考名称	外国語(ポルトガル語、スペイン語、中国語)堪能者選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校・中学校・特別支援学校の全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	外国語(ポルトガル語、スペイン語、中国語)が堪能(児童生徒及び保護者とのコミュニケーションを図り、文化や生活習慣の違いを説明できる程度の語学力を有すること。)であること。							
資格要件の確認方法	願書の該当欄に○印を記入し、「外国語」欄にポルトガル語、スペイン語、中国語のうち堪能な外国語名を記入する。							
選考方法・試験内容	第1次試験の口述試験に加えて、当該外国語による面接を行い、面接の結果を成績に加味する。それ以外については「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	17	34		1			52
	平成25年度採用者数(名)	7	7		0			14
	平成26年度受験者数(名)	10	30		3			43
	平成26年度採用者数(名)	2	5		1			8
	平成27年度受験者数(名)	10	16		1			27

(愛知県②)

選考名称	昨年度の補欠者に対する特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	「平成26年度愛知県公立学校教員採用選考試験」を受験し、選考結果が「補欠」であった人が、「平成26年度愛知県公立学校教員採用選考試験」のときと同一の受験区分・教科(科目)で受験する場合							
資格要件の確認方法	願書の所定欄に、昨年度の受験番号を記入する							
選考方法・試験内容	第1次試験免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	1	0	23	8	7	0	39
	平成25年度採用者数(名)	0	0	9	7	2	0	18
	平成26年度受験者数(名)	56	25	21	18	9	2	131
	平成26年度採用者数(名)	27	12	12	13	4	2	70
	平成27年度受験者数(名)	43	37	25	9	8	0	122

(愛知県③)

選考名称	大学院進学による採用辞退者に対する特別選考		新規・継続	継続				
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用	無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限	基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)			満	59	歳以下		
資格要件	<p>次のア又はイ又はウの要件を満たすことが必要である。</p> <p>ア 「平成24年度(23年実施)愛知県公立学校教員採用選考試験」を受験し、選考結果が「合格」で、大学院(教職大学院を含む。)進学を理由として辞退書を提出し採用を辞退した人が、次の①及び②の要件をともに満たし、「平成24年度愛知県公立学校教員採用選考試験」のときと同一の受験区分・教科(科目)で受験する場合は、第2次試験の口述試験(集団討議及び個人面接)での選考とする。</p> <p>① 平成27年3月31日までに大学院修士課程を修了見込であること。</p> <p>② 平成27年4月1日までに、平成24年度愛知県公立学校教員採用選考試験で受験した区分・教科の専修免許状が取得できていること。</p> <p>イ 「平成25年度(24年実施)愛知県公立学校教員採用選考試験」を受験し、選考結果が「合格」で、大学院(教職大学院を含む。)進学又は在学を理由として辞退書を提出し採用を辞退した人が、次の①及び②の要件をともに満たし、「平成25年度愛知県公立学校教員採用選考試験」のときと同一の受験区分・教科(科目)で受験する場合は、第2次試験の口述試験(集団討議及び個人面接)での選考とする。</p> <p>① 平成27年3月31日までに大学院修士課程を修了見込であること。</p> <p>② 平成27年4月1日までに、平成25年度愛知県公立学校教員採用選考試験で受験した区分・教科の専修免許状が取得できていること。</p> <p>ウ 「平成26年度(25年実施)愛知県公立学校教員採用選考試験」を受験し、選考結果が「合格」で、大学院(教職大学院を含む。)在学を理由として辞退書を提出し採用を辞退した人が、次の①及び②の要件をともに満たし、「平成26年度愛知県公立学校教員採用選考試験」のときと同一の受験区分・教科(科目)で受験する場合は、第2次試験の口述試験(集団討議及び個人面接)での選考とする。</p> <p>① 平成27年3月31日までに大学院修士課程を修了見込みであること。</p> <p>② 平成27年4月1日までに、平成26年度愛知県公立学校教員採用選考試験で受験した区分・教科の専修免許状が取得できていること。</p>							
資格要件の確認方法	<p>① 願書の所定欄に、平成26年度(昨年度)以前に受験した際の受験番号を記入する。</p> <p>② 大学院修了見込証明書を出願時に提出する。</p>							
選考方法・試験内容	第2次試験の口述試験(集団討議及び個人面接)を行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	19	9	11	0	0	0	39
	平成25年度採用者数(名)	12	6	10	0	0	0	28
	平成26年度受験者数(名)	14	11	9	0	0	0	34
	平成26年度採用者数(名)	13	6	4	0	0	0	23
	平成27年度受験者数(名)	16	2	9	0	0	0	27

(愛知県④)

選考名称	介護理由退職者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	次のすべての要件を満たす人に限る。 ア 愛知県内の公立学校(名古屋市立学校を除く。)の正規任用教員(教諭・養護教諭・栄養教諭)であった人が、平成24年3月31日以降に、介護を理由にして退職し、出願時に退職校の校長が作成した「介護理由退職者特別選考証明書」の提出ができる人(退職時と同一校種、同一教科での出願に限る。) イ 出願時に、退職日から3年以内の人							
資格要件の確認方法	「介護理由退職者特別選考証明書」の提出							
選考方法・試験内容	第2次試験の集団討議、個人面接及び小論文での選考							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成25年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成26年度受験者数(名)	1	1	0	0	0	0	2
	平成26年度採用者数(名)	0	1	0	0	0	0	1
	平成27年度受験者数(名)	1	0	0	0	0	0	1

(愛知県⑤)

選考名称	大学推薦特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校教諭数学、中学校教諭理科又は中学校教諭技術、特別支援学校教諭技術又は特別支援学校教諭工業(機械)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	次のすべての要件を満たす人に限る。 ア 愛知県の教員として勤務することを第一志望とする人 イ 受験区分・教科に対応する教員免許状取得のための課程許可を受けている大学(短期大学、大学院を含む)を卒業見込みの人で、在学する大学の学長又は学部長の推薦が得られた人							
資格要件の確認方法	「大学推薦特別選考推薦書」の提出							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験を免除する。第2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							
	平成25年度採用者数(名)							
	平成26年度受験者数(名)		32		1			33
	平成26年度採用者数(名)		14		0			14
	平成27年度受験者数(名)		23		1			24

(愛知県⑥)

選考名称	教職大学院修了見込者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全科目・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	次の要件を満たす人に限る。 ア 現在、教職大学院に在籍し、平成27年3月31日までに修了見込みの人 イ 愛知県の教員として勤務することを第一志望とする人							
資格要件の確認方法	「教職大学院修了見込証明書」、「教職大学院成績証明書」「教職大学院修了見込者特別選考推薦書」「教職大学院で学んだことを教員としてどう生かすかについて」の作文の提出							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験を免除する。第2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							
	平成25年度採用者数(名)							
	平成26年度受験者数(名)	24	6	5	0	0	0	35
	平成26年度採用者数(名)	4	1	0	0	0	0	5
平成27年度受験者数(名)	15	4	2	0	0	0	21	

(愛知県⑦)

選考名称	特別支援教育に関する特別選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	小学校、中学校、特別支援学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	ア 「小学校教諭」及び「中学校教諭」の受験区分 次の要件を満たす人 (ア) 小中学校の特別支援教育担当を強く希望する人 (イ) 「盲学校教諭免許」「聾学校教諭免許」「養護学校教諭免許」について、いずれかを現に所有している人、又は、特別支援学校教諭免許について、「視覚障害者」「聴覚障害者」「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」の領域のうち1領域以上が記された普通免許状を現に所有している人、又は平成27年3月31日までに取得見込みの人 イ 「特別支援学校教諭」の受験区分 (ア) 「盲学校教諭免許」「聾学校教諭免許」「養護学校教諭免許」について、そのうち2種類以上を現に所有している人、又は、特別支援学校教諭免許について、「視覚障害者」「聴覚障害者」「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」の領域のうち2領域以上が記された普通免許状を現に所有している人、又は平成27年3月31日までに取得見込みの人 なお、「盲学校教諭免許」「聾学校教諭免許」「養護学校教諭免許」について、そのうち1種類を現に所有し、かつ、特別支援学校教諭免許について、「視覚障害者」「聴覚障害者」「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」の領域のうち1領域以上が記された普通免許状を現に所有している人、又は平成27年3月31日までに取得見込みの人も対象となる。							
資格要件の確認方法	特別支援学校教諭の領域の記された普通免許状の写し又は普通免許状取得見込証明書							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人のうち、「小学校教諭」及び「中学校教諭」の受験区分へ出願した人は、第1次試験の成績に加味する。第2次試験は「一般選考」と同じ。 また、「特別支援学校教諭」の受験区分へ出願した人は第1次試験においては、論文試験と口述試験を行う。第2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
平成27年度受験者数(名)	59	10		214			283	

(京都府)

選考名称	大学推薦特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校、中学校(数学、理科)、高等学校(数学、理科)、特別支援学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	49	歳以下			
資格要件	平成27年3月において、上記免許状取得のための対象となる大学等を卒業見込み若しくは修了見込みの方。小学校教諭一種(専修)免許状、中学校(数学)教諭一種(専修)免許状若しくは中学校(理科)教諭一種(専修)免許状又は高等学校(数学)教諭一種(専修)免許状若しくは高等学校(理科)教諭一種(専修)免許状又は特別支援学校教諭一種(専修)免許状を現に有する方又は平成27年3月31日までに確実に取得できる見込みの方。ただし、特別支援学校については、小学校、中学校及び高等学校のうちいずれかの普通免許状を合わせて有する方又は平成27年3月31日までに確実に取得できる方。昭和40年4月2日以降に生まれた方。京都府公立学校(京都市立学校を除く。)教員(小学校、中学校(数学、理科)、高等学校(数学、理科)又は特別支援学校)となることを強く志望し、京都府が求める教員像にふさわしい資質と能力を備えた方。公立学校教員としての適性を有し、健康かつ学業成績が優秀な方。京都府内どこにでも勤務できる方。ただし、北部採用枠については、京都府北部地域(綾部市、福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町及び与謝野町)において採用後10年間程度勤務できる方。地方公務員法第16条各号(欠格条項)、学校教育法第9条各号(欠格事由)及び教育職員免許法第5条(授与)第1項ただし書きの各号に該当しない方。							
資格要件の確認方法	大学からの推薦書類及び志願書類により確認							
選考方法・試験内容	第1次試験:面接試験(筆記試験免除) 第2次試験:個人面接、教育実践カテスト及び実技試験(一般選考に同じ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	96	38	43	22			199
	平成25年度採用者数(名)	28	20	15	8			71
	平成26年度受験者数(名)	94	25	37	32			188
	平成26年度採用者数(名)	26	7	12	14			59
	平成27年度受験者数(名)	79	15	33	18			145

(大阪府①)

選考名称	特別支援教育推進の選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	「中学校・中学部」「高校・高等部」「特別支援学校(幼稚部・小学部共通、小学部)」	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	50	歳以下			
資格要件	出願時に必要な校種・教科・科目等の免許状に加えて、特別支援学校教諭の普通免許状を所有すること。							
資格要件の確認方法	合格後、免許状を確認							
選考方法・試験内容	第1次選考テスト:面接 第2次選考テスト:面接、実技、筆答							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		23	18	77	1	0	119
	平成25年度採用者数(名)			0	27			27
	平成26年度受験者数(名)		40	22	101	5	1	169
	平成26年度採用者数(名)		22	7	18	1		48
	平成27年度受験者数(名)		67	44	147			258

(大阪府②)

選考名称	大学等推薦者対象の選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、小中いきいき連携、「中学校・中学部」の国語、数学、理科、技術、家庭、「高校・高等部」の国語、数学、理科(物理、化学、生物、地学)、工業(機械、電気、工業化学)、「特別支援学校(幼稚部・小学部共通、小学部、中学部、高等部)」		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	対象の校種教科(科目)等の教諭一種(専修)普通免許状取得の課程認定を受けている大学、大学院、教職大学院在籍者のうち、推薦要件を満たす者で、学長等が推薦する者							
資格要件の確認方法	大学からの推薦書等により確認							
選考方法・試験内容	第2次選考テスト:面接、筆答、実技							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	0	29	54	0	0	0	83
	平成25年度採用者数(名)		13	17	18			48
	平成26年度受験者数(名)	95	52	53	13	0	0	213
	平成26年度採用者数(名)	67	34	20	8			129
	平成27年度受験者数(名)	128	79	48	13	0	0	268

(大阪府③)

選考名称	大学院進(在)学者対象の選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	すべての校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度又は平成26年度教員採用選考テストに合格後、大学院進(在)学を理由として申出書を提出し、採用を辞退していること。 平成26年度中に大学院修士課程等を修了すること。 平成27年度4月1日までに平成25年度又は平成26年度教員採用選考テストに合格した校種教科の専修免許状が取得できること。 							
資格要件の確認方法	願書請求時に対象者の確認を実施。							
選考方法・試験内容	第2次選考テスト:面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	13	13	34	0	1	1	62
	平成25年度採用者数(名)	9	7	25	5	1	1	48
	平成26年度受験者数(名)	18	17	17	1	1	0	54
	平成26年度採用者数(名)	7	16	14	1	1	5	44
	平成27年度受験者数(名)	7	8	11	2	0	0	28

(大阪府④)

選考名称	理科教育推進の選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	「中学校・中学部」及び「高校・高等部」の理科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 50 歳以下					
資格要件	・法人格を有する民間企業又は官公庁等において、理科教育に関連する研究・開発部門等の正社員又は正規職員としての勤務経験が平成26年3月31日までに通算5年以上あること。 ・又は高度専門型理系教育指導者養成プログラムもしくは大阪府理数系教員(コア・サイエンスティーチャー)養成拠点構築プログラムを平成27年3月31日までに修了(見込み)し、修了証を取得(予定)していること。							
資格要件の確認方法	出願時に願書又は修了証(受講証)の写しを確認。合格後は在職証明書等の提出により確認。							
選考方法・試験内容	第1次選考テスト:面接 第2次選考テスト:面接、筆答							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)		0	6				6
	平成26年度採用者数(名)		0	3				3
平成27年度受験者数(名)		4	6				10	

(岡山県①)

選考名称	特別選考C[講師経験者を対象とした特別選考]	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 44 歳以下					
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)次の要件をすべて満たす者。 ①平成26年度(平成25年実施)岡山県・岡山市公立学校教員採用候補者選考試験で、第1次試験の結果、第2次試験の受験資格を得た者。ただし、特別選考C[講師経験者を対象とした特別選考]又は特別選考G[理数系教員養成拠点構築プログラム]修了者を対象とした特別選考で受験した者を除く。 ②平成26年度、常勤講師等又は非常勤講師として岡山県の公立学校等で勤務し、出願時に所属長の推薦を得た者。							
資格要件の確認方法	出願時に、特別選考調書、所属長の推薦書及び平成26年度(平成25年実施)岡山県・岡山市公立学校教員採用候補者選考試験の第1次試験又は第2次試験の結果通知の写しを提出させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者は、第1次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	61	54	33	10	8		166
	平成25年度採用者数(名)	27	16	19	1	5		68
	平成26年度受験者数(名)	69	46	57	19	7		198
	平成26年度採用者数(名)	25	14	33	12	3		87
平成27年度受験者数(名)	57	55	36	19	13	3	183	

(岡山県②)

選考名称	特別選考G[理数系教員養成拠点構築プログラム]修了者を対象とした特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校、小学校(理数)及び中学校の理科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	44	歳以下			
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)「理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー:CST)養成拠点構築プログラム」を修了した者(平成27年3月31日までに修了見込みの者を含む)。ただし、平成26年度(平成25年実施)岡山県・岡山市公立学校教員採用候補者選考試験を特別選考G[理数系教員養成拠点構築プログラム]修了者を対象とした特別選考で受験した者を除く。							
資格要件の確認方法	出願時に、特別選考調書及び「理数系教員養成拠点構築プログラム」の修了証書又は認定証の写し(修了した者のみ)を提出させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者は、第1次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)	16	5					21
	平成26年度採用者数(名)	12	1					13
	平成27年度受験者数(名)	23	5					28

(広島県)

選考名称	グローバル人材を対象とした特別選考	新規・継続	本年度新規					
対象となる校種・教科	中学校・高等学校の外国語(英語)	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条及び学校教育法(昭和22年法律第26号)第9条の欠格条項に該当しない者であって、次のアからオまでの要件を満たす者。 ア 出願時に、外国国籍を有する者であること。又は、出願時に、日本国籍を有する者のうち、過去に外国国籍を有した者であること。 イ 母語が英語であること。又は、それと同等の英語の語学力を有していること。 ウ 外国での居住経験があり、大学(日本国内の4年制大学、又は、それと同等の外国の教育機関とする。)を卒業していること。 エ 昭和30(1955)年4月2日以降に生まれた者であること。 オ 広島県・広島市の公立学校で臨時的任用職員、非常勤講師、外国語指導助手等として、平成22年4月から平成26年8月までの期間に通算36月以上の英語の指導に関する実務経験があること。 採用候補者として登載された場合、採用に伴って次のことが必要になる。 ア 該当校種及び教科の教育職員免許状(普通免許状)を有しない者は、広島県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受けること。 イ 日本国籍を有しない者は、平成27年3月31日までに、中学校や高等学校において勤務するために必要な在留資格を取得すること。							
資格要件の確認方法	出願時の受験願により確認するとともに、面接試験において詳細を確認する。なお、第2次試験の結果通知後に、職歴を証明する書類(発令された履歴事項が全て記載されたもので、任命権者(雇用主)の証明印が必要)を提出させ確認する。							
選考方法・試験内容	個人面接、模擬授業							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)		2	3				5

(山口県)

選考名称	博士号取得者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校の理科(物理、化学、生物、地学)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	44	歳以下	
資格要件	博士号を有し、高度の専門的な知識又は技能を高等学校理科教育の推進に生かす意欲のある者							
資格要件の確認方法	博士号の学位を証明するものまたはその写しにより確認							
選考方法・試験内容	第一次試験:教科専門、集団面接(討議) 第二次試験:適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、個人面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)			0				0
	平成26年度採用者数(名)			0				0
	平成27年度受験者数(名)			3				3

(福岡県)

選考名称	教職大学院修了予定者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校、県立高等学校、県立特別支援学校の全ての教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	40	歳以下	
資格要件	平成27年3月31日までに教職大学院を修了見込みの者							
資格要件の確認方法	出願時に大学(学部)及び教職大学院における成績証明書を提出させる。							
選考方法・試験内容	第一次試験において集団討論、集団面接及び実技試験を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	6	2	1				9
	平成25年度採用者数(名)	4	1	0				5
	平成26年度受験者数(名)	6	4	1				11
	平成26年度採用者数(名)	5	3	1				9
	平成27年度受験者数(名)	4	4	1				9

(熊本県) (再掲: 社会人特別選考)

選考名称	高等学校教諭等(福祉)特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校・福祉		特別免許状の活用		無			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	2名程度						
資格要件	高等学校教諭等(福祉)の普通免許状を現に所有している者又は平成27年3月31日までに取得見込であり、医師・保健師・助産師又は看護師の資格を取得した後、平成26年5月1日現在で5年以上の実務経験を有する者又は平成27年3月31日までに5年以上の実務経験を有する見込の者。							
資格要件の確認方法	本人記述の志願書(資格記載欄及び履歴)で確認							
選考方法・試験内容	論述、個人面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)			0				0
	平成25年度採用者数(名)			0				0
	平成26年度受験者数(名)			0				0
	平成26年度採用者数(名)			0				0
				0				0

(さいたま市①)

選考名称	小学校音楽専科特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							
資格要件	小学校で主に音楽の授業を行う教員を希望する者で、小学校教諭普通免許状及び中学校教諭普通免許状の音楽を所有している者又は平成27年3月31日までに取得見込の者							
資格要件の確認方法	教員免許状の写し又は教員免許取得見込証明書の提出							
選考方法・試験内容	第1次試験の筆答試験に替えて論文試験を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	34						34
	平成25年度採用者数(名)	6						6
	平成26年度受験者数(名)	31						31
	平成26年度採用者数(名)	6						6
		23						23

(さいたま市②)

選考名称	特別支援教育特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小・中		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	58	歳以下	
資格要件	次の①、②を両方満たすもの ①小学校教諭普通免許状及び特別支援学校教諭普通免許状(領域を問わない)又は特別支援学校教諭普通免許状(領域を問わない)を所有している者(平成27年3月31日までに取得見込も含む)又は特別新教育担当者としての経験が直近5年間で2年以上の者。 ②さいたま市立小・中・特別支援学校の特別支援教育担当教員を希望する者。							
資格要件の確認方法	教員免許状の写し(取得見込証明書)又は実務に関する証明書による確認							
選考方法・試験内容	第1次試験の筆答試験に替えて論文試験を実施。2次試験において、志願区分での実技試験のほか、特別支援教育に関する面接試験を実施。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	22	23					45
	平成25年度採用者数(名)	11	5					16
	平成26年度受験者数(名)	23	32					55
	平成26年度採用者数(名)	7	4					11
	平成27年度受験者数(名)	42	29					71

(さいたま市③)

選考名称	小学校大学推薦特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	58	歳以下	
資格要件	さいたま市が指定した大学の推薦を受けた者で、平成27年3月に卒業見込みの者又は大学院修了見込の者							
資格要件の確認方法	大学作成の推薦書により確認							
選考方法・試験内容	第1次試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	45						45
	平成25年度採用者数(名)	44						44
	平成26年度受験者数(名)	45						45
	平成26年度採用者数(名)	39						39
	平成27年度受験者数(名)	42						42

(横浜市)

選考名称	特別選考③(大学推薦特別選考)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校・高等学校(数学、理科)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	(1)小学校 受験資格を満たし、小学校一種(専修)普通免許状取得のための課程認定を受けている大学(大学院)から推薦を受け、横浜市公立学校教員を第一希望とする人。 (2)中学校・高等学校(数学・理科) 受験資格を満たし、中学校一種(専修)普通免許状(数学又は理科)取得のための課程認定を受けている大学(大学院)から推薦を受け、横浜市公立学校教員を第一希望とする人。							
資格要件の確認方法	(1)学長による推薦書 (2)学生時代の活動における実績報告書 (3)学業成績証明書(各大学の様式による)							
選考方法・試験内容	書類選考を行い、合格者は、一次試験を免除する。 書類選考に合格しなかった人は、一般選考第一次試験を受験することができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	85	61					146
	平成25年度採用者数(名)	53	28					81
	平成26年度受験者数(名)	108	78					186
	平成26年度採用者数(名)	72	31					103
	平成27年度受験者数(名)	144	101					245

(川崎市)

選考名称	特別選考Ⅲ(社会人・青年海外協力隊員等経験者・資格取得者 特別選考)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校・中学校・特別支援学校・養護教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士又は看護師のいずれかの資格を有し、その資格に基づく常勤の職として、平成26年3月31日までの間に通算2年以上勤務した経験(休職期間等勤務の実態がない期間を除く)を有し、必要とする職歴証明を提出できる人。							
資格要件の確認方法	受験に必要な資格を証明する書類及び任命権者等の証明を受けた職歴証明書を第2次試験合格後に提出。							
選考方法・試験内容	一次試験:小論文、教科専門試験、集団討論 二次試験:一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	31	40	4	5	8		88
	平成25年度採用者数(名)	3	1	0	1	0		5
	平成26年度受験者数(名)	24	21		2	9		56
	平成26年度採用者数(名)	0	0		0	1		1
	平成27年度受験者数(名)	17	30		6	6		59

(新潟市)

選考名称	前年度2次受検者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・特別支援学校教諭・養護教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							満
資格要件	平成26年度新潟市立小・中学校教員採用選考検査の第2次検査で不合格になった人で、平成26年度と同一校種・教科の受検を希望する人。							
資格要件の確認方法	前年度2次結果通知の写し							
選考方法・試験内容	書類選考を行い、その結果により、筆記検査(I・II)を免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	21	19			4		44
	平成25年度採用者数(名)	6	4			2		12
	平成26年度受験者数(名)	7	6			1		14
	平成26年度採用者数(名)	3	2			1		6
	平成27年度受験者数(名)	1	2					3

(浜松市①)

選考名称	バイリンガル選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							満
資格要件	日常生活や学校現場に必要なポルトガル語又はスペイン語を理解し、口語及び簡単な文章で表現することができる者							
資格要件の確認方法	受験者の自己申告							
選考方法・試験内容	1次選考時にポルトガル語又はスペイン語による特別面接を行う。簡単な日常会話及び相談活動を想定した言語能力等を審査する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	2	3			0		5
	平成25年度採用者数(名)	1	0			0		1
	平成26年度受験者数(名)	6	6			0		12
	平成26年度採用者数(名)	1	1			0		2
	平成27年度受験者数(名)	2	5			0		7

(浜松市②)

選考名称	発達支援推進教員選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							満
資格要件	特別支援学校教諭普通免許状を取得又は取得見込みの者 特別支援教育担当者としての経験がある者							
資格要件の確認方法	受験者の自己申告							
選考方法・試験内容	1次選考時に特別面接を行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	10	3			0		13

(京都市)

選考名称	理工工志願者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校・数学, 中学校・理科, 高等学校・数学, 高等学校・理科, 高等学校・工業		特別免許状の活用		有			
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							満
資格要件	一般選考の資格要件に以下の①又は②の受験資格を追加 ①平成26年3月31日時点で、博士号を取得している者 ②大学・企業又は研究機関等において、研究・開発・調査等に関する勤務経験から、受験教科の分野における高度な専門的知識・経験又は技能を有する者 ※普通免許状を所有していない者及び取得見込みのない者も受験可能。ただし、採用にあたっては、合格後、特別免許状の取得が必要。							
資格要件の確認方法	①出願時に学位授与証明書を提出。 ②内定時に職歴証明書を提出。							
選考方法・試験内容	第1次試験: 一般教職教養・専門筆記に替えて論文試験を実施 第2次試験: 集団面接に替えて個人面接を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)	-	7	24	-	-	-	31
	平成26年度採用者数(名)	-	0	1	-	-	-	1
	平成27年度受験者数(名)	-	5	12	-	-	-	17

(大阪市①)

選考名称	大学院進(在)学者対象選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	小学校・中学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	一般選考の受験資格に該当し、次のア～ウのすべてに該当している人 ア:平成25年度大阪市立学校・幼稚園教員採用選考テストまたは平成26年度大阪市立学校・幼稚園教員採用選考テストに合格後、大学院進(在)学を理由に大阪市教育委員会に辞退届を提出し、平成27年度大阪市立学校・幼稚園教員採用選考テストにおける大学院進(在)学対象選考該当者として受理されていること イ:平成26年度中に大学院修士課程等を修了すること ウ:平成27年4月1日までに、辞退届提出時に指定された校種教科の専修免許状が取得できていること。							
資格要件の確認方法	1度目の採用試験に合格後、卒業証明書及び第1種普通免許状の写しの提出を求める。 2度目の採用試験に合格後、専修免許状の写しの提出を求める。							
選考方法・試験内容	第1次選考と第2次選考(筆答・実技)を免除し、第2次選考(面接)のみとします。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)							0

(大阪市②)

選考名称	大学推薦特別選考特例		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校(数学・理科・技術)		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	45	歳以下	
資格要件	中学校(数学・理科・技術)の教諭1種(専修)普通免許状取得のための過程認定を受けている大学(大学院)から推薦を受けた人。							
資格要件の確認方法	推薦書・成績証明書							
選考方法・試験内容	推薦書、成績証明書、小論文で判定する							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)		45					45
	平成25年度採用者数(名)		20					20
	平成26年度受験者数(名)		32					32
	平成26年度採用者数(名)		12					12
	平成27年度受験者数(名)							0

(堺市①)

選考名称	大学院進(在)学者対象の選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種等(教科)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	①「一般選考」の資格要件を満たしていること。 ②次の(ア)(イ)(ウ)のすべてを満たしていること。 (ア)平成25年度又は平成26年度堺市立学校教員採用選考試験に合格後、大学院進学又は大学院在学中を理由として堺市教育委員会に申請書を提出し、採用を辞退していること。 (イ)平成26年度中に大学院修士課程を修了すること。 (ウ)平成27年4月1日までに「H25試験」又は「H26試験」で合格した校種等(教科)の専修免許状が取得できること。							
資格要件の確認方法	願書を堺市教育委員会に請求。資格要件を満たす人に願書を送付。願書の経歴記入欄に受験資格に該当する免許要件等を記入。選考試験合格後、修了証明書、専修免許状の写し等を提出。							
選考方法・試験内容	面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	2	1					3
	平成25年度採用者数(名)	1	1					2
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	2	2					4

(堺市②)

選考名称	大学等推薦者対象の選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校・特別支援学校中学部(国語、数学、理科、技術、保健体育)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	(1)堺市立学校教員を第1志望とし、平成27年度の採用を希望する者 (2)学業成績が優秀であるとともに、堺市の教員として優れた実践力を発揮することが期待できる者 (3)昭和30年4月2日以降に出生した者 (4)平成27年3月31日までに、上記1で定める大学等を卒業見込み若しくは修了見込みであり、 ≪出願に必要な免許状≫を現に有する者又は平成27年4月1日までに確実に取得できる見込みの者 (5)中学校・特別支援学校中学部(保健体育)においては、柔道、剣道、相撲及びなぎなたのいずれかにおいて3段以上の段位を有する者 (6)地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条及び学校教育法(昭和22年法律第26号)第9条の欠格条項に該当しない者							
資格要件の確認方法	大学を通じて提出された推薦書、レポート、成績証明書等より資格要件について確認。選考試験合格後、卒業証明書や免許状の写し等を提出。							
選考方法・試験内容	専門教養、面接(集団討論、個人面接)、実技(保健体育のみ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)		24					24
	平成27年度受験者数(名)		50					50

(岡山市①)

選考名称	特別選考C[講師経験者を対象とした特別選考]		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	44	歳以下	
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)次の要件をすべて満たす者。 ①平成26年度(平成25年実施)岡山県・岡山市公立学校教員採用候補者選考試験で、第1次試験の結果、第2次試験の受験資格を得た者。ただし、特別選考C[講師経験者を対象とした特別選考]又は特別選考G[理数系教員養成拠点構築プログラム]修了者を対象とした特別選考]で受験した者を除く。 ②平成26年度、常勤講師等、非常勤講師又は臨時学校栄養職員として岡山県の公立学校等で勤務し、出願時に所属長の推薦を得た者。							
資格要件の確認方法	出願時に、特別選考調書、所属長の推薦書及び平成26年度(平成25年実施)岡山県・岡山市公立学校教員採用候補者選考試験の第1次試験又は第2次試験の結果通知の写しを提出させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者は、第1次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)	7	6			2		15
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)	12	2			1		15
平成27年度受験者数(名)							0	

(岡山市②)

選考名称	特別選考G[「理数系教員養成拠点構築プログラム」修了者を対象とした特別選考]		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、小学校(理数)及び中学校の理科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	44	歳以下	
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)「理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー:CST)養成拠点構築プログラム」を修了した者(平成27年3月31日までに修了見込みの者を含む。)ただし、平成26年度(平成25年実施)岡山県・岡山市公立学校教員採用候補者選考試験を特別選考Gで受験した者は除く。							
資格要件の確認方法	出願時に特別選考調書及び「理数系教員養成拠点構築プログラム」の修了証書又は認定証の写し(終了した者のみ)を提出させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者は、第1次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)	2	1					3
平成27年度受験者数(名)							0	

(広島市)

選考名称	グローバル人材を対象とした特別選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	中学校・高等学校の外国語(英語)		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条及び学校教育法(昭和22年法律第26号)第9条の欠格条項に該当しない者であって、次のアからオまでの要件を満たす者。</p> <p>ア 出願時に、外国国籍を有する者であること。又は、出願時に、日本国籍を有する者のうち、過去に外国国籍を有した者であること。</p> <p>イ 母語が英語であること。又は、それと同等の英語の語学力を有していること。</p> <p>ウ 外国での居住経験があり、大学(日本国内の4年制大学、又は、それと同等の外国の教育機関とする。)を卒業していること。</p> <p>エ 昭和30(1955)年4月2日以降に生まれた者であること。</p> <p>オ 広島県・広島市の公立学校で臨時的任用職員、非常勤講師、外国語指導助手等として、平成22年4月から平成26年8月までの期間に通算36月以上の英語の指導に関する実務経験があること。</p> <p>採用候補者として登載された場合、採用に伴って次のことが必要になる。</p> <p>ア 該当校種及び教科の教育職員免許状(普通免許状)を有しない者は、広島県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受けること。</p> <p>イ 日本国籍を有しない者は、平成27年3月31日までに、中学校や高等学校において勤務するために必要な在留資格を取得すること。</p>							
資格要件の確認方法	出願時の受験願により確認するとともに、面接試験において詳細を確認する。なお、第2次試験の結果通知後に、職歴を証明する書類(発令された履歴事項が全て記載されたもので、任命権者(雇用主)の証明印が必要)を提出させ確認する。							
選考方法・試験内容	個人面接、模擬授業							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)		2	3				5

(北九州市)

選考名称	教職大学院修了者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	学校教育法の規定に基づく教職大学院を修了した者、または受験日の属する年度内に修了予定の者							
資格要件の確認方法	志願書提出時に提出させる教職大学院修了証明書(修了予定者は修了見込証明書)にて確認							
選考方法・試験内容								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	2	1		0	0	0	3
	平成25年度採用者数(名)	1	1		0	0	0	2
	平成26年度受験者数(名)	1	0		0	0	0	1
	平成26年度採用者数(名)	0	0		0	0	0	0
	平成27年度受験者数(名)	2	2		0	0	0	4

(福岡市)

選考名称	教職大学院修了者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種, 全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	40	歳以下	
資格要件	区分A: 学校教育法の規定に基づく教職大学院を修了した人又は平成27年3月31日までに修了見込みの人 区分B: 学校教育法の規定に基づく教職大学院を平成27年4月1日から平成28年3月31日までに修了見込みの人							
資格要件の確認方法	教職大学院における研究実績をまとめたものを提出(志願書提出時) 教職大学院修了(見込み)証明書の提出(第2次試験合格者のみ)							
選考方法・試験内容	選考方法: 第1次試験前に書類選考を行う。第1次合格者の選考は一般選考と別枠で行う。 試験内容: 第1次試験は、一般教養と論文。第2次試験は一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)	1	5	-	0	0	0	6
	平成25年度採用者数(名)	0	1	-	0	0	0	1
	平成26年度受験者数(名)	3	2	0	1	0	0	6
	平成26年度採用者数(名)	0	0	0	1	0	0	1
	平成27年度受験者数(名)	2	1	0	0	0	0	3

(豊能地区①)

選考名称	大学院進(在)学者対象の選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	すべての校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府と合同実施した平成25年度又は平成26年度教員採用選考テストに合格後、大学院進(在)学を理由として申出書を提出し、採用を辞退していること。 ・平成26年度中に大学院修士課程等を修了すること。 ・平成27年度4月1日までに平成25年度又は平成26年度教員採用選考テストに合格した校種教科の専修免許状が取得できること。 							
資格要件の確認方法	願書請求時に対象者の確認を実施。							
選考方法・試験内容	第2次選考テスト: 面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	1	2					3

(豊能地区②)

選考名称	大学等推薦者対象の選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	小学校の教諭一種(専修)普通免許状取得の課程認定を受けている大学、大学院又は教職大学院在籍者のうち、推薦要件を満たす者で、学長等が推薦する者。							
資格要件の確認方法	大学等からの推薦書等により確認							
選考方法・試験内容	第2次選考テスト:面接、筆答、実技							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成25年度受験者数(名)							0
	平成25年度採用者数(名)							0
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	53						53

